

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

東京都感染症発生動向調査事業報告

2017 年

(2017 年 1 月 2 日～2017 年 12 月 31 日)

日本性感染症学会が「性感染症 診断・治療ガイドライン」で取り上げている性感染症は 17 疾患ですが、このうち A 型肝炎は感染症法による 4 類全数把握対象疾患に、後天性免疫不全症候群、梅毒、アメーバ赤痢、B 型肝炎や C 型肝炎を含むウイルス性肝炎（A 型・E 型を除く）の 4 疾患は 5 類全数把握対象疾患に、それに加えて性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の 4 疾患は定点報告の対象疾患になっており、その動向をつかむことが出来ます。これらの報告からは、性感染症は決して減っているわけではなく、その中でも梅毒の増加が顕著となっています。

荒川創一らの研究でも、2012 年から 2016 年の 5 年間の全国の性感染症は梅毒、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症で増加傾向にあり、淋菌感染症、尖圭コンジローマは横ばいという結果が得られています。梅毒の増加は世界の先進国でも見られております。

梅毒の東京都の報告数は 2011 年から増加に転じ、2017 年の報告数は 1,788 人で、感染症法に基づく調査が始まって以来最も多くなっています。また性別では 2014 年から女性の割合が増加しており、男性は 20 歳代から 50 歳代で、女性は 20 歳代から 40 歳代で増加がみられています。性感染症全般において男性に比べて女性のり患年齢は早く、妊娠等に及ぼす影響が懸念されています。

一方、結核の報告数では高齢者の割合が増加を続け、新登録患者のうち 80 歳以上の患者が 4 割近くとなっております。また 20 歳代の年齢層では外国生まれの方が半数以上を占めており、特にここ数年はベトナムとネパール出身者の増加が顕著になっています。人口の高齢化と若い世代の国際化が影響していると思われれます。

本年も報告書を取りまとめることが出来ました。調査事業にご協力いただきました定点医療機関の諸先生方と関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。またご指導いただきました東京都医師会の川上一恵理事、副委員長の岡部信彦、萩原温久の両先生を始めとする検討委員会の諸先生方、事務局の皆様に感謝申し上げます。

平成 30 年 7 月

東京都医師会感染症予防検討委員会
委員長 長岡常雄

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める二つの疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膣トリコモナス症を性感染症に加えている。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症単独定点 24 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ定点及び疑似症定点としての機能も果たし、内科定点は疑似症定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2017 年 12 月 31 日現在)

定点種別 (疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (14)	264	26
内科定点 (1)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (9)	25	21
性感染症定点 (5)	55	4
疑似症単独定点 (2)	24	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において報告基準を満たす患者が発生した場合に、症例分類、年齢、性別を、所定の調査票に記入し直ちに保健所に送付する（疑似症単独定点は、疑似症サーベイランスシステムへ直接入力する）。なお、発生がない場合であってもその旨週単位で報告する。

医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システム及び疑似症サーベイランスシステムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）は、保健所か

らの情報を確認後、国へ送信する。

(4) 情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp>) で公開され、広く都民に情報還元が図られている。さらに都医ニュースの特定の感染症を取り上げ、週報に「感染症豆知識」として掲載している。

また、隔月第4木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近2か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。

2 本年(2017年)の概況

(1) 一～四類、五類(全数把握対象)

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

コレラ：2017年は2人の届出があった。性別はすべて女性で推定感染地は国外であった。

細菌性赤痢：2017年は34人の届出があった。菌種は *sonnei* 27件、*flexneri* 6件、*boydii* 1件であった。推定感染地は国内10人、国外24人であった。国内感染と推定された10人のうち同性間性的接触によると推定される感染例が2例報告された。

腸管出血性大腸菌感染症：2017年は467人の届出があり、過去5年間で最も多い届出数となった。症状別では患者369人、無症状病原体保有者97人、溶血性尿毒症症候群(HUS)と診断されたものは25人であった。届出はほぼ1年を通して見られたが、特に梅雨期及び夏期の終わりころに集団事例の発生に伴い増加した。症例の集積は、第28～30週にO26VT1及びO血清群不明VT1による保育園関連が11人、第31～33週にO157VT1、O157VT1・VT2、及びO157毒素不明型による老人ホーム関連感染が10人報告された。血清型・毒素型はO157VT2が204件で最多であった。推定感染地は国内448人、国外13人であった。

腸チフス：2017年は8人の届出があった。性別では男性4人、女性4人であった。推定感染地はすべて国外であった。ファージ型判明者の内訳はE1が3人、UVSが3人、"28"が1人、"46"が1人、D2が1人であった。

パラチフス：2017年は6人の届出があった。性別は男性5人、女性1人であり、感染地はすべて国外で、ファージ型は"1"が2人、"2"が1人、RDNC(Reacted but did not conform)が1人、UT(Untypeable)が1人であった。

エ 四類感染症

E型肝炎：2017年は57人の届出があった。推定感染地は国内52人、国外5人であった。推定感染経路は経口感染が38人、不明が19人で、経口感染のうちレバーが4人、ジビエの喫食が3人、生もの2人であった。

A型肝炎：2017年は65人の届出があり、2003年以来最多となった2016年と同じ届け出数となった。推定感染地は国内48人、国外13人、国内または国外4人であった。推定感染経路は、飲食物を介した経口感染45人、性的接触6人、経口感染又は性的接触3人、不明11人（うち1人は家族内感染）であり、経口感染の推定原因食品は魚介類が14人、肉類4人、貝類2人で、原因食不明は21人であった。

エキノコックス症：2017年は1人の届出があった。推定感染地は国外、感染経路は塵埃感染であった。

回帰熱：2017年は2人の届出があった。推定感染地はすべて国内（北海道）、感染経路は動物・蚊・昆虫等からであった。

コクシジオイデス症：2017年は1人の届出があった。推定感染地はすべて国外（米国）であった。

チクングニア熱：2017年は3人の届出があった。推定感染地はすべて国外で、推定感染国はフィリピン1人、インド1人、バングラデシュ1人であった。

つつが虫病：2017年は13人の届出があった。推定感染地は国内12人、国外1人で、推定感染地が都内は11人（多摩地区5人、島しょ地区5人、その他1人）であった。

デング熱：2017年は65人（デング出血熱はなし）の届出があった。血清型は33件報告されており、その内訳は1型8件、2型11件、3型10件、4型4件、1型及び3型1件であった。推定感染地はすべて国外であった。

日本紅斑熱：2017年は1人の届出があった。推定感染地は国内であった。

ボツリヌス症：2017年は乳児ボツリヌス症の届出が2人あり、そのうち1人は統計開始以来初めての死亡例となった。性別は2人とも男性で、推定感染地は国内だった。推定感染経路は1名は不明で、1名ははちみつの摂取が原因であった。

マラリア：2017年は27人の届出があった。推定感染地はすべて国外であった。

ライム病：2017年は1人の届出があった。推定感染地は国内（北海道）で、推定感染経路はマダニであった。

類鼻祖：2017年は1人の届出があった。推定感染地は国外（フィリピン）で、海でのシュノーケリングの活動歴があった。

レジオネラ症：2017年は159人の届出があった。病型は肺炎型147人、ポンティアック熱型10人、無症状病原体保有者2人であった。死亡例は1人であった。推定感染地は国内154人、国外4人、国外又は国内1人であった。推定感染経路は水系感染75人、塵埃感染3人、不明81人であった。公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは38人であった。

レプトスピラ症：2017年は9人の届出があった。推定感染地は国内7人、国外2人であった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢：219人の届出があった。腸管アメーバ症187人、腸管外アメーバ症22人、腸管及び腸管外アメーバ症10人であった。性別は男性194人、女性25人で、年齢階級別では10歳未満1人、20～29歳11人、30～39歳37人、40～49歳78人、50～59歳60人、60～69歳19人、70歳以

上 13 人であった。推定感染地は国内 175 人、国外 36 人、国内又は国外 8 人であり、推定感染経路は、性的接触 80 人、飲食物による経口感染 47 人、2 経路以上 1 人、不明 91 人であった。

ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）：67 人の届出があった。内訳は、B 型肝炎 60 人、C 型肝炎 6 人、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎 1 人であった。B 型肝炎の推定感染地は国内 53 人、国外 6 人で、推定感染経路は性的接触 47 人、針等の鋭利なものの刺入による感染又は性的接触 1 人、不明 12 人であった。C 型肝炎の性別は男性 4 人、女性 2 人で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触 3 人（同性間）、針等の鋭利なものによる刺入 1 人、不明 2 人であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：212 人の届出があった。分離された菌種のうち *Enterobacter cloacae* が 90 件、*Enterobacter aerogenes* が 53 件、*Klebsiella pneumoniae* が 24 件、*Escherichia coli* が 6 件、*Citrobacter freundii* が 10 件、*Serratia marcescens* が 7 件、*Enterobacter asburiae* が 6 件、*Enterobacter sp.* が 5 件、*Klebsiella oxytoca* 4 件、*Enterobacter amnigenus*、*Providencia sp.*、*Proteus mirabilis* *Citrobacter* 属が各 1 件であった。2 菌種以上検出が 3 件あった。

急性脳炎：74 人の届出があった。年齢階級別では 10 歳未満が多く 56 人（うち 5 歳未満 45 人）だった。病原体はインフルエンザウイルス 17 件、ヒトヘルペスウイルス 10 件、ロタウイルス 4 件、大腸菌 4 件、RS ウイルス 3 件、単純ヘルペスウイルス 2 件、水痘・帯状疱疹ウイルス 2 件、エンテロウイルス、黄色ブドウ球菌、ヒトメタニューモウイルス各 1 件、2 菌種以上 2 件、不明 27 件であった。

クリプトスポリジウム症：2 人の届出があった。推定感染地はすべて国内であった。推定感染経路はすべて性的接触であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）：19 人の届出があった。孤発性プリオン病が 16 人（確実 2 人、ほぼ確実 13 人）であり、うち古典型 CJD が 15 人を占めた。また遺伝性プリオン病が 3 人あり、すべて家族性 CJD であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症：72 人の届出があり、過去 10 年で最も多い届出数となった。死亡例は 17 人（50～59 歳 3 人、60～69 歳 1 人、70 歳以上 13 人）報告された。推定感染経路は創傷感染 27 人、飛沫・飛沫核感染 5 人、創傷感染又は経口感染 1 人、不明 39 人であった。

後天性免疫不全症候群：464 人の届出があり、AIDS 患者 97 人、HIV 感染者 367 人（指標疾患以外の有症者 54 人、無症候性キャリア 313 人）であった。推定感染地は国内 375 人、国外 24 人、国内又は国外 13 人、不明 52 人であった。推定感染経路は性的接触 419 人（同性間 338 人、異性間 60 人、両性間 18 人、不明 3 人）、静注薬物使用 2 人、刺青 1 人、母子感染 1 人、2 経路以上 4 人、不明 37 人であった。

ジアルジア症：24 人の届出があった。推定感染地は国内 15 人、国外 8 人、国内又は国外（香港）1 人であった。推定感染経路は、経口感染 6 人、性的接触 9 人（同性間 7 人、異性間 2 人）、水系感染 2 人、同性間性的接触又は動物との接触 1 人、不明 6 人であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症：56 人届出があった。血清型は e 型 1 件、f 型 1 件、無莢膜型 1 件、型別不明 41 件、検査未実施 12 件であった。Hib ワクチン接種歴は、4 回接種が 2 人、3 回接種が 3 人、1 回接種が 2 人のほか、接種なし 14 人、不明 35 人であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症：3 人の届出があった。血清型 Y 群 2 件、不明 1 件であった。推定感染地はすべて国内で、ワクチン接種歴は、なし 1 人、不明 2 人であった。

侵襲性肺炎球菌感染症：390人の届出があった。死亡例は18人報告された。ワクチン接種歴は4回接種23人、3回接種15人、2回接種7人、1回接種40人、接種有かつ詳細不明1人、なし185人、不明119人であった。血清型は104人が判明した。

水痘（入院例）：55人の届出があった。死亡例の報告はなかった。ワクチン接種歴は2回接種3人、1回接種15人、なし12人、不明25人であった。

梅毒：1,788人の届出があり、1999年以来最多となった。早期顕症梅毒Ⅰ期584人、早期顕症梅毒Ⅱ期700人、晩期顕症梅毒26人、無症候474人、先天梅毒4人であった。20～49歳の男性が全体の52.9%を占めた一方で、20～29歳においては53.0%が女性であった。推定感染地は国内1,750人で、推定感染経路は性的接触1,714人、母子感染4人、静注薬物常用または針等の鋭利なものの刺入による感染2人、不明68人であった。

播種性クリプトコックス症：15人の届出があった。推定感染国はすべて国内であった。推定感染原因は免疫不全12人、末期がん患者1人、不明2人であった。

破傷風：9人の届出があった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は創傷感染8人、不明1人であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、あり3人、なし3人、不明3人であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症：8人の届出があった。菌種はすべて *Enterococcus faecium*、耐性遺伝子は vanA 1人、vanB 4人、不明3人であった。

風しん：届出は22人であった。検査診断例17人（うちPCR陽性例は5例）、臨床診断例5人であった。性別は男性15人、女性7人で、推定感染地は国内20人、国外1人、国内又は国外1人であった。風しん含有ワクチン接種歴は、2回接種2人、1回接種6人、接種歴なし2人、不明12人であった。先天性風疹症候群はなかった。

麻疹：28人の届出があった。検査診断例19人、臨床診断例1人、修飾麻疹8人で、肺炎の合併が1件報告された。脳炎の合併の報告はなかった。症例の集積は、第12週に首都圏での東北地方の自動車学校に関連した症例が3人（遺伝子型D8）、第15週に首都圏内の空港利用者関連が3人（遺伝子型D8）であった。推定感染地は国内23人、国外5人であった。国外感染例の推定感染国はインドネシア2人、タイ1人、ミャンマー1人、タイ又はカンボジア1人であった。麻疹含有ワクチン接種歴は、2回接種7人、1回接種4人、接種なし2人、不明15人であった。PCR検査で麻疹ウイルス陽性が確認された例は25件あり、それらの遺伝子型別の内訳はD8型24件（85.7%）、H1型1人であった。また、A型（ワクチン株のため届出対象外）2件であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：6人の届出があった。推定感染原因は手術部位感染1人、医療器具関連感染（人工呼吸器1人）、その他4人（肺炎からの派生1人、不明3人）であった。

五類感染症のうち先天性風しん症候群（CRS）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

（2）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2016年と比較して定点当たり10%以上報告数が減少した疾患は感染性胃腸炎、伝染性紅斑、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎の5疾患であった。定点当たりの報告数が前年並みであった疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、突発性発しん、川崎病の5疾患であった。定点当たり前年比10%以上増加した疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、手足口病、不明発しん症の4疾患であった。

[前年比減少疾患]

感染性胃腸炎：2017年の報告数は84,981人、定点当たり326.63人であった。定点当たりの当年/前年比は0.77であった。

伝染性紅斑：2017年の報告数は1,311人、定点当たり5.04人であった。定点当たりの当年/前年比は0.53であった。

百日咳：2017年の報告数は113人、定点当たり0.44人であった。定点当たりの当年/前年比は0.63であった。

ヘルパンギーナ：2017年の報告数は6,812人、定点当たり26.54人であった。定点当たりの当年/前年比は0.52であった。

流行性耳下腺炎：2017年の報告数は2,903人、定点当たり11.16人であった。定点当たりの当年/前年比は0.34であった。

[前年並みであった疾患]

インフルエンザ：2017年の報告数は129,813人、定点当たり314.14人であった。定点当たりの当年/前年比は1.04であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2017年の報告数は30,664人、定点当たり117.71人であった。定点当たりの当年/前年比は0.98であった。

水痘：2017年の報告数は5,135人、定点当たり19.73人であった。定点当たりの当年/前年比は0.92であった。

突発性発しん：2017年の報告数は7,056人、定点当たり27.13人であった。定点当たりの当年/前年比は0.97であった。

川崎病：2017年の報告数は205人、定点当たり0.79人であった。定点当たりの当年/前年比は0.99であった。

[前年比増加疾患]

RSウイルス感染症：2017年の報告数は8,838人、定点当たり34.47人であった。定点当たりの当年/前年比は1.27であった。

咽頭結膜熱：2017年の報告数は7,322人、定点当たり28.21人であった。定点当たりの当年/前年比は1.46であった。

手足口病：2017年の報告数は33,056人、定点当たり129.10人であった。定点当たりの当年/前年比は4.79であった。

不明発しん症：2017年の報告数は1,101人、定点当たり4.25人であった。定点当たりの当年/前年比は1.12であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：報告数は12人、定点当たり0.31人だった。過去10年間の定点あたり報告数は徐々に減少し、2017年は2016年（定点当たり0.28人）とほぼ同等だった。

流行性角結膜炎：報告数は1,219人、定点当たり31.48人だった。過去3年間は定点当たり30人を超えて多い報告だった。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：2017年の報告数は41人、定点当たり1.64人であった。定点当たりの当年/前年比は1.24であった。

無菌性髄膜炎：2017年の報告数は39人、定点当たり1.56人であった。定点当たりの当年/前年比は0.51であった。

マイコプラズマ肺炎：2017年の報告数は237人、定点当たり9.48人であった。定点当たりの当年/前年比は0.23であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）：2017年の報告数は46人、定点当たり1.84人であった。定点当たりの当年/前年比は0.92であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによるもの）：2017年の報告数は235人、定点当たり9.40人であった。当年/前年比は2.18であった。

インフルエンザ入院：2017年の報告数は902人、定点当たり36.08人であった。定点当たりの当年/前年比は1.39であった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：2017年の報告数は881人、定点当たり35.24人であった。定点当たりの当年/前年比は1.02であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2017年の報告数は105人、定点当たり4.20人であった。定点当たりの当年/前年比は0.76であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：2017年の報告数は3人、定点当たり0.12人であった。定点当たりの当年/前年比は0.14であった。

オ 性感染症

性器クラミジア感染症：報告数は2,294人であり、そのうち男性は1,300人、定点当たり23.67人（前年比0.84）、女性は994人、定点当たり18.1人（前年比0.86）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数は1,279人であった。男性911人、定点当たり16.59人（前年比0.96）、女性368人、定点当たり6.7人（前年比0.85）で、2006年以降男性に多い状況が続いている。

尖圭コンジローマ：報告数は1,021人であった。男性692人、定点当たり12.59人（前年比0.68）、女性329人、定点当たり5.99人（前年比1.08）で、男性が多い。

淋菌感染症：報告数は1,109人であった。男性825人、定点当たり15.02人（前年比0.69）、女性284人、定点当たり5.17人（前年比0.86）で、男性は女性のおおよそ3倍の報告数となった。

膣トリコモナス症：報告数は110人であり、男性2人、定点当たり0.04人（前年比0.50）、女性108人、定点当たり1.97人（前年比0.96）であった。

（3）疑似症（法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）

摂氏38℃以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）は26人、発熱及び発しん又は水疱は3人報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数)

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	1	-	-	-	-	-	-
	結核	3,022	2,874	2,671	2,533	2,306	2,340	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 ^{*10}	/	/	/	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^{*1}	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*7}	/	/	-	-	-	-	-
三类	コレラ	3	-	-	3	1	2	2
	細菌性赤痢	86	75	36	41	53	40	34
	腸管出血性大腸菌感染症	257	258	382	362	335	452	467
	腸チフス	6	13	23	27	14	18	8
	パラチフス	9	11	20	8	9	8	6
四類	E型肝炎	9	21	32	27	39	37	57
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	27	35	19	38	39	65	65
	エキノコックス症	2	1	-	-	1	-	1
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	3	-	2	3	-	2	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	1	-	-	-	-	2
	キャサスル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	3	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	2	1	4	-	2	2	1
	サル痘	-	-	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症 ^{*11}	/	/	/	/	/	3	-
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}	/	/	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 ^{*2}	-	3	4	5	7	4	3
	つつが虫病	13	19	12	18	14	7	13
	デング熱	27	56	66	163	92	90	65
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	1	-	-	-	1	-	1
	日本脳炎	1	-	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	4	2	1	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-	
ボツリヌス症	-	-	-	-	-	1	2	
マラリア	27	24	12	27	16	18	27	
野兔病	-	-	-	-	-	-	-	

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
四 類	ライム病	3	-	7	2	2	-	1
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	-	1	-	1	-	1
	レジオネラ症	72	60	80	107	153	143	159
	レプトスピラ症	5	6	6	6	10	7	9
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	178	198	187	229	205	222	219
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	40	60	72	48	53	69	67
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*8	/	/	/	56	236	190	212
	急性脳炎	19	33	46	52	47	85	74
	クリプトスポリジウム症	2	2	7	82	3	2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	13	18	19	17	24	16	19
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	30	23	37	41	62	65	72
	後天性免疫不全症候群	409	461	469	512	435	464	464
	ジアルジア症	13	16	22	15	19	17	24
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*5	/	/	12	22	29	46	56
	侵襲性髄膜炎菌感染症*5	/	/	11	9	8	5	3
	侵襲性肺炎球菌感染症*5	/	/	124	225	323	356	390
	水痘(入院例)*8	/	/	/	11	55	56	55
	髄膜炎菌性髄膜炎*6	2	-	-	/	/	/	/
	先天性風しん症候群	-	-	13	3	-	-	-
	梅毒	248	297	419	507	1,044	1,673	1,788
	播種性クリプトコックス症*8	/	/	/	4	11	20	15
	破傷風	8	5	4	10	2	4	9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	6	10	8	6	2	2	8
風しん*3	32	672	3445	99	33	19	22	
麻しん*3	178	84	69	94	10	22	28	
薬剤耐性アシネトバクター感染症*9	/	/	/	3	13	1	6	

- *1 2008年5月12日より追加指定。
 *2 2011年2月1日より追加指定。
 *3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。
 *4 2013年3月4日より追加指定。
 *5 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。
 *6 2003年11月5日より四類(全数把握対象)から五類(全数把握対象)に変更となった後、2013年4月1日より届出対象から除外。
 *7 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。
 *8 2014年9月19日より追加指定。
 *9 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。
 *10 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。
 病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。
 *11 2016年2月15日より追加指定。

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のラクダ*1	/	/	/	-	-	-	-
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

*1 2014年7月26日より追加指定

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
小児科定点数	150	150	150	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	290	290	290	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	23,059 80.47	142,140 495.53	12,614 43.97	99,940 240.03	135,064 323.29	75,328 181.11	152,421 367.55	59,435 145.11	125,207 302.31	129,813 314.14
RSウイルス感染症 *1	1,722 11.71	845 5.73	2,153 14.52	3,628 13.94	6,349 24.51	6,058 23.48	6,183 23.70	7,197 27.82	7,021 27.06	8,838 34.47
咽頭結膜熱	2,927 19.86	1,339 9.07	1,979 13.37	4,936 18.95	5,510 21.20	6,184 23.89	5,607 21.54	5,385 20.77	5,026 19.38	7,322 28.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13,925 93.97	10,058 68.03	11,231 75.80	25,487 97.66	25,224 96.60	24,801 95.29	27,581 105.60	35,039 134.57	31,211 120.13	30,664 117.71
感染性胃腸炎	58,681 395.92	37,599 254.50	63,372 427.41	95,910 367.56	118,967 455.28	102,987 395.81	84,091 322.84	91,052 350.13	110,239 423.72	84,981 326.63
水痘	8,682 58.68	7,079 47.94	9,472 63.93	15,679 60.11	12,995 49.75	11,452 44.22	10,314 39.69	6,765 26.04	5,541 21.34	5,135 19.73
手足口病	4,487 30.60	3,426 23.36	6,257 42.52	24,786 95.84	5,411 20.90	29,320 114.72	6,089 23.44	32,599 126.39	6,993 26.97	33,056 129.10
伝染性紅斑	1,168 7.90	1,558 10.54	2,929 19.79	6,317 24.23	1,626 6.23	1,608 6.19	5,069 19.44	10,174 39.08	2,485 9.57	1,311 5.04
突発性発しん	4,944 33.49	4,463 30.24	4,397 29.74	8,447 32.44	8,547 32.85	8,299 32.00	8,120 31.18	7,816 30.10	7,231 27.87	7,056 27.13
百日咳	278 1.88	225 1.53	506 3.42	450 1.73	286 1.10	91 0.35	158 0.61	300 1.15	181 0.70	113 0.44
ヘルパンギーナ	6,470 44.08	2,574 17.63	8,400 57.06	14,431 55.78	13,548 52.28	8,480 33.06	15,874 61.25	7,200 27.91	13,094 50.69	6,812 26.54
流行性耳下腺炎	3,662 24.83	5,175 35.05	5,154 34.87	4,488 17.23	3,089 11.88	2,549 9.83	3,003 11.57	4,883 18.83	8,526 32.88	2,903 11.16
不明発しん症 *2	734 4.98	657 4.48	622 4.21	1,506 5.78	1,400 5.40	1,094 4.24	1,158 4.45	1,312 5.06	983 3.79	1,101 4.25
川崎病 *2	109 0.73	71 0.48	89 0.60	217 0.83	177 0.68	221 0.85	180 0.69	199 0.77	208 0.80	205 0.79

*1 2003年45週より実施

*2 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(眼科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	64 1.66	53 1.37	74 1.91	31 0.84	19 0.50	17 0.45	13 0.34	14 0.36	11 0.28	12 0.31
流行性角結膜炎	865 22.41	703 18.28	951 24.60	842 22.73	1,140 30.01	891 23.68	913 23.79	1,256 32.49	1,201 31.03	1,219 31.48

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
定点数	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	24 1.01	24 1.02	18 0.76	52 2.14	42 1.68	48 1.93	22 0.88	38 1.52	33 1.32	41 1.64
無菌性髄膜炎	34 1.42	28 1.17	38 1.61	96 3.91	121 4.86	126 5.06	102 4.09	73 2.92	77 3.08	39 1.56
マイコプラズマ肺炎	298 12.53	305 12.93	416 17.76	1,143 46.78	1,067 42.84	514 20.66	234 9.37	770 30.85	1,047 41.88	237 9.48
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	25 1.05	46 1.96	20 0.85	18 0.74	14 0.56	40 1.60	21 0.84	59 2.36	50 2.00	46 1.84
感染性胃腸炎 ^{*1} (ロタウイルスによる)						22 0.88	134 5.36	99 3.96	108 4.32	235 9.40
インフルエンザ入院 ^{*2}				12 0.48	610 24.40	518 20.89	735 29.40	486 19.44	649 25.96	902 36.08

*1 2013年42週より実施

*2 2011年36週より実施

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
定点数	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,606 66.92	1,290 54.44	1,312 55.36	1,136 46.67	1,074 43.25	918 37.26	908 36.44	877 35.21	867 34.68	881 35.24
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	554 23.08	552 23.30	635 26.77	596 24.55	440 17.72	467 18.94	186 7.47	158 6.36	138 5.52	105 4.20
薬剤耐性緑膿菌感染症	26 1.08	22 0.93	26 1.10	37 1.52	24 0.97	32 1.29	21 0.84	28 1.12	22 0.88	3 0.12
薬剤耐性アシネト* バクテリア感染症				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00			

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,605 47.51	2,295 42.51	2,376 44.07	2,426 44.37	2,315 42.64	2,286 42.46	2,427 44.90	2,678 49.09	2,712 49.39	2,294 41.77
性器ヘルペスウイルス感染症	946 17.25	954 17.69	1,194 22.15	1,236 22.60	1,311 24.17	1,216 22.60	1,298 24.00	1,329 24.36	1,400 25.49	1,279 23.29
尖圭コンジローマ	926 16.88	727 13.47	842 15.62	837 15.31	877 16.17	959 17.84	986 18.22	1,237 22.68	1,321 24.06	1,021 18.58
淋菌感染症	1,096 19.99	950 17.61	1,067 19.81	1,212 22.15	1,035 19.09	1,070 19.87	1,259 23.31	1,394 25.55	1,528 27.82	1,109 20.20
膣トリコモナス症*	169 3.08	138 2.55	150 2.78	136 2.49	129 2.38	113 2.10	127 2.36	151 2.77	117 2.13	110 2.00
梅毒様疾患*	82 1.50	94 1.74	83 1.54	117 2.14	120 2.21	136 2.53	135 2.50	221 4.05		

* 東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

表2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(疑似症定点)

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
定点数	315	315	315	443	443	443	443	443	443	443
発熱及び呼吸器症状*	11	147	20	9	10	38	147	126	49	26
発熱及び発しん・水疱*	8	6	9	4	15	16	20	21	5	3

* 2008年7月より実施

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）、指定感染症

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ 三類感染症

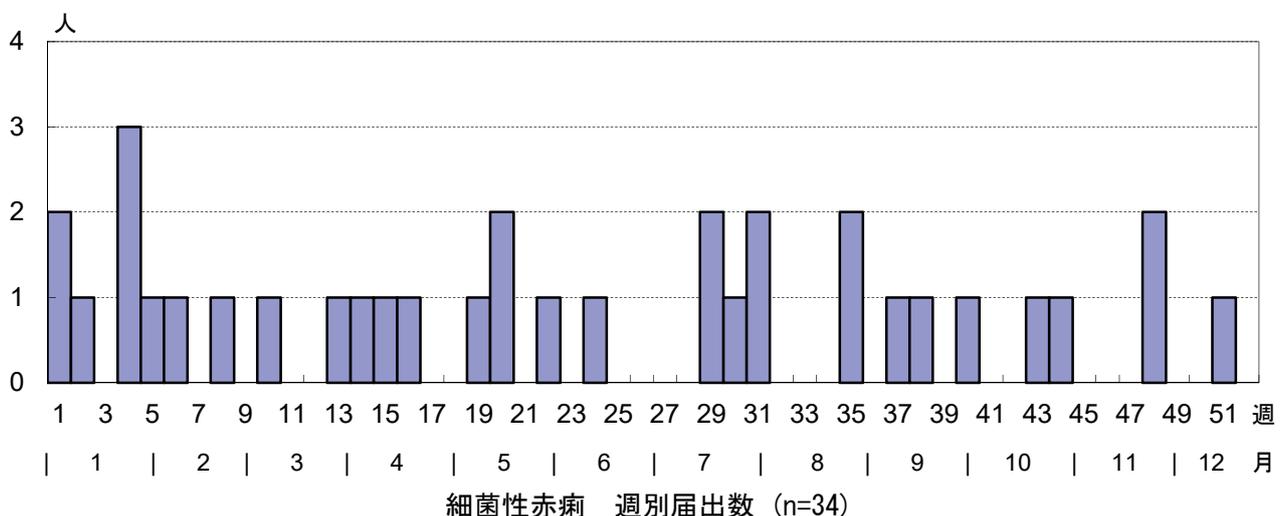
① コレラ

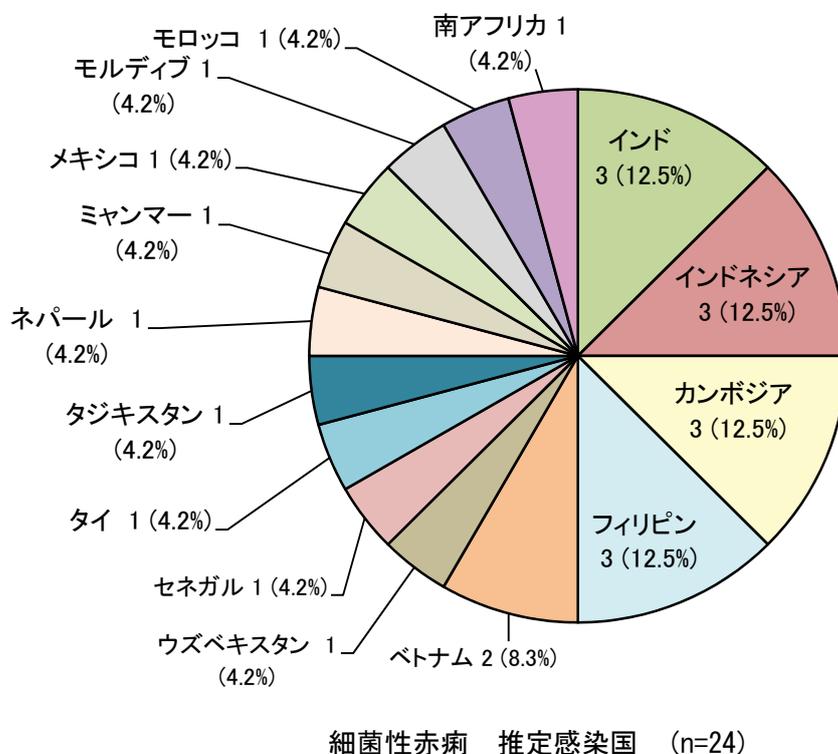
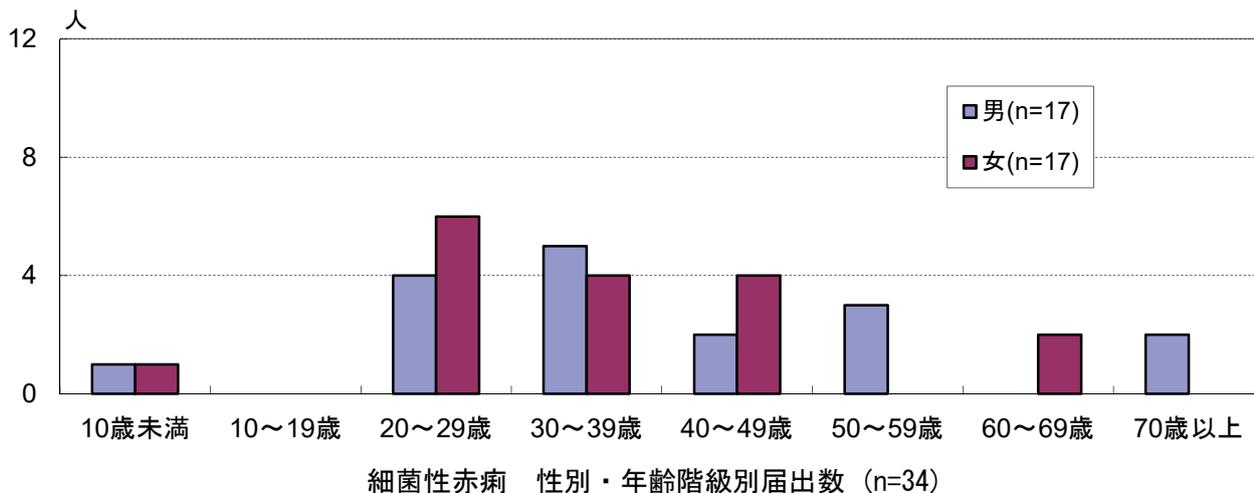
2017年は2人の届出があった。性別はすべて女性で、年齢階級別は20～29歳1人、40～49歳1人であった。菌型はO1エルトル小川型が1人、O1小川型が1人であった。推定感染地はフィリピンが1人、インドが1人であった。

② 細菌性赤痢

2017年は34人の届出があった。菌種は *sonnei* 27件、*flexneri* 6件、*boydii* 1件であった。性別は男性17人、女性17人で、年齢階級別では10歳未満2人、20～29歳10人、30～39歳9人、40～49歳6人、50～59歳3人、60～69歳2人、70～79歳2人であった。

推定感染地は国内10人、国外24人であった。国内感染と推定された10人のうち同性間性的接触によると推定される感染例が2例報告された。国外感染例の推定感染国は円グラフに掲げる通りであった。



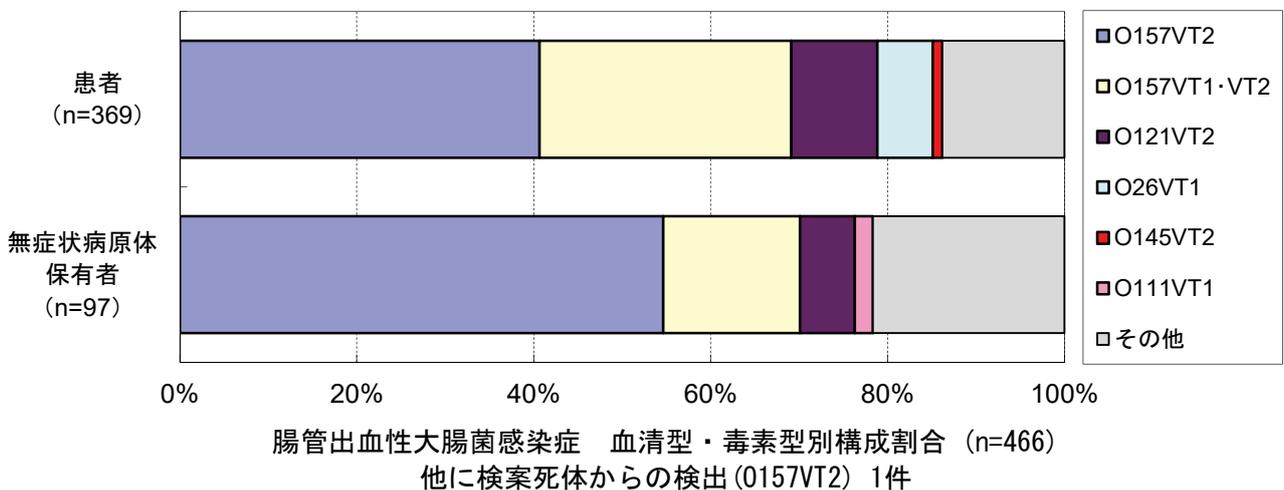
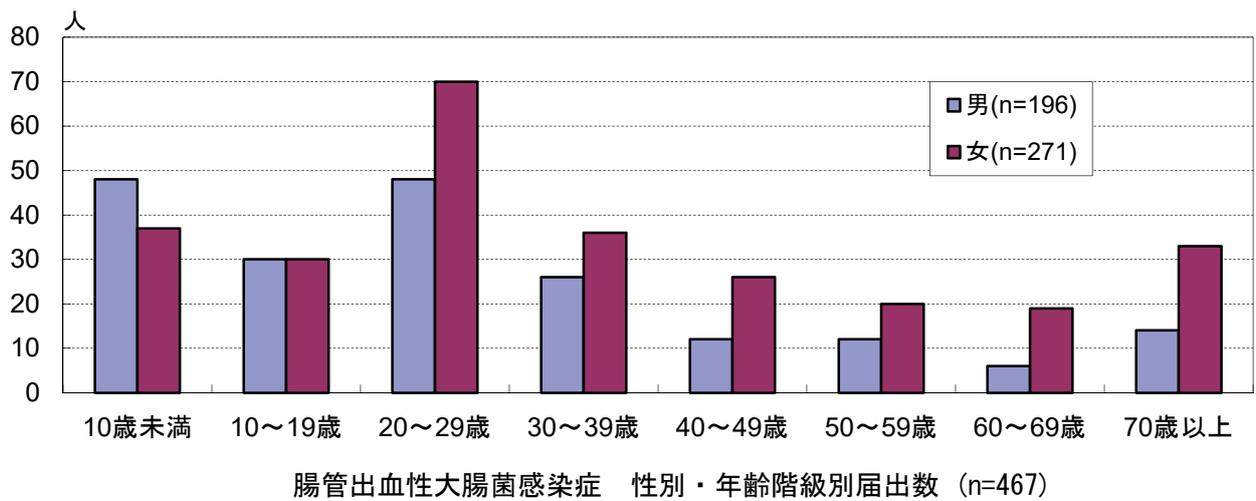
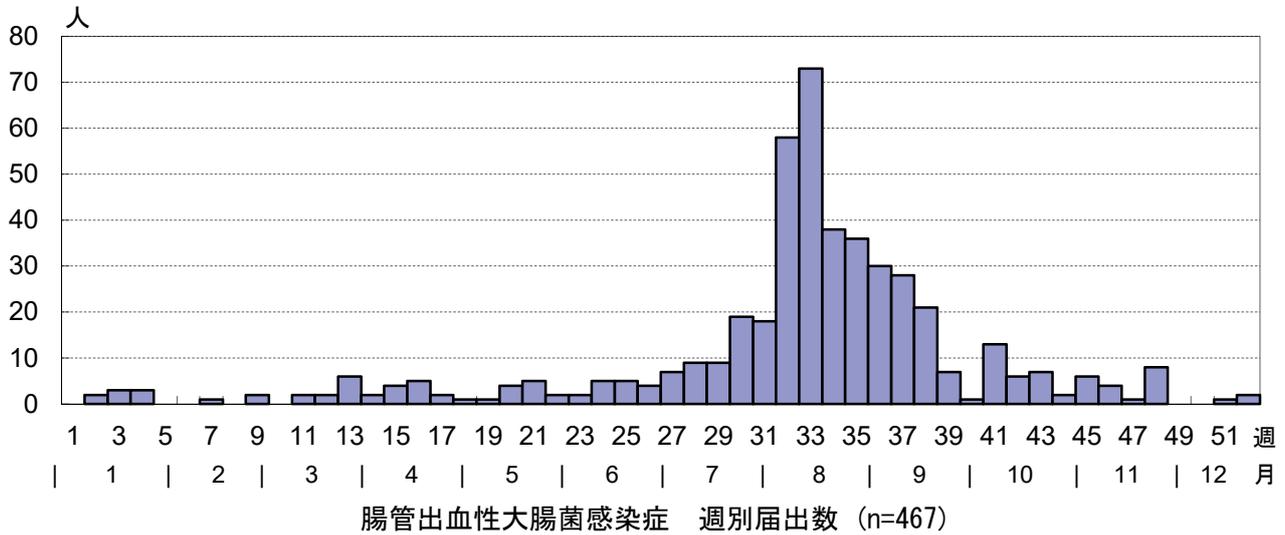


③ 腸管出血性大腸菌感染症

2017年は467人の届出があり、過去5年間で最も多い届出数となった。症状別では患者369人、無症状病原体保有者97人、検案死体からの検出が1人あった。死亡例は検案死体からの検出事例を含めて3人あった。届出はほぼ1年を通して見られたが、特に梅雨期及び晩夏期に集団事例の発生に伴い増加した。性別は男性196人、女性271人で、年齢階級別では10歳未満85人(うち5歳未満41人)、10～19歳60人、20～29歳118人、30～39歳62人、40～49歳38人、50～59歳32人、60～69歳25人、70歳以上47人であった。血清型・毒素型はO157VT2が204件で最多であった。推定感染地は国内448人、国外13人(韓国3人、フィリピン2人、エジプト2人、インドネシア1人、カンボジア1人、ロシア1人、ウガンダ1人、キューバ又はカナダ1人、渡航先不明1人)、国内または国外6人(ベトナム1人、インドネシア1人、米国1人、モロッコ1人、渡航先不明2人)であった。

症例の集積は、第 28～30 週に O26VT1 による保育園関連が 11 人、第 31～33 週に O157VT1 及び O157 VT1・VT2 及び O157 毒素型不明による老人ホーム関連が 10 人あった。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断されたものは 25 人であった。



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=467)

血清型	毒素型	件数	血清型	毒素型	件数
O26	VT1	42	O115	VT1	1
	VT1・VT2	4	O121	VT2	4
	不明	2	O128	VT2	1
O55	VT1	1	O145	VT2	1
O70	VT2	1*	O157	VT1	10
O91	VT1	2		VT2	204
	VT2	1		VT1・VT2	120
	VT1・VT2	3		不明	23
O103	VT1	6	O165	不明	1
O109	VT2	1*	不明	VT1	8
O111	VT1	2		VT2	7
	VT1・VT2	7		VT1・VT2	2
	不明	1	不明	不明	13

* 他の血清型・毒素型との重複感染例を含む

溶血性尿毒症症候群発症例 (n=25)

受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	推定感染経路等
3/17	女	8	血清型不明・VT2	国内	
6/29	女	3	O157VT1・VT2	国内	卵の喫食
7/15	男	2	血清型・毒素型不明	国外(ロシア)	
8/3	男	5	O157VT2	国内	
8/4	女	56	血清型・毒素型不明	国内	自宅での調理
8/7	女	3	O157・毒素型不明	国内	
8/7	女	3	血清型・毒素型不明	国内	
8/8	女	16	O157VT2	国内	外食多く特定困難
8/9	女	20	O157VT1・VT2	国内	レバ刺し又はハンバーグの喫食
8/10	女	70	O157VT2	国内	
8/14	女	6	O157VT1・VT2	国内	
8/17	女	82	O157・毒素型不明	国内	
8/22	男	3	O157VT2	国内	
8/22	女	5	血清型・毒素型不明	国内	下痢の母と接触
8/22	女	7	血清型・毒素型不明	国内	
8/23	女	91	O157VT2	国内	
8/23	女	31	血清型・毒素型不明	国内	豚肉、マグロ、イカ、タコの喫食
8/25	男	14	血清型・毒素型不明	国内	
8/30	女	66	O157・毒素型不明	国内	
8/30	男	5	血清型・毒素型不明	国内	
9/1	女	22	血清型・毒素型不明	国内	

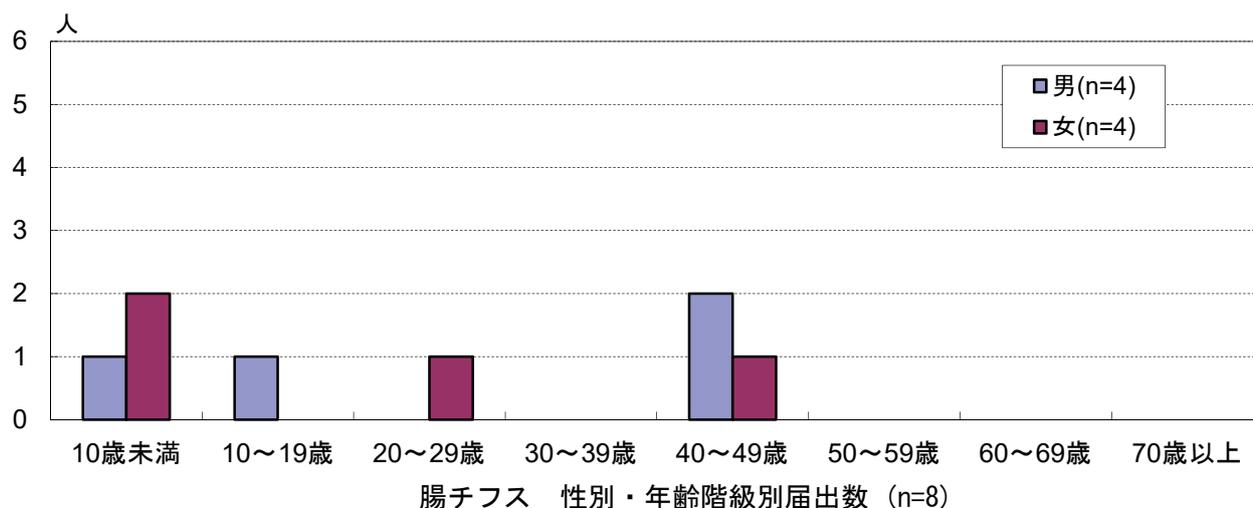
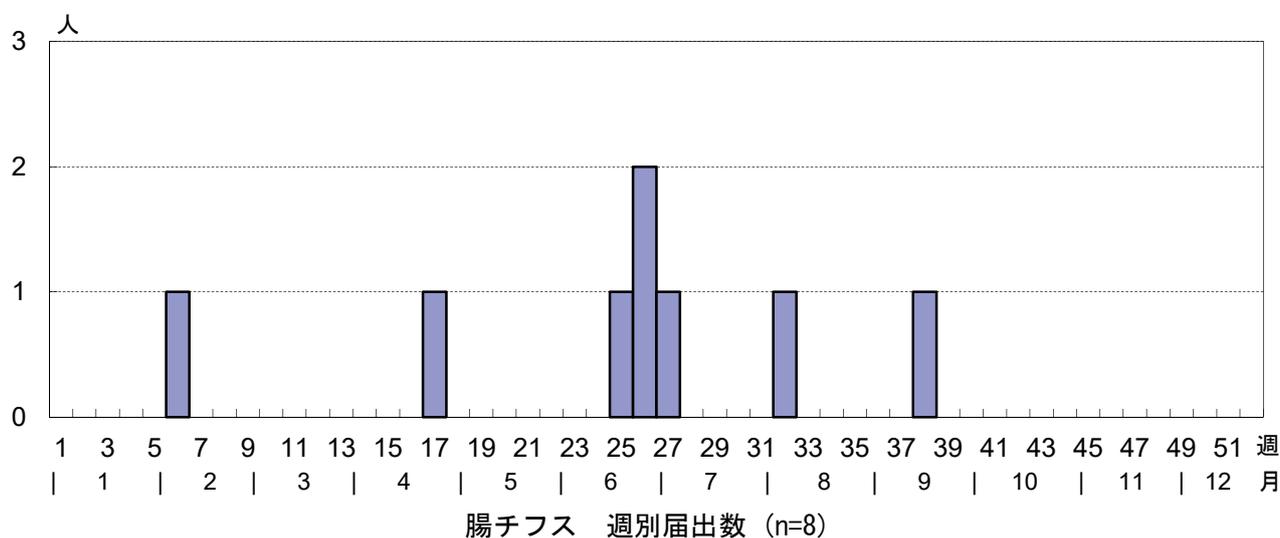
9/1	女	56	血清型・毒素型不明	国内
9/21	女	2	O109、O70・VT2	国内
10/30	男	5	血清型・毒素型不明	国内
11/20	男	0	O157VT2	国内

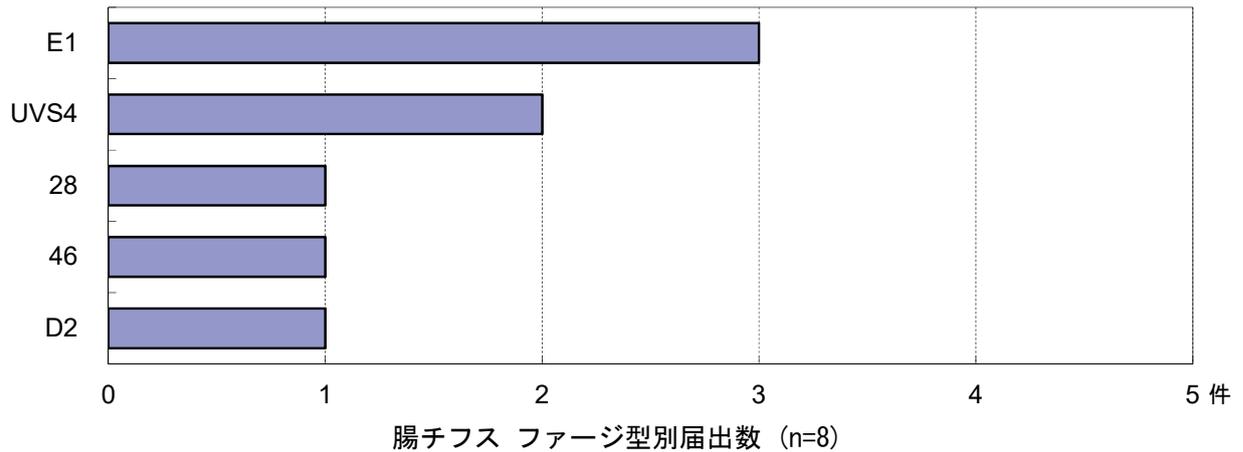
④ 腸チフス

2017年は8人の届出があった。性別では男性4人、女性4人、年齢階級別では10歳未満3人、10～19歳1人、20～29歳1人、40～49歳3人であった。

ファージ型の内訳はE1が3人、UVS4が2人、28が1人、46が1人、D2が1人であった。

推定感染地はすべて国外で、推定感染国はパキスタン3人、インドネシア2人のほか、ミャンマー、メキシコ、インド又はベトナム各1人であった。





⑤ パラチフス

2017年は6人の届出があった。性別は男性5人、女性1人であり、年齢階級別では20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳3人であった。

ファージ型判明者の内訳は1が2人、2が1人、RDNC (Reacted but did not conform) が1人、UT (Untypeable) 1人であった。

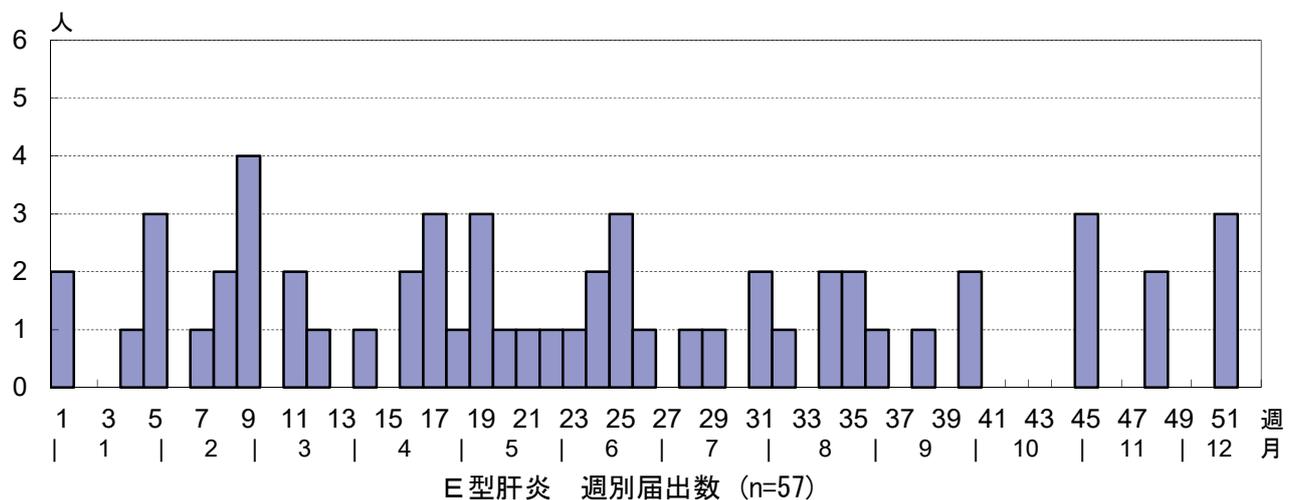
推定感染地はすべて国外で、推定感染国はインドネシア2人、カンボジア2人、ミャンマー1人、インド1人であった。

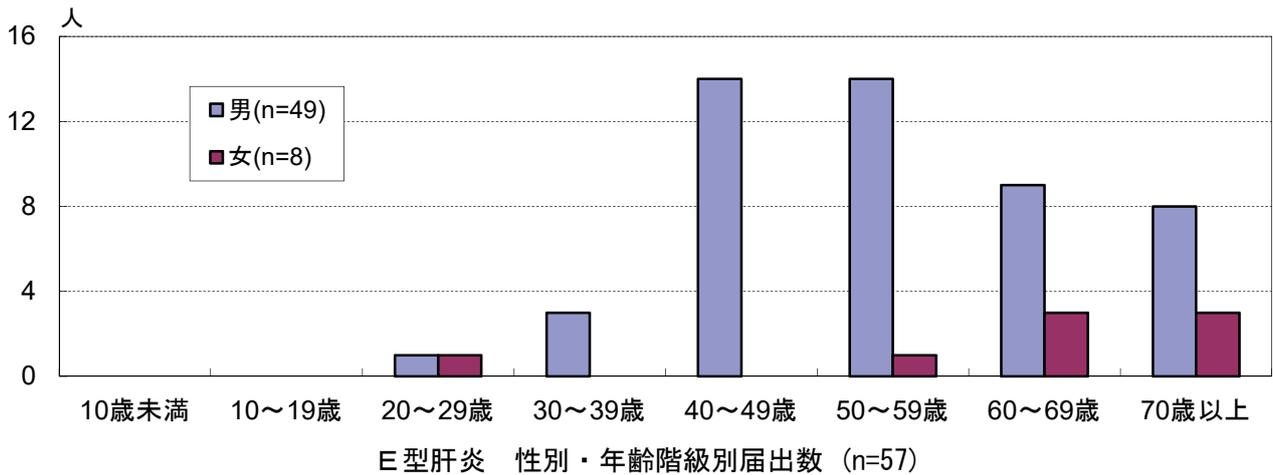
エ 四類感染症

① E型肝炎

2017年は57人の届出があった。性別は男性49人、女性8人で、年齢階級別では20～29歳2人、30～39歳3人、40～49歳14人、50～59歳15人、60～69歳12人、70歳以上11人であった。

推定感染地は国内52人、中国1人、韓国1人、中国又は台湾1人、中国又はフィリピン1人、国内又は米国(ハワイ)1人であった。推定感染経路は経口感染が38人、不明が19人で、経口感染のうちレバー喫食が4人(全員豚レバー)、ジビエ関係喫食3人(鹿肉1人、猪肉1人、内容不明1人)、生もの摂取2人(鳥と豚の刺身1人、牛と豚1人)、鳩の頭喫食1人、豚肉喫食1人、豚サラミ喫食1人であった。



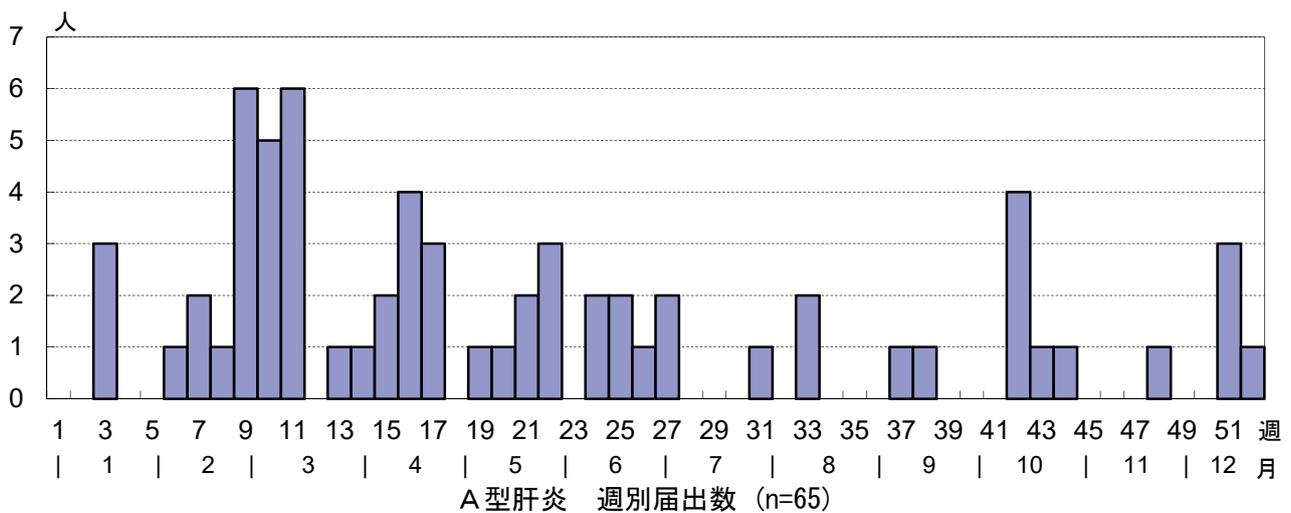


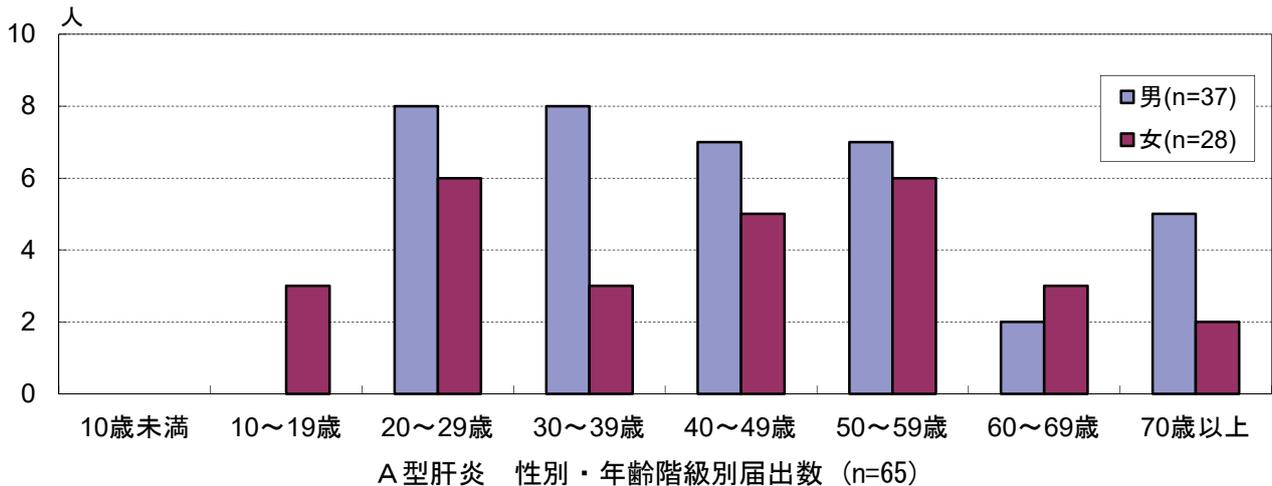
② A型肝炎

2017年は65人の届出があった。性別は男性37人、女性28人で、年齢階級別では10～19歳3人、20～29歳14人、30～39歳11人、40～49歳12人、50～59歳13人、60～69歳5人、70歳以上7人であった。

推定感染地は国内48人、国外13人、国内または国外4人（韓国1人、タイ1人、ベトナム1人、スペイン1人）であった。国外感染と推定された13人の推定感染国はフィリピン2人、モロッコ2人、タイ、インドネシア、カンボジア、ネパール、台湾、ドイツ、スペイン、南アフリカ各1人、中国又は香港1人であった。

推定感染経路は、飲食物を介した経口感染45人、性的接触6人、経口感染又は性的接触3人、不明11人（うち1人は性的接触感染者からの家族内感染）であり、経口感染45人の推定原因食品は魚介類が14人（うちカキ5人、他の貝類6人）、肉類4人、肉類と貝類2人、不明飲食物2人、生水1人、ココナッツジュース1人、不明21人であった。





③ エキノコックス症

2017年は1人の届出があった。性別は男性、年齢階級別は30歳代であった。推定感染地は国内（北海道に在住歴あり）、感染経路は不明であった。

④ 回帰熱

2017年は2012年以来となる2人の届出があった。性別は男性1人、女性1人であり、年齢階級別は30~39歳1人、60~69歳1人であった。推定感染地は国内（共に北海道）、感染経路は共に動物・蚊・昆虫等からの感染（うち1人はマダニ）であった。

⑤ コクシジオイデス症

2017年は1人の届出があった。性別は男性、年齢階級別は40歳代であった。推定感染地は国外（米国）であった。推定感染経路は塵埃感染であった。

⑥ チクングニア熱

2017年は3人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢階級別は30~39歳1人、40~49歳1人、60~69歳1人であった。推定感染地はすべて国外で、推定感染国はフィリピン1人、インド1人、バングラディシュ1人であった。

⑦ つつが虫病

2017年は13人の届出があった。性別は男性10人、女性3人であった。年齢階級別は10~19歳1人、20~29歳1人、30~39歳1人、40~49歳2人、50~59歳1人、60~69歳3人、70歳以上4人であった。

推定感染地は国内12人、国外1人で、国内の推定感染地は東京都11人（多摩地区5人、島しょ地区5人、不明1人）、広島県1人で、国外はラオス1人であった。

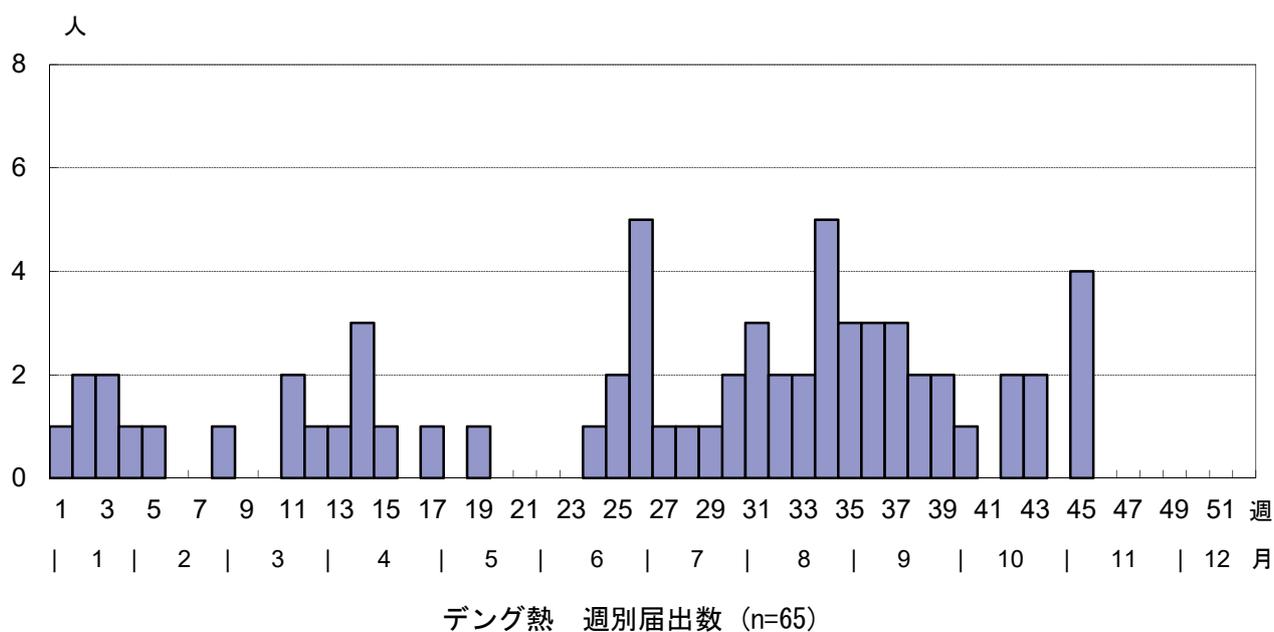
つつが虫病届出例 (n=13)

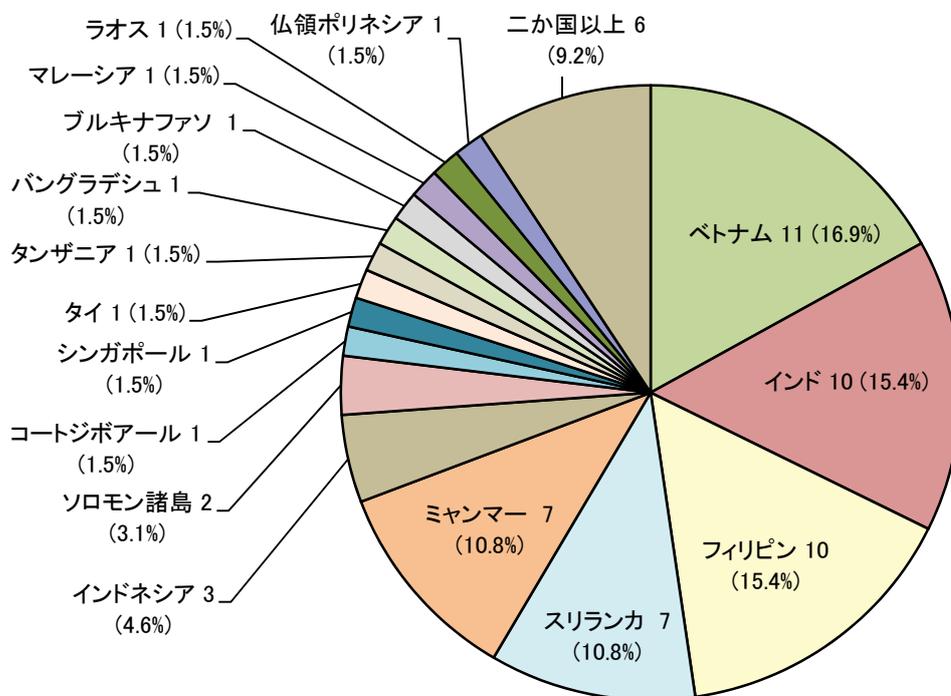
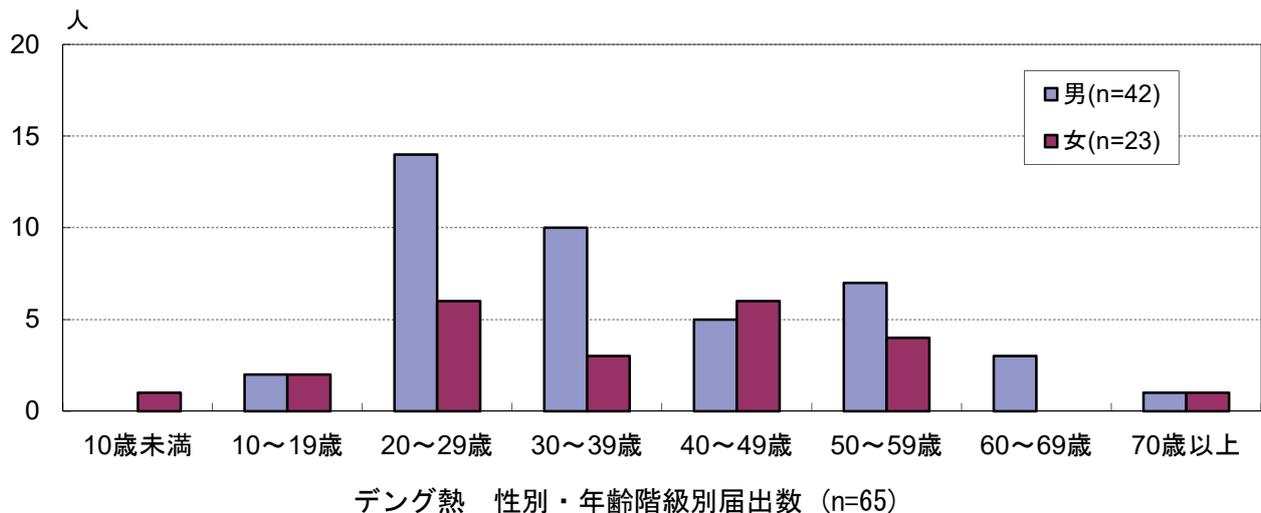
受理日	性別	年齢	推定感染地	野外地への旅行、立入り歴等
1/10	女	52	国内	土壌内
2/3	女	44	ラオス	
7/31	女	29	国内	
11/2	男	68	国内	
11/9	男	77	国内	
11/30	男	63	国内	
12/1	男	73	国内	
12/14	男	36	国内	猫のマダニ
12/15	男	49	国内	
12/19	男	77	国内	畑仕事
12/25	男	68	国内	
12/26	男	18	国内	猫のマダニ
12/27	男	76	国内	

⑧ デング熱

2017年は65人の届出があった。デング出血熱の届出はなかった。性別は男性42人、女性23人、年齢階級別は10歳未満1人、10～19歳4人、20～29歳20人、30～39歳13人、40～49歳11人、50～59歳11人、60～69歳3人、70歳以上2人であった。血清型は33件報告されており、その内訳は1型8件、2型11件、3型10件、4型4件であった。

推定感染地はすべて国外であった。





⑨ 日本紅斑熱

2017年は1人の届出があった。性別は男性、年齢階級別は40歳代であった。推定感染地は国内であった。推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

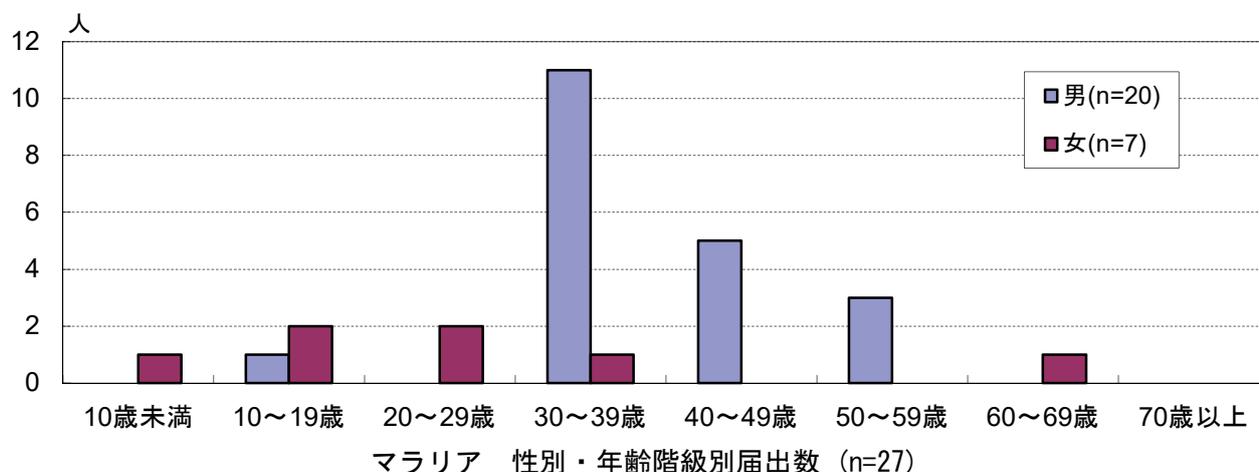
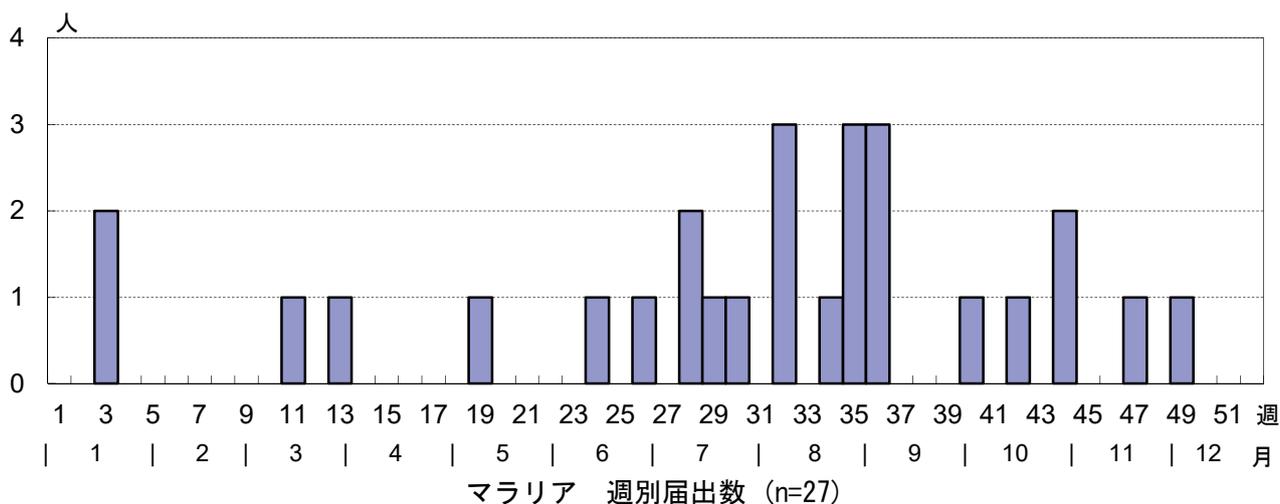
⑩ ボツリヌス症

2017年は2人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢階級別はすべて10歳未満(0歳児)であり、うち1人は死亡した。病型はすべて乳児型、毒素はすべてA型であった。推定感染地は国内であった。推定感染経路は経口感染1人、他1人は不明であった。死亡事例は生後5か月の男児ではちみつを摂取しており、患者の便および自宅にあったはちみつからボツリヌス菌が検出された。1986年の統

計開始以来死亡例は初めてであった。

⑪ マラリア

2017年は27人の届出があった。熱帯熱マラリア18人、卵形マラリア2人、三日熱マラリア3人、四日熱マラリア1人、不明3人であった。性別は男性20人、女性7人、年齢階級別は10歳未満1人、10～19歳3人、20～29歳2人、30～39歳12人、40～49歳5人、50～59歳3人、60～69歳1人であった。類型は患者26人、無症状病原体保有者1人であった。推定感染地はすべて国外であった。



マラリア 病型別推定感染国 (n=27)

病型	人数	推定感染国	人数
熱帯熱	18	ガーナ	5
		ナイジェリア	4
		シエラレオネ	3
		コンゴ共和国、ギニア、ウガンダ、カメルーン、インドネシア、マラウイ	各1
卵形	2	カメルーン、コートジボワール	各1

三日熱	3	韓国、パプアニューギニア、ブラジル又はチリ又はペルー	各 1
四日熱	1	カメルーン	
不明	3	インドネシア	2
		ギニア	1
合計	27		27

⑫ ライム病

2017年は1人の届出があった。性別は女性、年齢階級別は70歳以上であった。推定感染地は国内（北海道）であった。推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染（マダニ）であった。

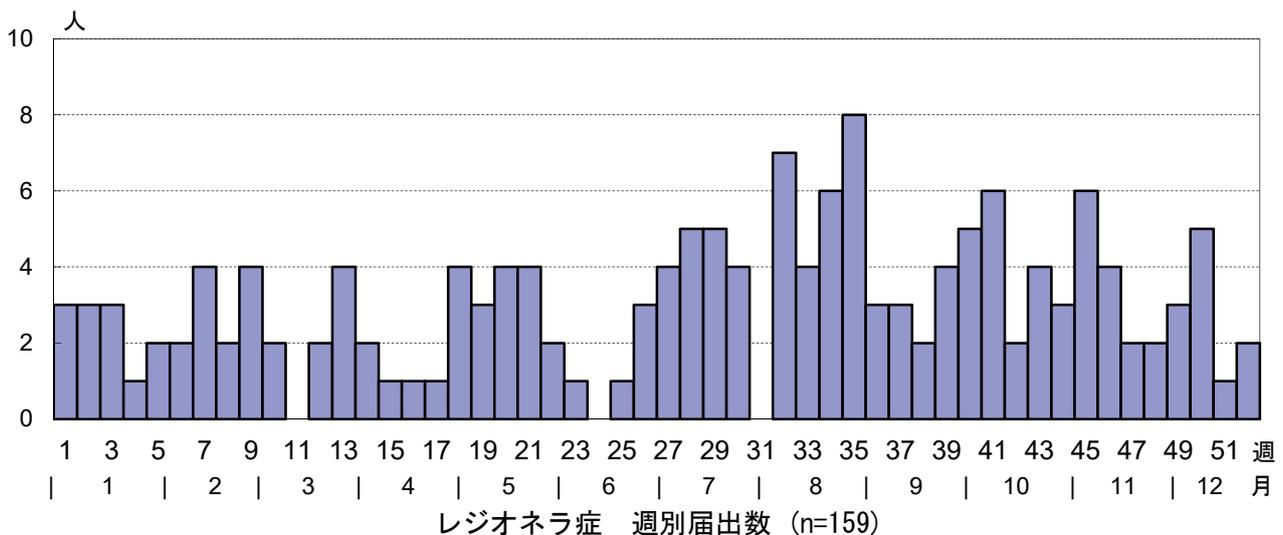
⑬ 類鼻疽

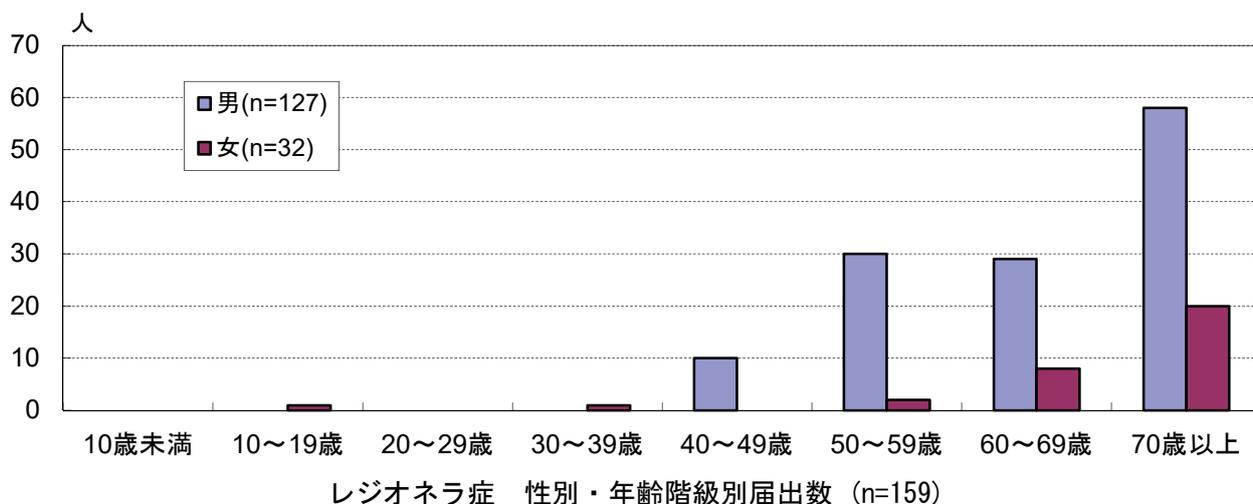
2017年は1人の届出があった。性別は男性、年齢階級別は50歳代であった。推定感染地は国外（フィリピン）であった。推定感染経路は水系感染（海でのシュノーケリング）であった。

⑭ レジオネラ症

2017年は159人の届出があった。病型は肺炎型147人、ポンティアック熱型10人、無症状病原体保有者2人であった。死亡例は1人であった。性別は男性127人、女性32人、年齢階級別は10～19歳1人、30～39歳1人、40～49歳10人、50～59歳32人、60～69歳37人、70歳以上78人であった。

推定感染地は国内154人、国外4人（中国、インドネシア、中国又は台湾、中国又は北朝鮮各1人）、国内又は国外1人であった。推定感染経路は水系感染75人、塵埃感染3人、不明81人であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは38人であった。





⑮ レプトスピラ症

2017年は9人の届出があった。性別は男性8人、女性1人、年齢階級別は20～29歳3人、30～39歳1人、50～59歳2人、60～69歳1人、70歳以上2人であった。推定感染地は国内7人、国外2人であった。

レプトスピラ症届出例 (n=9)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路、接触場所、滞在歴
2/6	男	30	米国 (グアム)	山中の河川
7/14	男	69	国内	ネズミ
7/14	男	74	国内	ネズミ
9/6	女	24	国内	西表島
9/6	男	73	タイ	河川
9/14	男	53	国内	西表島でのレジャー
10/10	男	22	国内	西表島での河川
10/20	男	20	国内	西表島での河川
11/3	男	54	国内	不明

⑯ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス族 SFTS ウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、野兔病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、ロッキー山紅斑熱

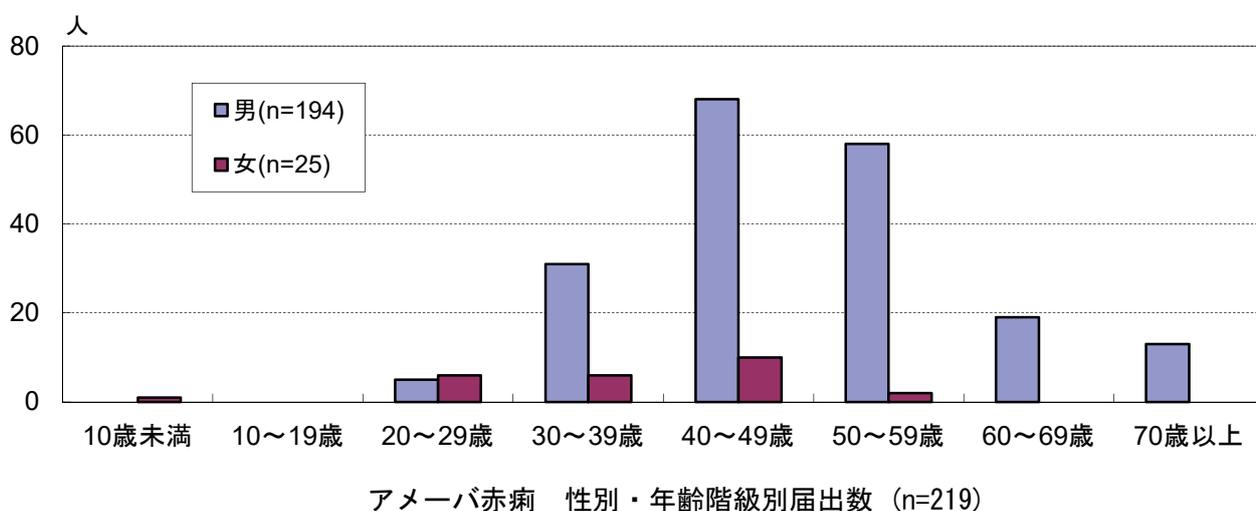
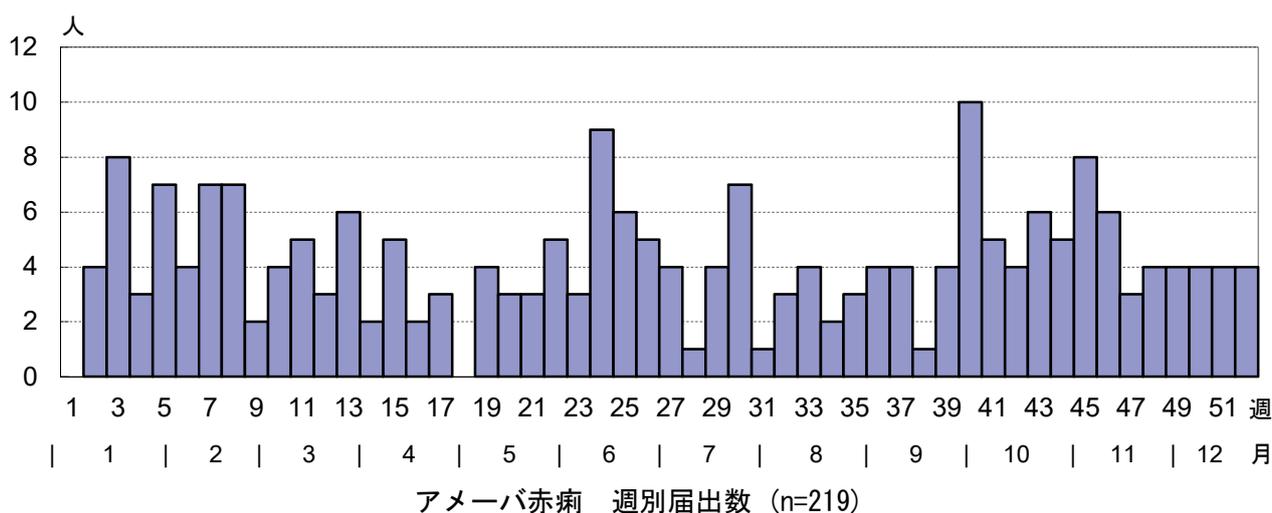
オ 五類感染症（全数把握対象）

① アメーバ赤痢

2017年は219人の届出があった。腸管アメーバ症187人、腸管外アメーバ症22人、腸管及び腸管外アメーバ症10人であった。性別は男性194人、女性25人で、年齢階級別では10歳未満1人、20～29歳11人、30～39歳37人、40～49歳78人、50～59歳60人、60～69歳19人、70歳以上13人であった。

推定感染地は国内175人、国外36人、国内又は国外8人であり、国外感染例36人を推定感染地域別にみると、東南アジア19人、東アジア7人、南アジア3人、アフリカ2人、ヨーロッパ1人、2地域以上3人、渡航先不明1人であった。渡航先不明の人を除く推定感染国はタイ5人、インドネシア4人、中国4人、インド3人、台湾2人、マレーシア2人、フィリピン、ベトナム、シンガポール、エジプト、南アフリカ、東南アジア（国名不明）各1人のほか、タイ又はインドネシア2人、タイ又はベトナム又はインドネシア、中国又はシンガポール又は香港、タイ又はフィリピン、タイ又は台湾、中国又は台湾、スペイン又はイタリア、米国（ハワイ）又はオーストラリア各1人であった。

推定感染経路は、性的接触80人（同性間35人、異性間38人、両性間1人、性別不明6人）、飲食物による経口感染47人、2経路以上1人、不明91人であった。



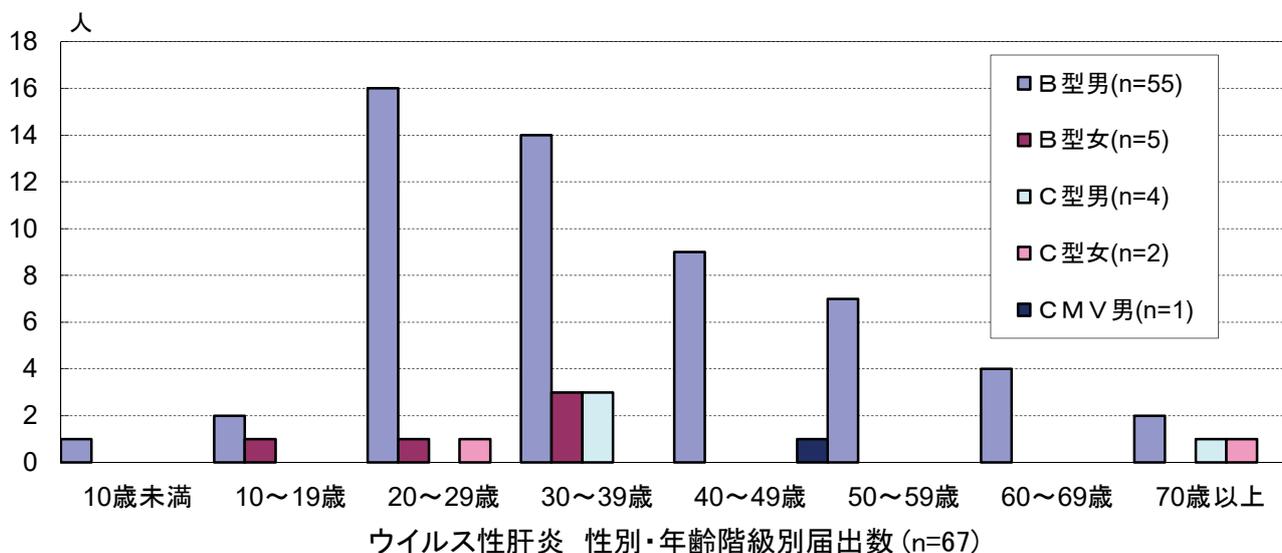
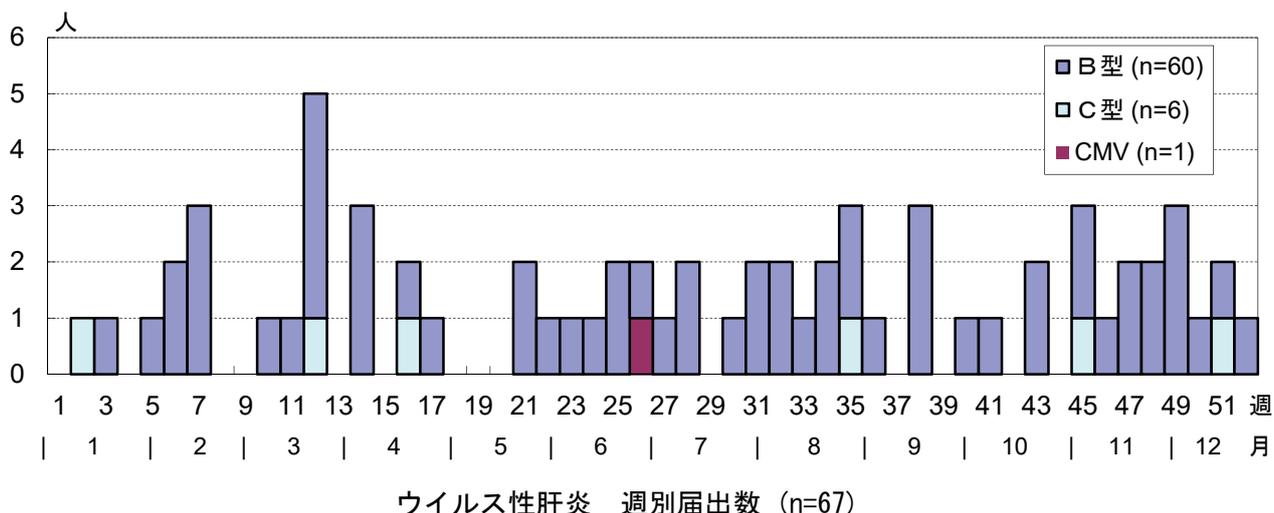
② ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）

2017年は67人の届出があった。内訳は、B型肝炎60人、C型肝炎6人、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎1人であった。

B型肝炎60人の届出のうち男性は55人、女性は5人で、年齢階級別では10歳未満1人、10～19歳3人、20～29歳17人、30～39歳17人、40～49歳9人、50～59歳7人、60～69歳4人、70歳以上2人であった。推定感染地は国内53人、国外6人（中国2人、韓国、ミャンマー、ドイツ各1人、中国又はアメリカ1人）、国内又は国外1人で、推定感染経路は性的接触47人（同性間14人、異性間26人、両性間2人、性別不明5人）、針等の鋭利なものの刺入による感染又は性的接触異性間1人、不明12人であった。

C型肝炎6人の届出のうち男性は4人、女性は2人で、年齢は20～29歳1人、30～39歳3人、70歳以上2人であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は性的接触3人（すべて同性間）、針等の鋭利なものの刺入による感染1人、不明2人であった。

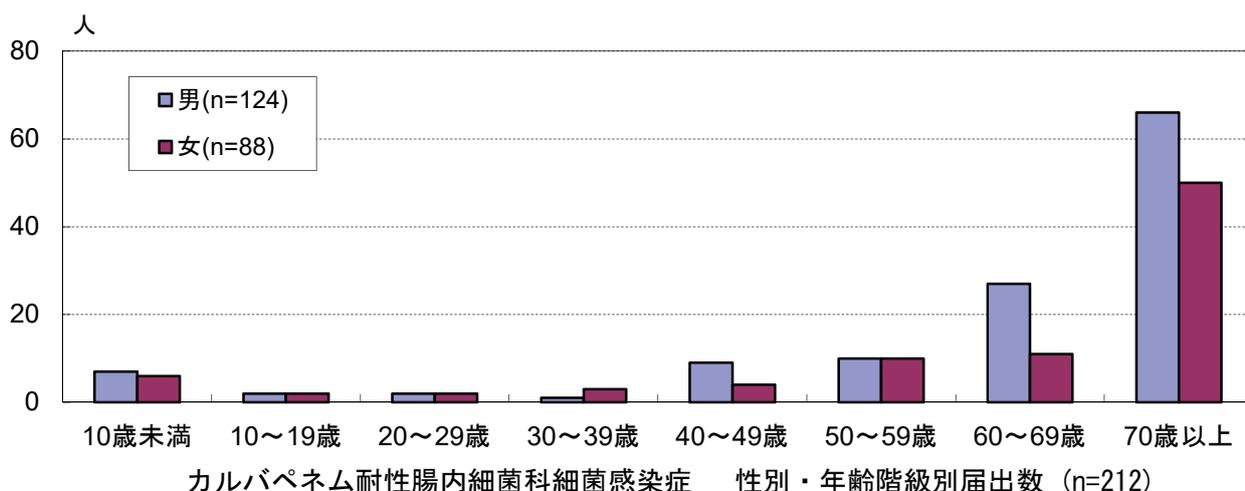
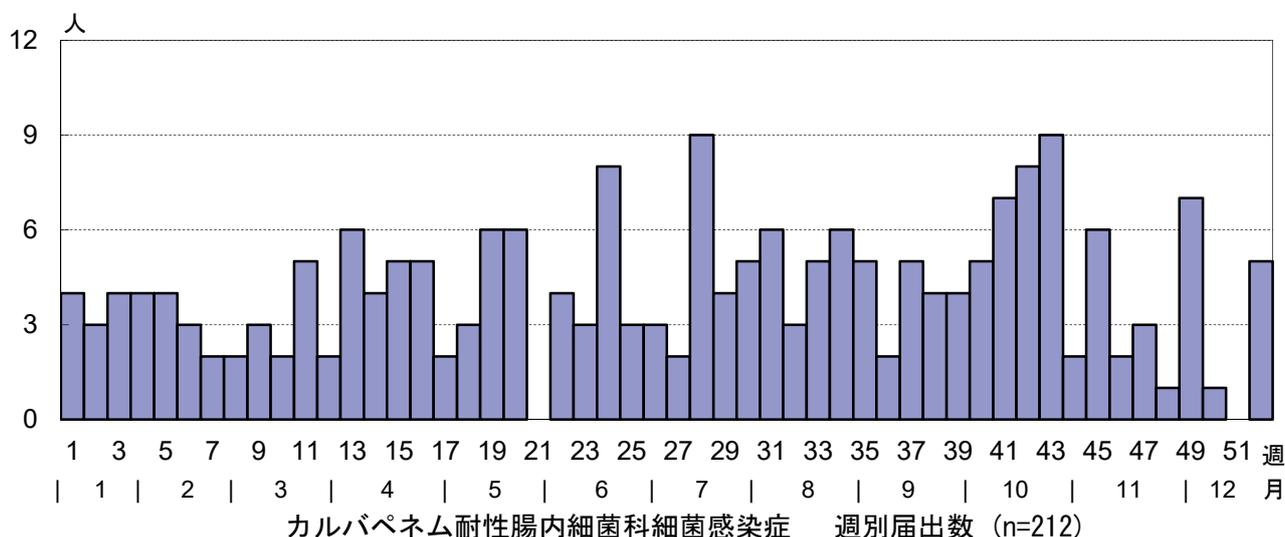
サイトメガロウイルス（CMV）肝炎の1人は男性、40歳代、推定感染地は国内、感染経路は不明（小児期に感染確立の可能性あり）であった。



③ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

2017年は212人の届出があった。性別は男性124人、女性88人で、年齢階級別では10歳未満13人（うち5歳未満11人）、10～19歳4人、20～29歳4人、30～39歳4人、40～49歳13人、50～59歳20人、60～69歳38人、70歳以上116人であった。死亡例は8人（60～69歳1人、70歳以上7人）が報告された。推定感染地は国内209人、国外2人（タイ、インド各1人）、国内または国外（中国）1人であった。

分離された菌種のうち *Enterobacter cloacae* が90件、*Enterobacter aerogenes* が53件、*Klebsiella pneumoniae* が24件、*Citrobacter freundii* が10件、*Serratia marcescens* が7件、*Enterobacter asburiae* が6件、*Escherichia coli* が6件、*Enterobacter sp.* が5件、*Klebsiella oxytoca* が4件、*Enterobacter amnigenus*、*Providencia sp.*、*Proteus mirabilis*、*Citrobacter* 属が各1件、2菌種以上が3件（*Enterobacter cloacae* 及び *Enterobacter aerogenes*、*Klebsiella pneumoniae* 及び *Escherichia coli*、*Klebsiella pneumoniae* 及び *Enterobacter asburiae* 各1件）であった。

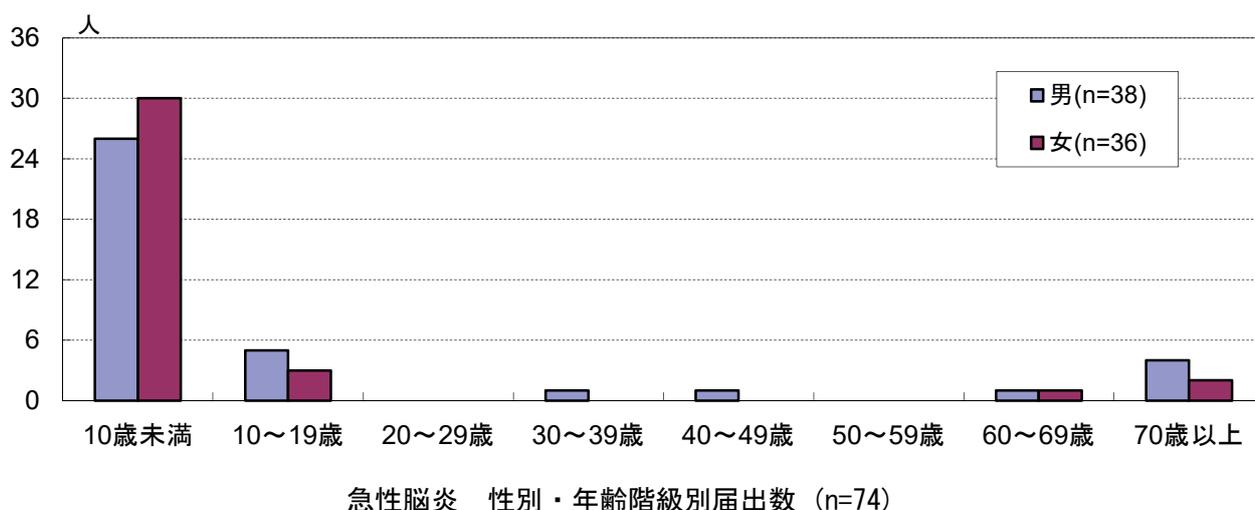
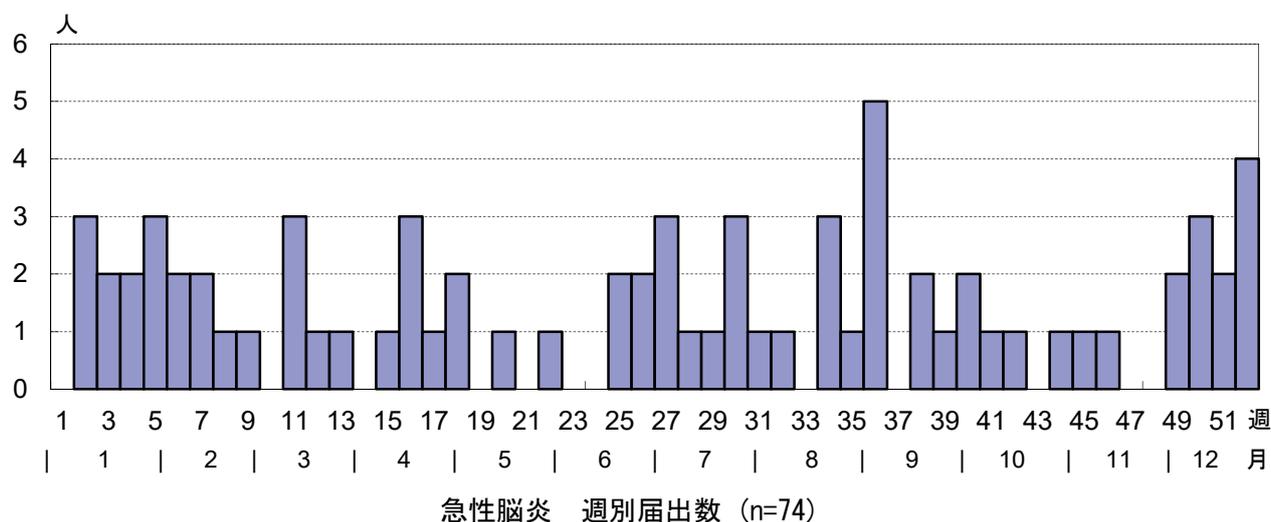


④ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2017年は74人の届出があった。性別は男性38人、女性36人で、年齢階級別では10歳未満56人（うち5歳未満45人）、10～19歳8人、30～39歳1人、40～49歳1人、60～69歳2人、70歳以上6

人、推定感染地は国内 73 人、国外 1 人（フィリピン）であった。

病原体はインフルエンザウイルス 17 件、ヒトヘルペスウイルス 10 件、ロタウイルス 4 件、大腸菌 4 件、RS ウイルス 3 件、単純ヘルペスウイルス 2 件、水痘・帯状疱疹ウイルス 2 件、エンテロウイルス、黄色ブドウ球菌、ヒトメタニューモウィルス各 1 件、ノロウイルス及びロタウイルス、ロタウイルス及び肺炎球菌各 1 件、不明 27 件であった。



⑤ クリプトスポリジウム症

2017 年は 2 人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢階級別は 30~39 歳 1 人、50~59 歳 1 人であった。推定感染地はすべて国内であった。推定感染経路はすべて性的接触であった。

⑥ クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)

2017 年は 19 人の届出があった。性別は男性 8 人、女性 11 人で、年齢階級別では 40~49 歳 1 人、50~59 歳 2 人、60~69 歳 4 人、70 歳以上 12 人であった。

孤発性プリオン病が 16 人（確実 2 人、ほぼ確実 13 人、疑い 1 人）であり、うち古典型 CJD が 15 人を占めた。また遺伝性プリオン病が 3 人あり、すべて家族性 CJD であった。

孤発性プリオン病 16 人の症状のうち、進行性認知症が 16 人すべてに認められたほか、ミオクローヌス 15 人、記憶障害 11 人、無動性無言状態 9 人、精神・知能障害 8 人、錐体路症状 7 人、錐体外路

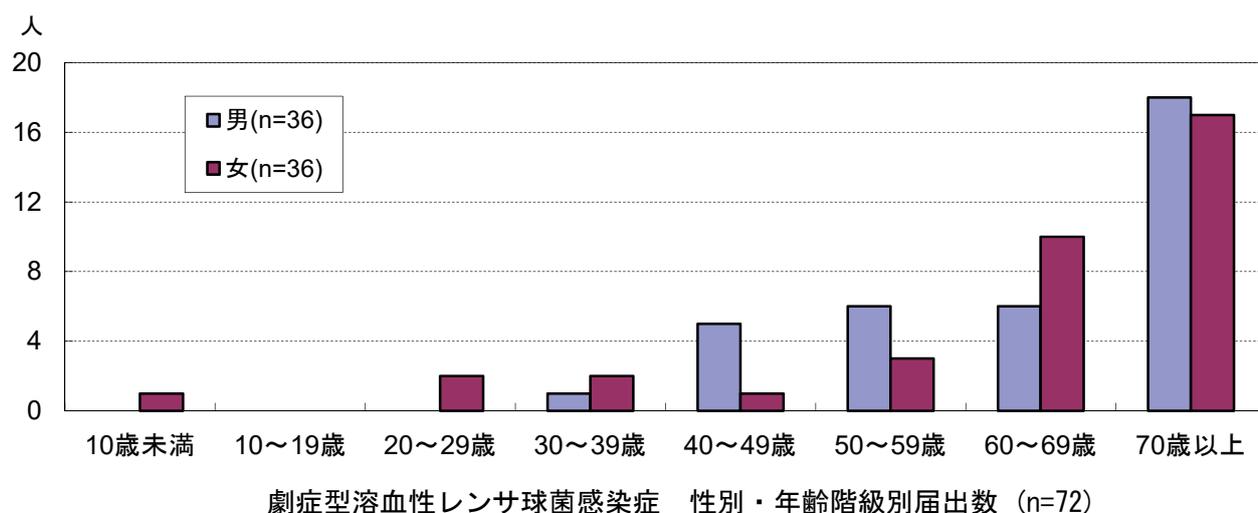
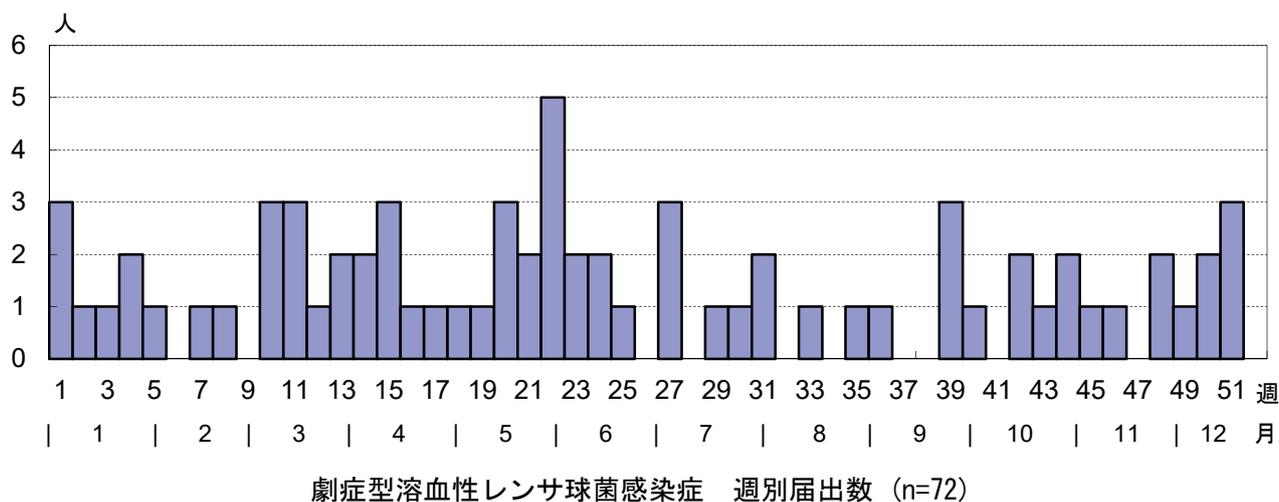
症状 6 人、視覚異常 6 人、小脳症状 5 人、筋強剛 3 人、臨床的に頑固な不眠 2 人、異常感覚、眼球運動障害各 1 人が認められた。

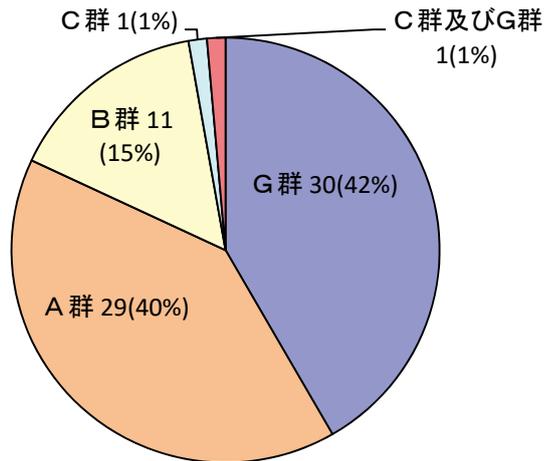
遺伝性プリオン病 3 人の症状のうち、進行性認知症が 3 人すべてに認められたほか、記憶障害、精神・知能障害 2 人、錐体路症状、錐体外路症状、筋強剛各 1 人が認められた。

⑦ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2017 年は 72 人の届出があり、過去 10 年で最も多い届出数となった。性別は男性 36 人、女性 36 人で、年齢階級別では 10 歳未満 1 人（すべて 5 歳未満）、20～29 歳 2 人、30～39 歳 3 人、40～49 歳 6 人、50～59 歳 9 人、60～69 歳 16 人、70 歳以上 35 人であった。死亡例は 17 人（50～59 歳 3 人、60～69 歳 1 人、70 歳以上 13 人）報告された。

また、推定感染地は国内 71 人、国外 1 人（カナダ 1 人）であった。推定感染経路は創傷感染 27 人、飛沫・飛沫核感染 5 人、創傷感染又は輸血の可能性 1 人、不明 39 人であった。





劇症型溶血性レンサ球菌感染症 血清群別割合 (n=72)

⑧ 後天性免疫不全症候群

2017年は464人の届出があり、AIDS患者97人、HIV感染者367人（指標疾患以外の有症者54人、無症候性キャリア313人）であった。

AIDS患者97人の内訳は男性87人、女性10人で、年齢階級別では10歳未満1人（すべて5歳未満）、20～29歳9人、30～39歳32人、40～49歳26人、50～59歳14人、60～69歳14人、70歳以上1人であった。

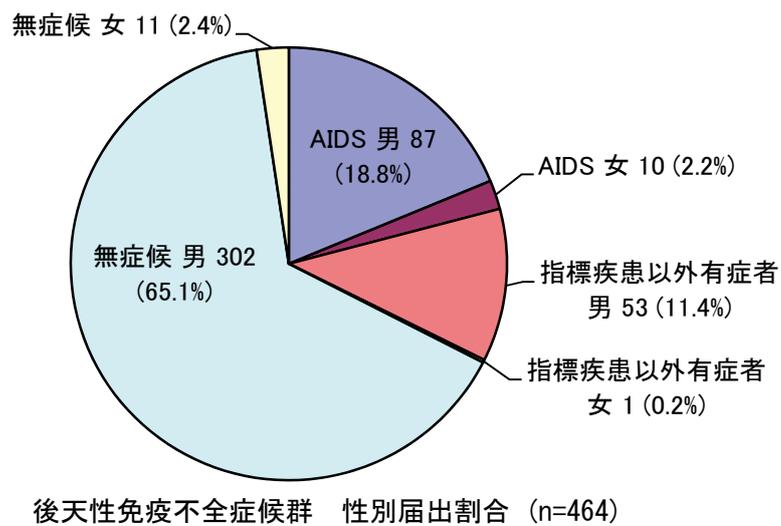
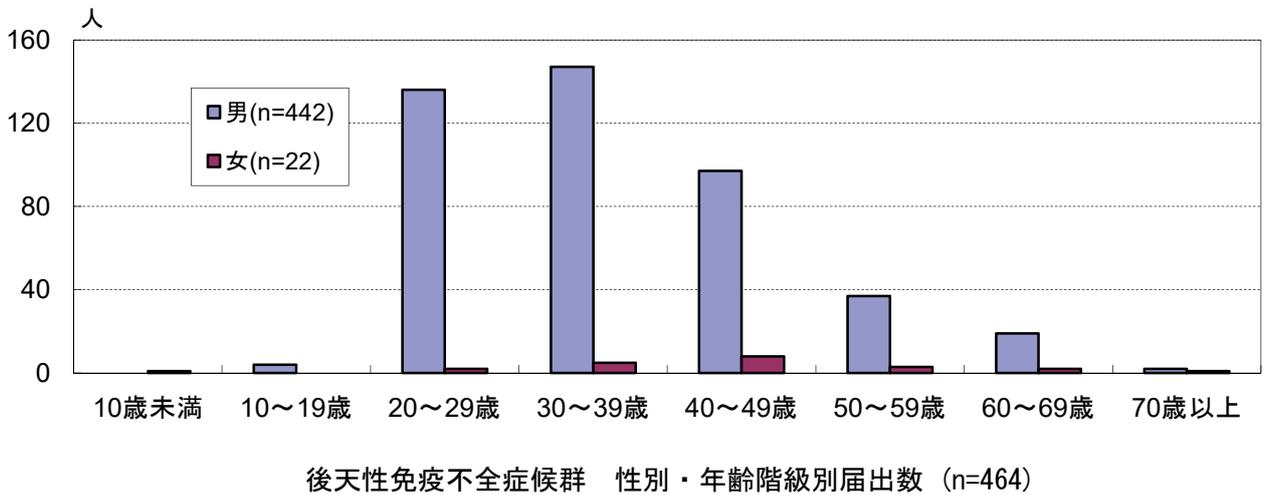
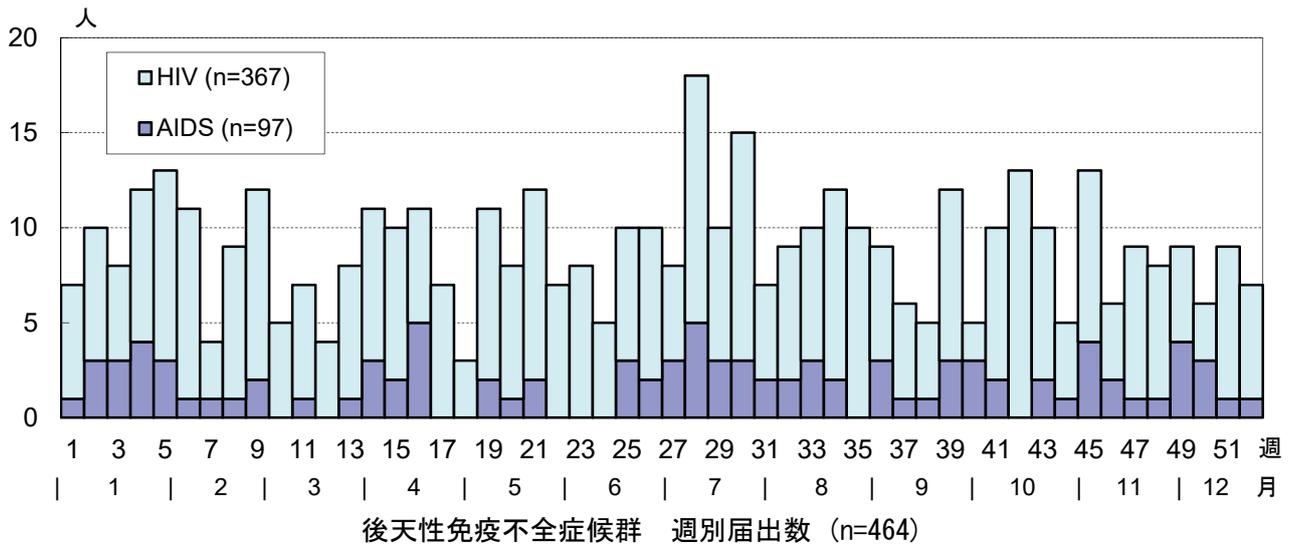
HIV感染者のうち指標疾患以外の有症者の54人内訳は男性53人、女性1人で、年齢階級別では20～29歳17人、30～39歳16人、40～49歳13人、50～59歳6人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

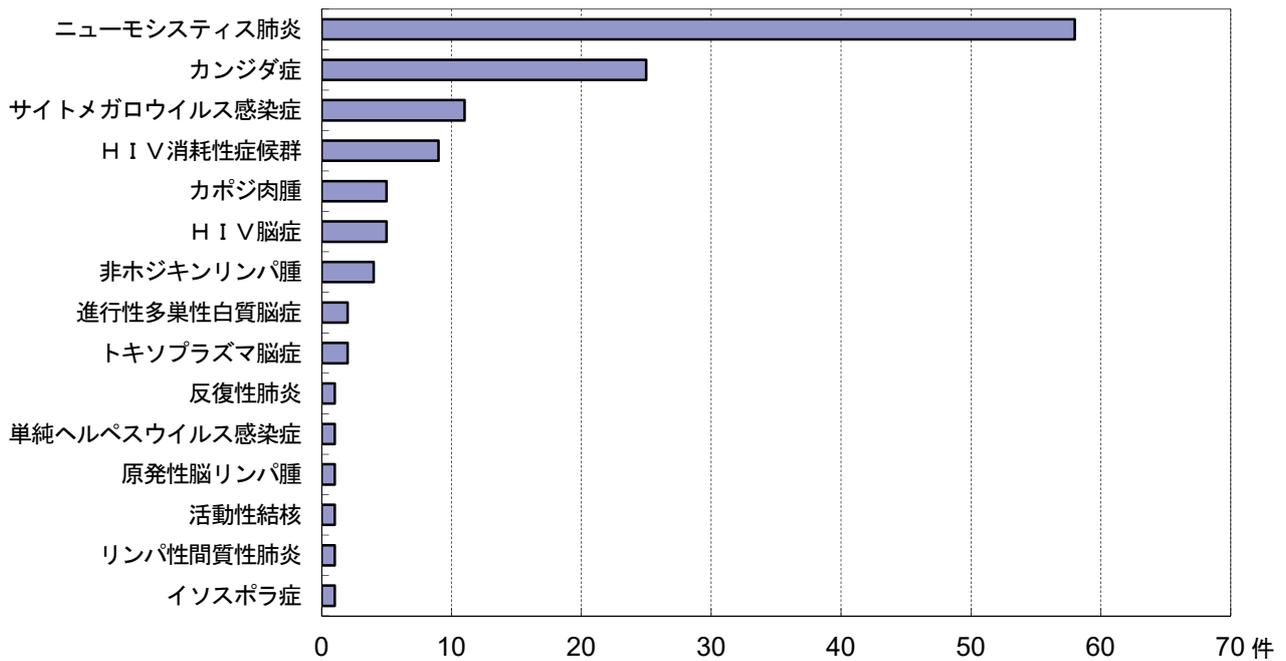
HIV感染者のうち無症候性キャリアの313人の内訳は男性302人、女性11人で、年齢階級別では10～19歳4人、20～29歳112人、30～39歳104人、40～49歳66人、50～59歳20人、60～69歳6人、70歳以上1人であった。

推定感染地は国内375人、国外24人、国内又は国外13人、不明52人であった。国外感染例24人の推定感染地域は、東南アジア10人、東アジア7人、ヨーロッパ3人、南アジア1人、2地域以上1人、不明2人であった。推定感染国別に見ると、中国6人、タイ4人、ベトナム2人、インドネシア2人、ミャンマー2人、ネパール、香港、イギリス、イタリア、ジョージア、ミャンマー又は中国又は米国各1人、渡航先不明2人であった。

推定感染経路は性的接触419人（同性間338人、異性間60人、両性間18人、不明3人）、静注薬物使用2人、刺青1人、母子感染1人、2経路以上4人（同性間性的接触又は静注薬物使用2人、同性間性的接触又は輸血1人、同性間性的接触又はカミソリ共有1人）、不明37人であった。

母子感染者は5歳未満のAIDS患者で推定感染地は国外であり両親ともにHIV罹患者であった。





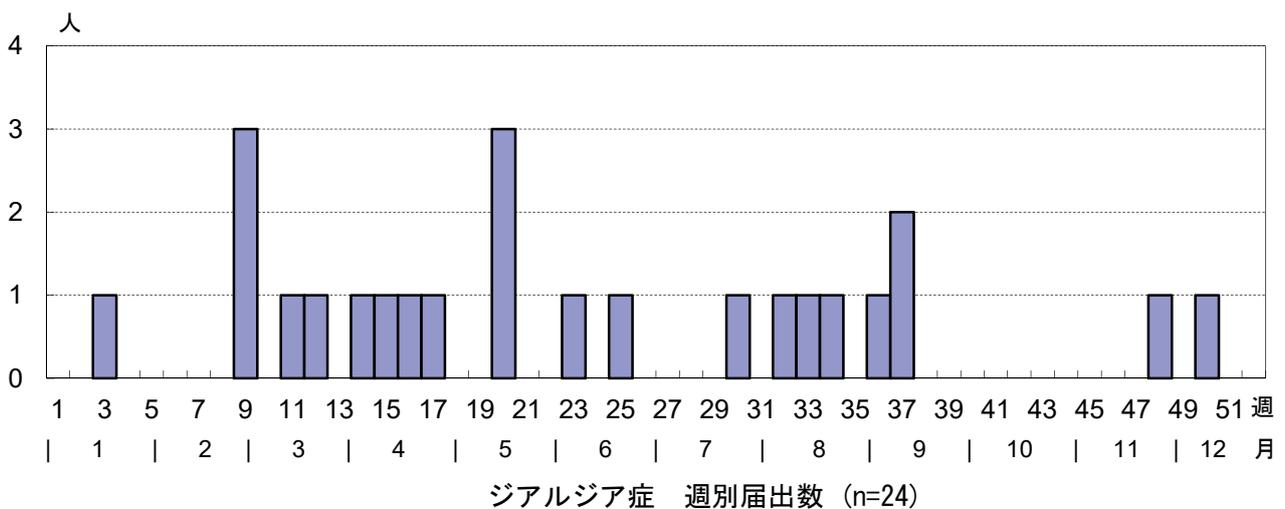
AIDSと診断した指標疾患 (n=97、重複あり)

⑨ ジアルジア症

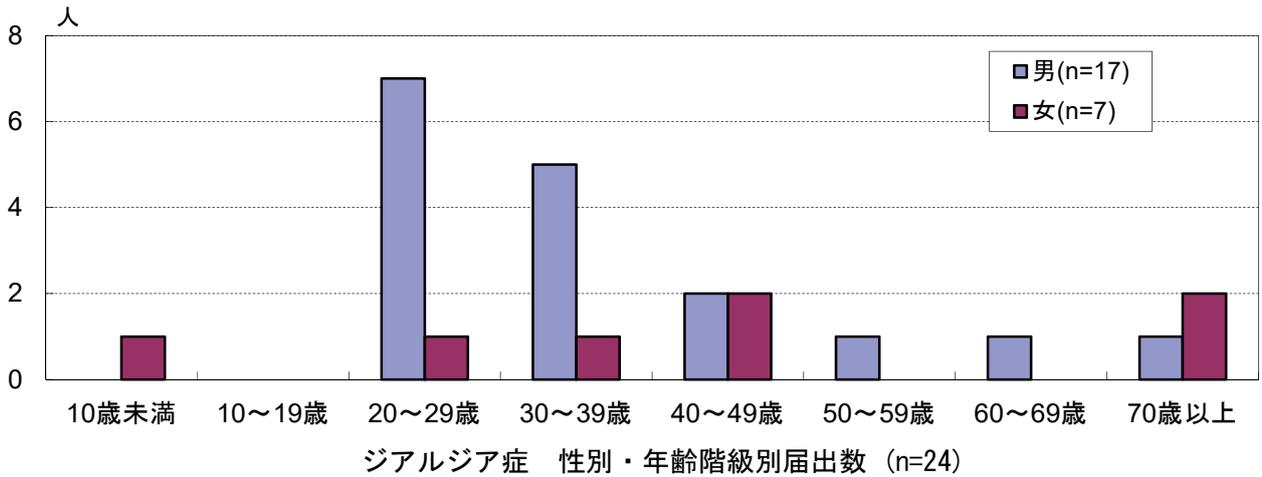
2017年は24人の届出があった。性別は男性17人、女性7人で、年齢階級別では10歳未満1人(すべて5歳未満)、20～29歳8人、30～39歳6人、40～49歳4人、50～59歳1人、60～69歳1人、70歳以上3人であった。

推定感染地は国内15人、国外8人、国内又は国外(香港)1人であった。国外感染例8人を推定感染国別に見ると、インド4人、中国、エジプト、ジンバブエ、インド又はタイ各1人であった。

推定感染経路は、経口感染6人、性的接触9人(同性間7人、異性間2人)、水系感染2人、同性間性的接触又はペットショップでの動物との接触1人、不明6人であった。



ジアルジア症 週別届出数 (n=24)

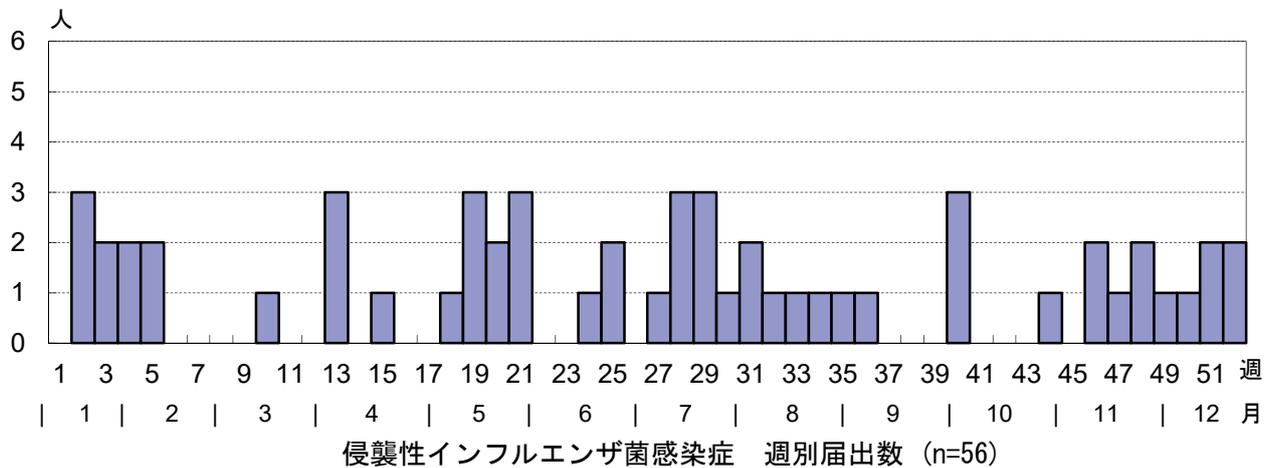


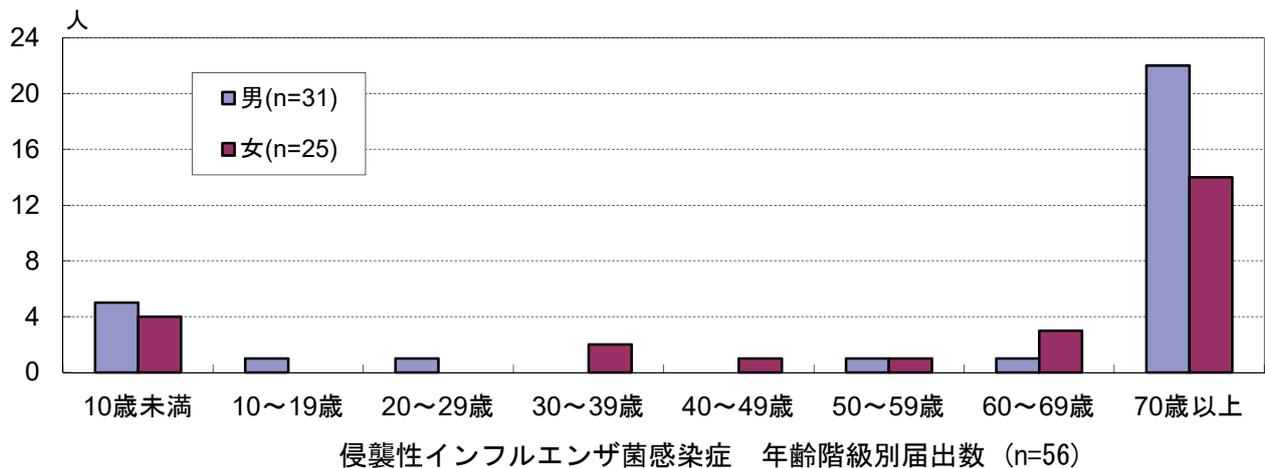
⑩ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2017年は56人の届出があった。性別は男性31人、女性25人で、年齢階級別では10歳未満9人（うち5歳未満7人）、10～19歳1人、20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳1人、50～59歳2人、60～69歳4人、70歳以上36人で、死亡例は5人報告された。

血清型e型1人、f型1人、無莢膜型1人、型別不明41人、検査未実施12人であった。

推定感染地はすべて国内であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染18人、接触感染（施設内感染の疑い）1人、飛沫・飛沫核感染又は気道感染1人、不明36人であった。Hibワクチン接種歴は4回接種が2人、3回接種が3人、1回接種が2人（いずれも10歳未満）のほか、接種なし14人、不明35人であった。





⑪ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2017年は3人の届出があった。性別は男性2人、女性1人であった。年齢階級別では20～29歳1人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

血清群はY群2人、不明1人であった。

推定感染地はすべて国内で、感染経路はすべて不明であった。ワクチン接種歴は、なし1人、不明2人であった。

⑫ 侵襲性肺炎球菌感染症

2017年は390人の届出があった。性別は男性233人、女性157人であった。年齢階級別では10歳未満50人（うち5歳未満39人）、10～19歳3人、20～29歳5人、30～39歳22人、40～49歳32人、50～59歳27人、60～69歳78人、70歳以上173人で、死亡例は18人報告された。

推定感染地は国内383人、国外4人（中国、スリランカ、スペイン、タイ又はベトナム各1人）、国内又は国外3人（バーレーン1人、渡航先不明2人）であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染141人、接触感染7人、飛沫・飛沫核感染又は不明1人、不明241人であった。

ワクチン接種歴は4回接種18人、3回接種14人、2回接種5人、1回接種12人、価数不明かつ1回以上接種歴有37人、なし185人、不明119人であった。届出のうち、血清型が判明したのは104人であった。

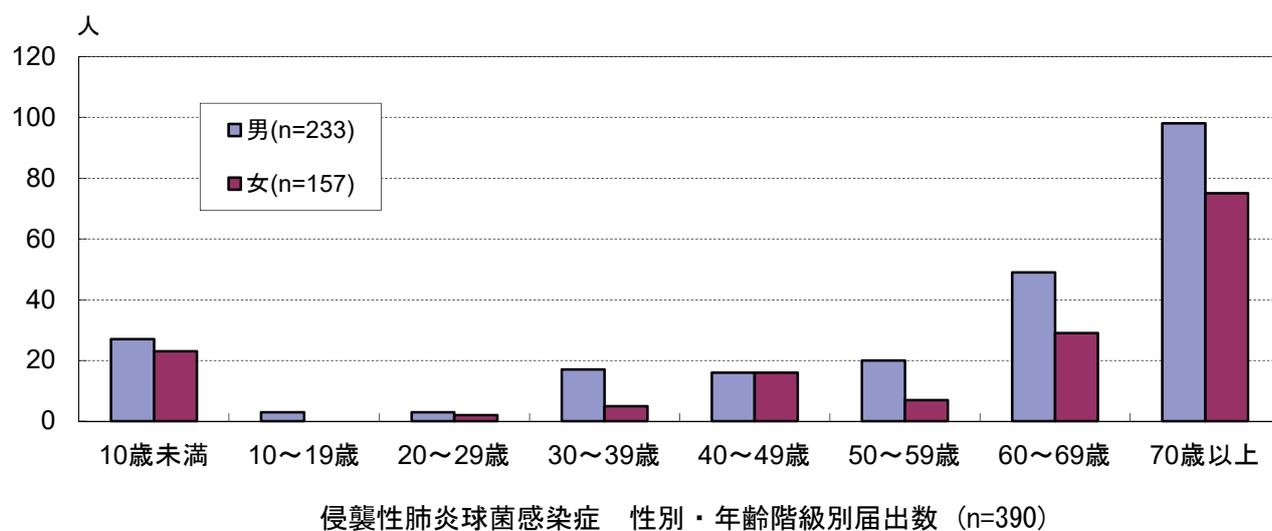
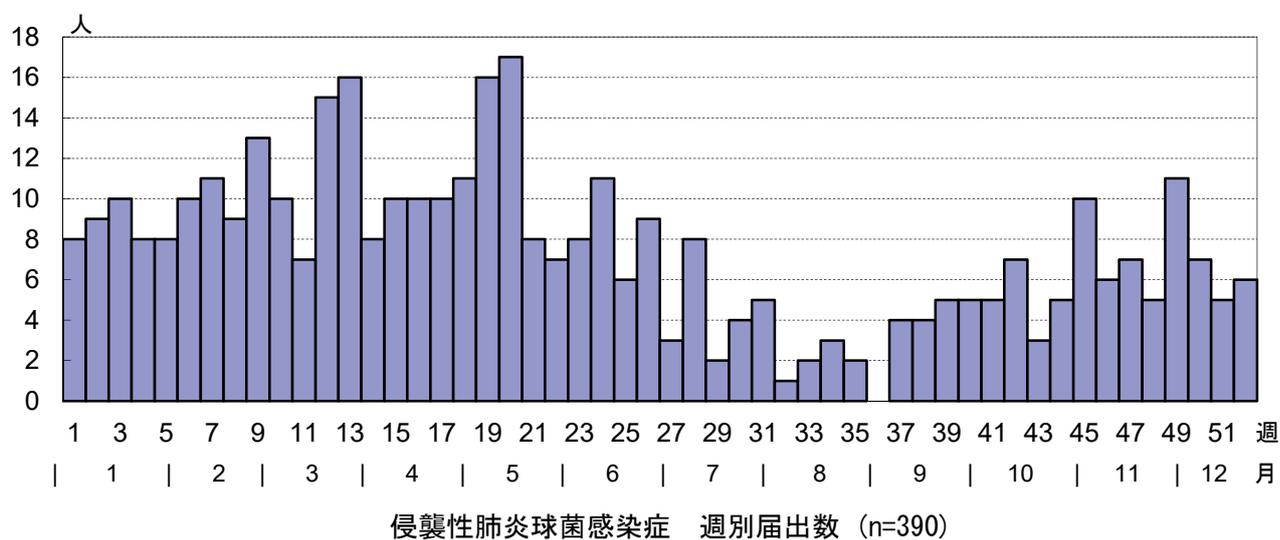
年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=390)

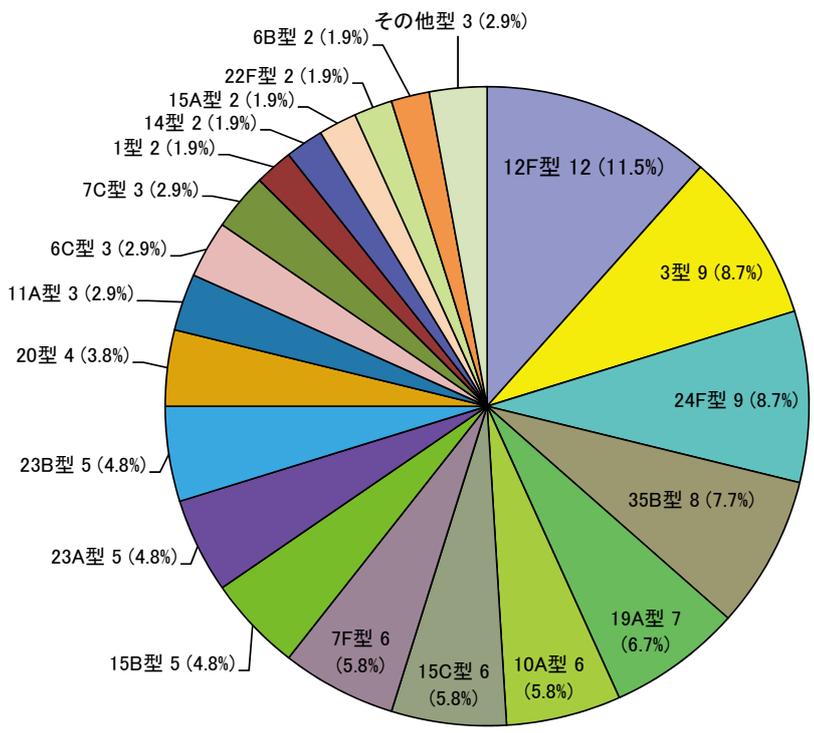
	7価		7価3回		13価			10価
	4回	1回	13価1回	4回	3回	2回	1回	3回
5歳未満		1	1	11	13	2	1	1
5～9歳	6							
10～64歳								
65歳以上								
合計	6	1	1	11	13	2	1	1

(表の続き)

年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=390)

	23 価		価数不明 接種歴有	なし	不明	合計
	2 回	1 回				
5 歳未満			7		2	39
5～9 歳			4	1		11
10～64 歳		1		88	33	122
65 歳以上	3	9	26	96	84	218
合 計	3	10	37	185	119	390



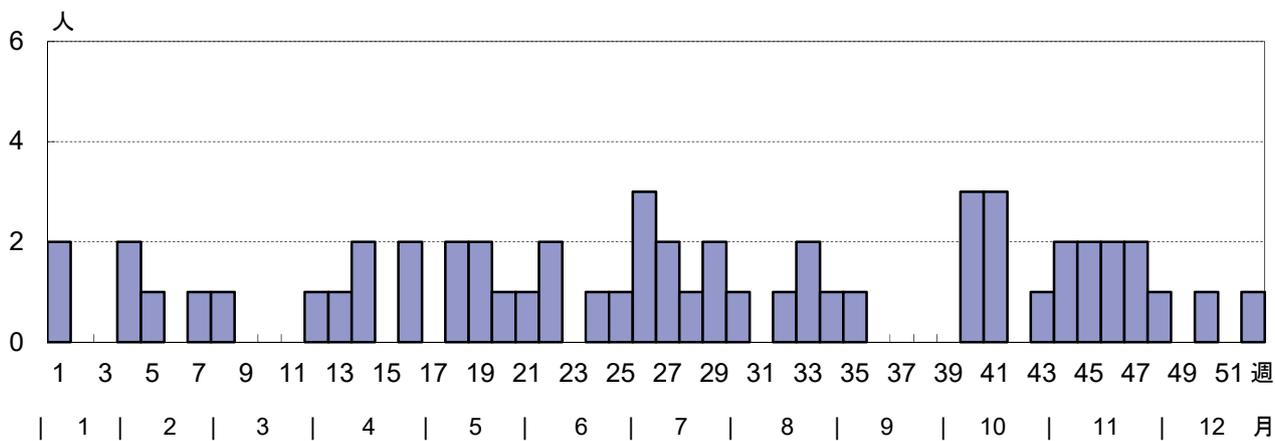


侵襲性肺炎球菌感染症 血清型 (n=104)

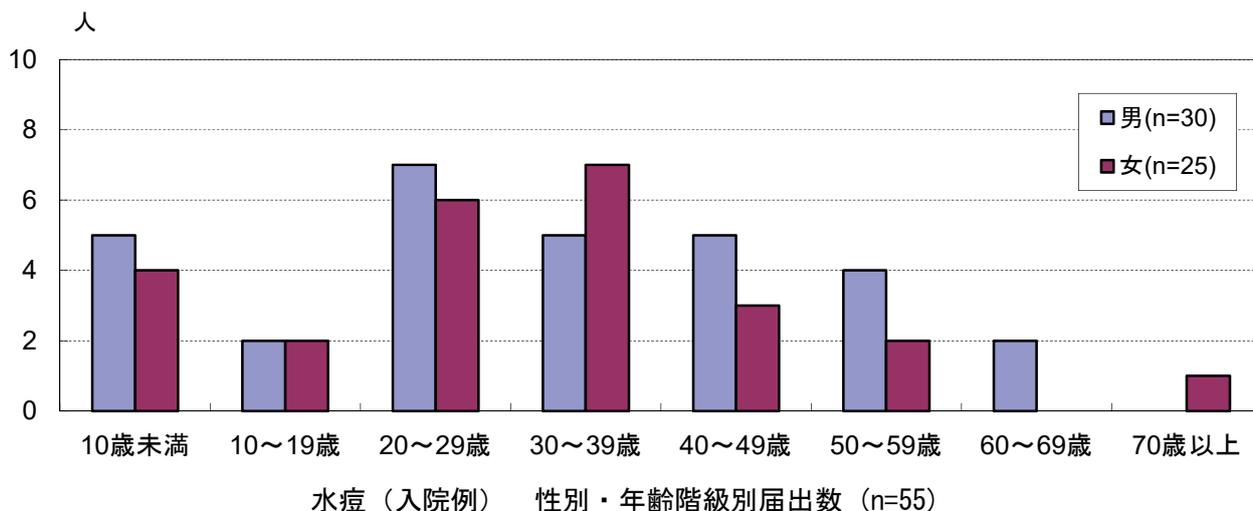
⑬ 水痘（入院例）

2017年は55人の届出があった。性別は男性30人、女性25人で、年齢階級別では10歳未満9人、10～19歳4人、20～29歳13人、30～39歳12人、40～49歳8人、50～59歳6人、60～69歳2人、70歳以上1人であった。死亡例の報告はなかった。

推定感染地は国内53人、国外（ドイツ）1人、国内又は国外（米国）1人で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染22人、接触感染3人、飛沫・飛沫核感染又は接触感染4人、院内感染1人、免疫不全1人、不明24人であった。ワクチン接種歴は2回接種3人、1回接種15人、なし12人、不明25人であった。



水痘（入院例） 週別届出数 (n=55)



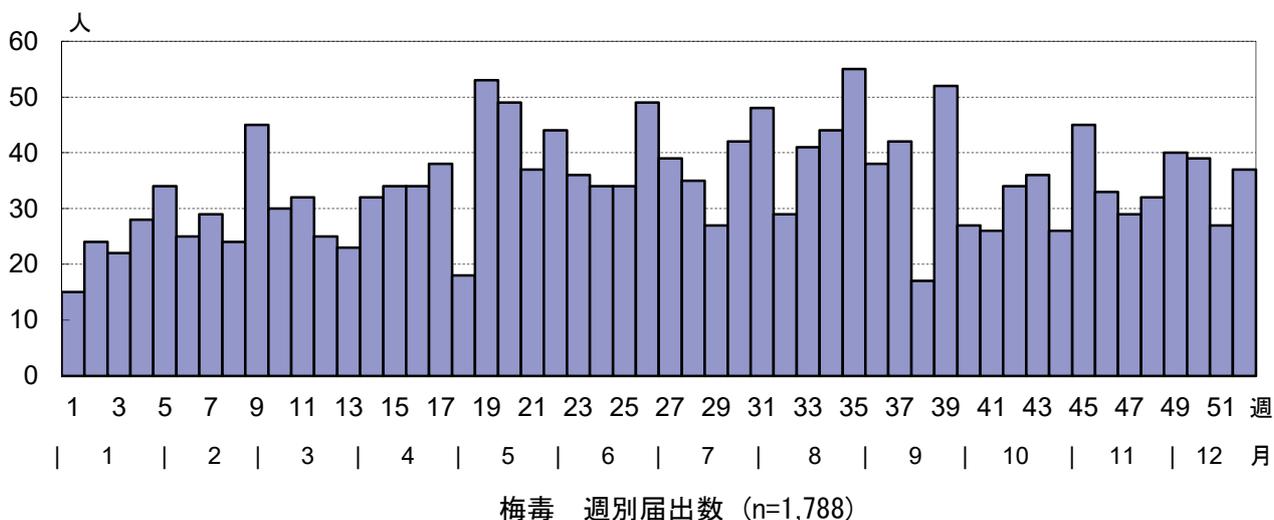
⑭ 梅毒

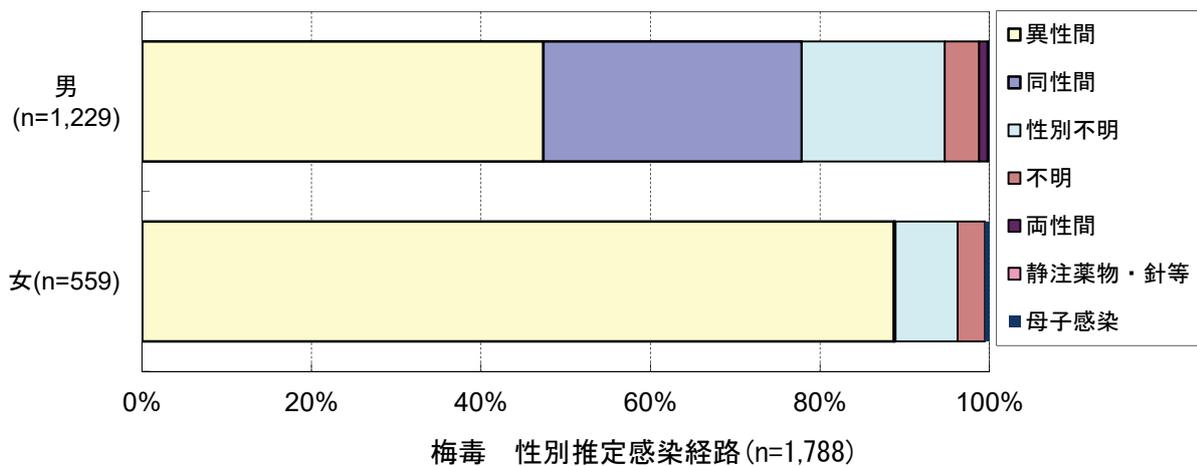
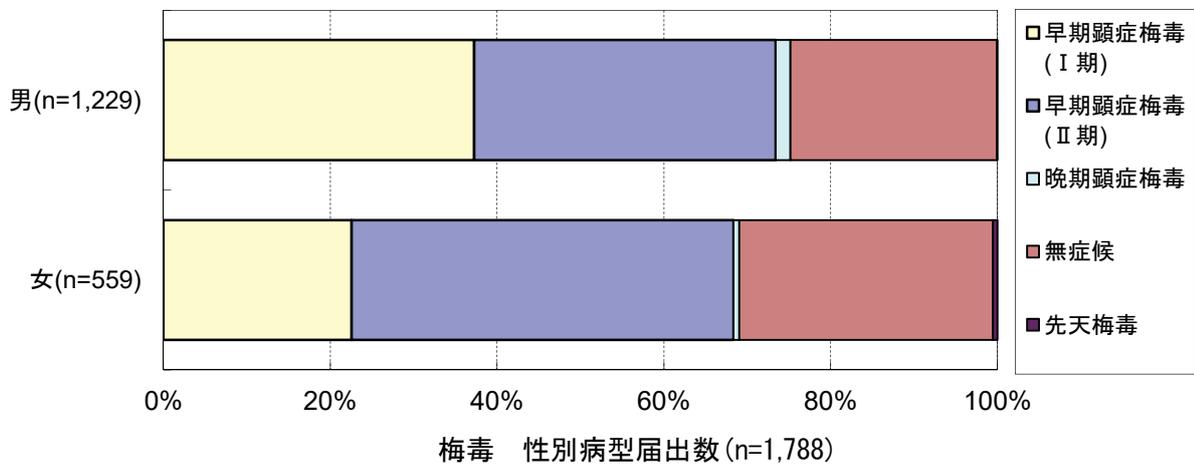
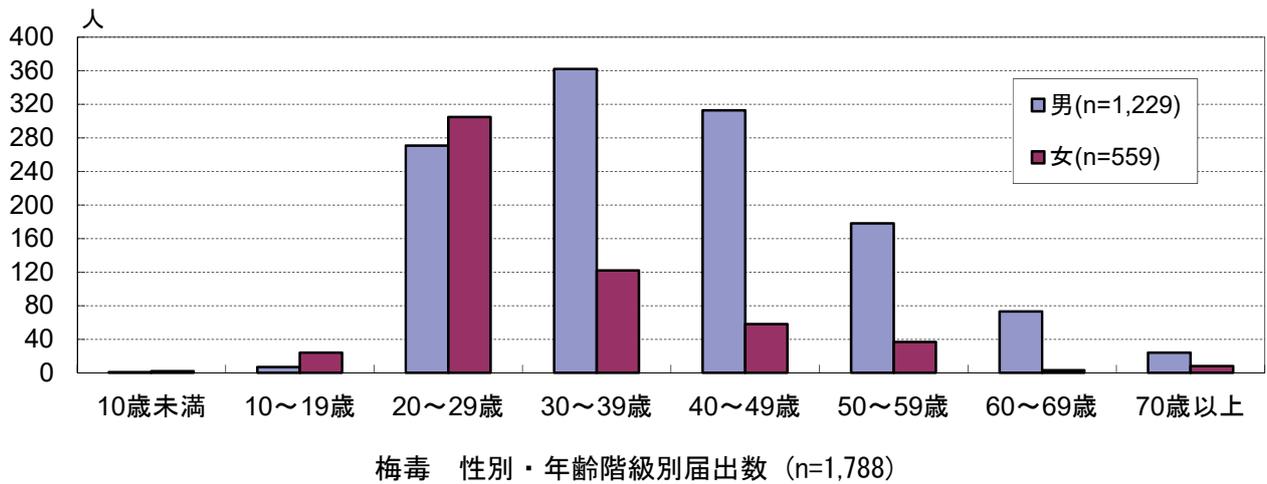
2017年は1,788人の届出があり、調査開始以来（1999年）、最も多い届出数となった。早期顕症梅毒Ⅰ期584人、早期顕症梅毒Ⅱ期700人、晩期顕症梅毒26人、無症候474人、先天梅毒4人であった。性別は男性1,229人、女性559人であった。年齢階級別では10歳未満3人、10～19歳31人、20～29歳576人、30～39歳484人、40～49歳371人、50～59歳215人、60～69歳76人、70歳以上32人で、20～49歳の男性が全体の52.9%を占めた。一方、20～29歳576人のうち女性が305人で53.0%を占めた。

推定感染地は国内1,750人、国外28人、国内又は国外10人であり、国外感染例28人の推定感染国は、タイ11人、中国5人、ベトナム2人、マレーシア2人、フィリピン、インドネシア、ミャンマー、シンガポール、米国、モロッコ各1人、東南アジア（渡航国不明）2人であった。

推定感染経路は性的接触1,714人（同性間376人、異性間1,078人、両性間12人、性別不明248人）、母子感染4人、静注薬物常用または針等の鋭利なものの刺入による感染2人、不明68人となった。

先天性梅毒の4人はすべて母子感染で新生児3人、70歳以上1人であった。





⑮ 播種性クリプトコックス症

2017年は15人の届出があった。性別は男性9人、女性6人で、年齢階級別では20～29歳1人、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳5人、70歳以上6人であった。死亡例は2人

報告された。推定感染国はすべて国内であった。推定感染原因は免疫不全 12 人（ステロイド加療中 4 人、癌化学療法中、多発性硬化症、腎移植後、誤嚥性肺炎、リンパ腫化学療法中、HIV 各 1 人、状況不明 2 人）、末期癌患者 1 人、不明 2 人であった。

⑩ 破傷風

2017 年は 9 人の届出があった。性別は男性 7 人、女性 2 人で、年齢階級別では 10～19 歳 1 人、20～29 歳 1 人、30～39 歳 1 人、40～49 歳 2 人、60～69 歳 2 人、70 歳以上 2 人であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は創傷感染 8 人、不明 1 人であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、あり 3 人（すべて詳細不明）、なし 3 人、不明 3 人であった。

⑪ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

2017 年は 8 人の届出があった。性別は男性 6 人、女性 2 人で、年齢階級別では 50～59 歳 1 人、60～69 歳 2 人、70 歳以上 5 人であった。菌種はすべて *Enterococcus faecium*、耐性遺伝子は *vanA* 1 人、*vanB* 4 人、不明 3 人であった。

推定感染地はすべて国内であった。推定感染経路は抗生剤使用による耐性 2 人、接触感染 1 人、結腸膀胱瘻 1 人、不明 4 人であった。

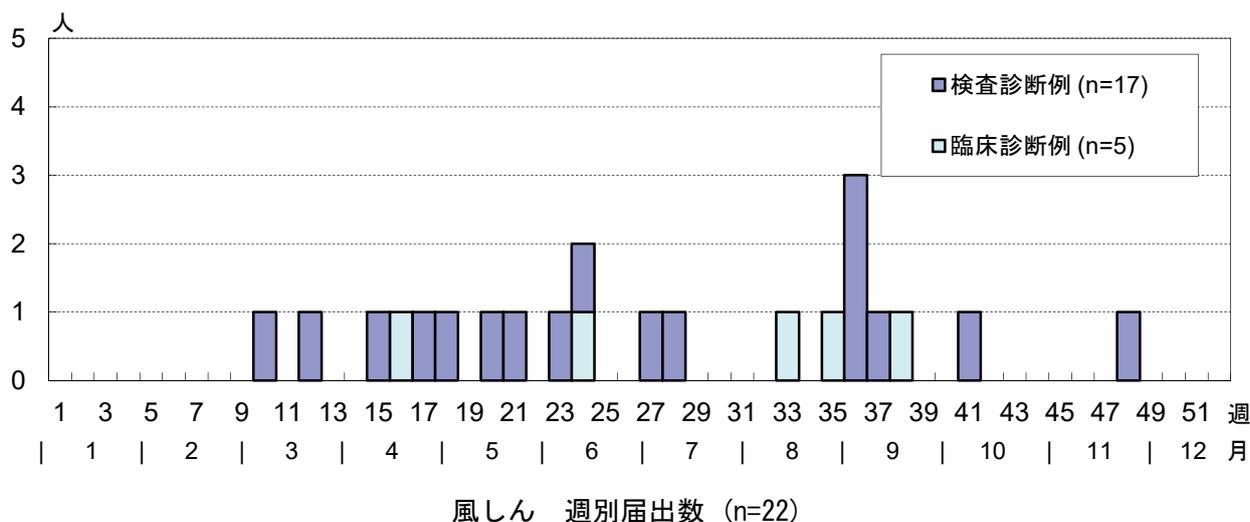
⑫ 風しん

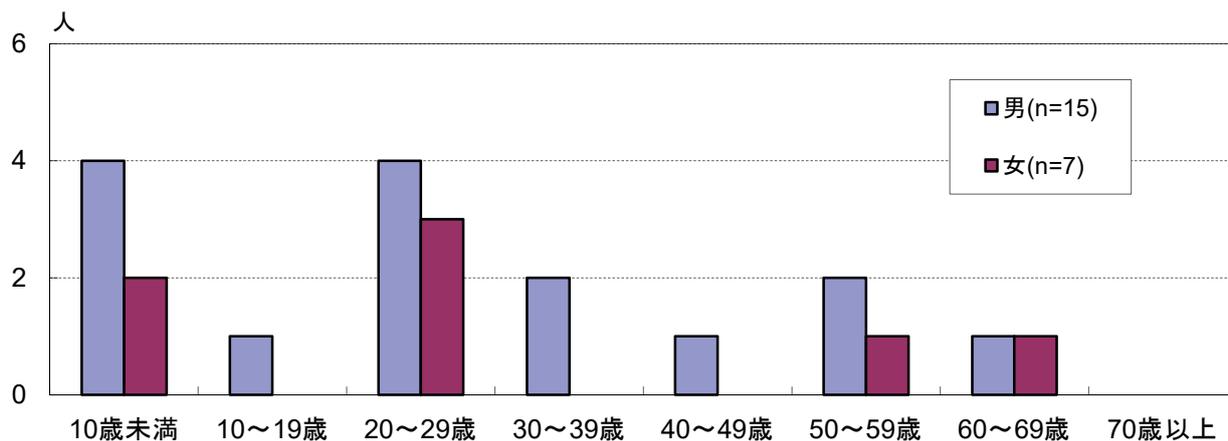
2017 年の届出は 22 人であった。検査診断例 17 人（うち PCR 陽性例は 5 例）、臨床診断例 5 人であった。

性別は男性 15 人、女性 7 人で、年齢階級別では 10 歳未満 6 人（すべて 5 歳未満）、10～19 歳 1 人、20～29 歳 7 人、30～39 歳 2 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 3 人、60～69 歳 2 人であった。

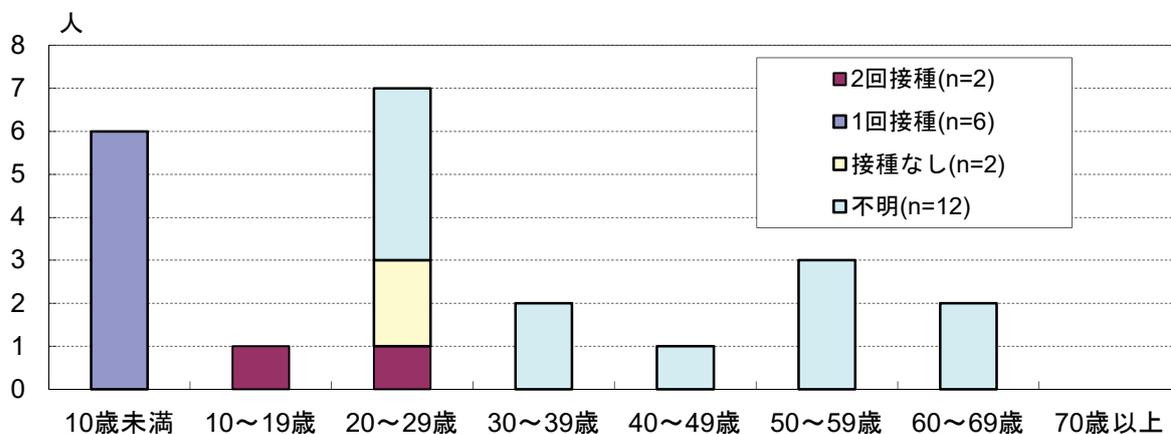
推定感染地は国内 20 人、国外 1 人（フィリピン）、国内又は国外（イタリア又はスイス）1 人であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2 回接種 2 人、1 回接種 6 人、接種歴なし 2 人、不明 12 人であった。





風しん 性別・年齢階級別届出数 (n=22)



風しん 年齢別・接種歴別届出数 (n=22)

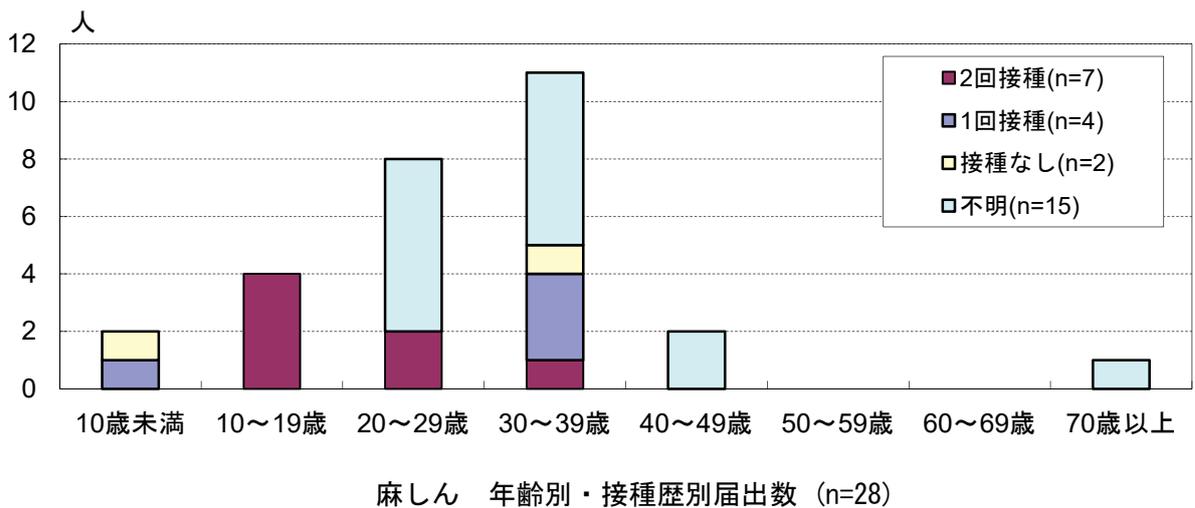
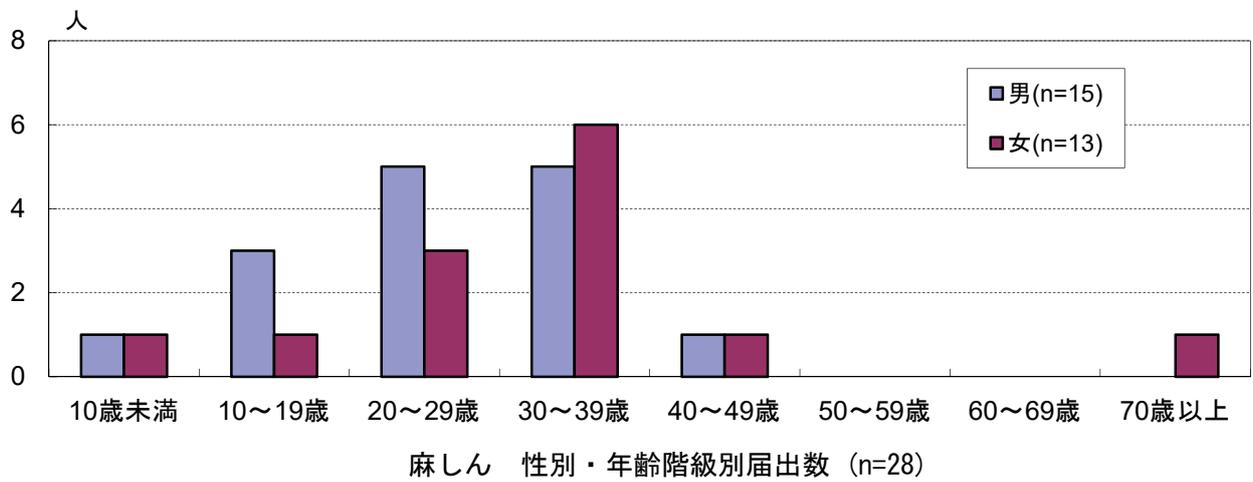
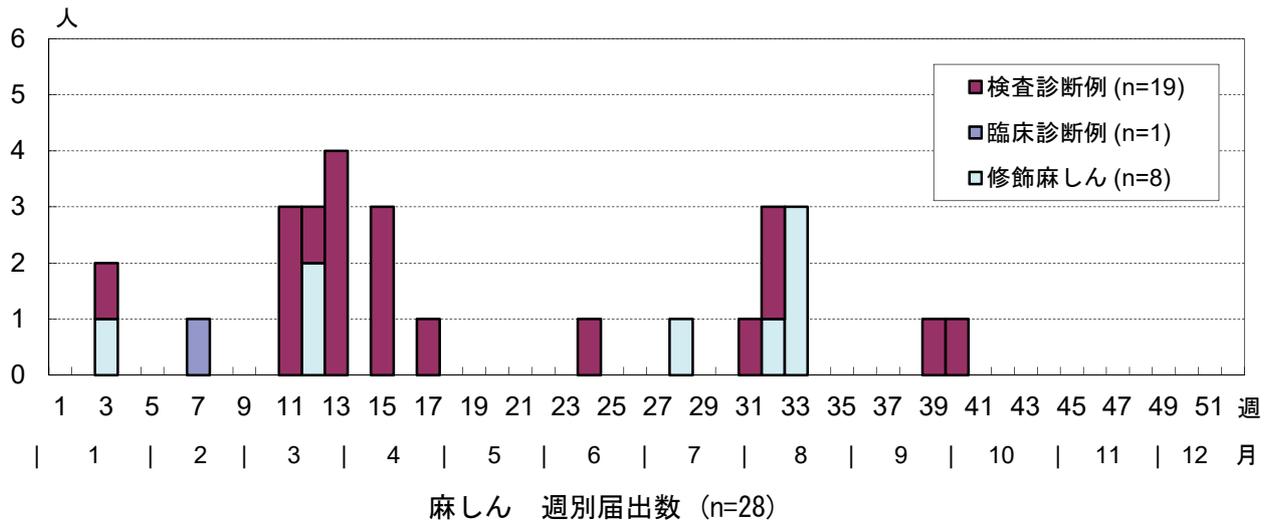
⑨ 麻しん

2017年は28人の届出があった。検査診断例19人、臨床診断例1人、修飾麻しん8人であった。肺炎の合併の報告が1例あった。症例の集積は、第12週に東北地方における同一自動車学校関連が3人（遺伝子型D8）、第15週に首都圏大学の合宿所関連が3人（遺伝子型D8）であった。

性別は男性15人、女性13人で、年齢階級別では10歳未満2人（うち5歳未満1人）、10～19歳4人、20～29歳8人、30～39歳11人、40～49歳2人、70歳以上1人であった。推定感染地は国内23人、国外5人であった。国外感染例5人の推定感染国はインドネシア2人、タイ1人、ミャンマー1人、タイ又はカンボジア1人であった。

麻しん含有ワクチン接種歴は、2回接種7人、1回接種4人、接種なし2人、不明15人であった。

2017年にPCR検査で麻しんウイルス陽性が確認された例は25件あり、それらの遺伝子型別の内訳はD8型24件、H1型1人でD8が96.0%を占めた。また、A型（ワクチン株のため届出対象外）2件であった。



麻しん届出例 (n=28)

受理日	性別	年齢	遺伝子型	推定感染地域	ワクチン接種歴
1/20	女	32	D8	国内	1回
1/20	女	24	H1	国外 (ミャンマー)	不明

2/13	男	8	判定保留	国内	1回
3/13	男	30	D8	国外（インドネシア）	不明
3/16	女	19	D8	国内	2回
3/16	男	40	D8	国外（タイ又はカンボジア）	不明
3/22	男	18	D8	国内	2回
3/22	男	18	D8	国内	2回
3/22	男	21	D8	国内	不明
3/27	男	38	D8	国内	2回
3/27	女	33	D8	国内	不明
3/29	男	21	D8	国内	2回
3/30	男	34	D8	国内	1回
4/10	男	19	D8	国内	2回
4/12	男	21	D8	国内	2回
4/12	男	20	D8	国内	不明
4/27	女	40	D8	国内	不明
6/16	女	38	不明	国内	不明
7/11	女	74	不明	国内	不明
8/4	女	33	D8	国外（インドネシア）	不明
8/9	男	25	D8	国内	不明
8/10	女	30	D8	国内	1回
8/11	女	33	D8	国内	不明
8/15	女	25	D8	国内	不明
8/15	女	26	D8	国内	不明
8/15	男	34	D8	国内	不明
9/28	女	2	D8	国外（タイ）	なし
10/4	男	37	D8	国内	なし

⑳ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2017年は6人の届出があった。性別は男性4人、女性2人で、60～69歳3人、70歳以上3人であった。推定感染国はすべて国内で、推定感染原因は手術部位感染（縫合不全）1人、医療器具関連感染（人工呼吸器）1人、その他（肺炎からの派生1人、不明3人）4人であった。

㉑ その他の五類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

先天性風しん症候群（CRS）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症

表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2017年第1週～2017年第52週

週	期 間	一 類							二 類						三 類				
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ベスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
1	1. 2～1. 8															2			
2	1. 9～1. 15															1	2		
3	1. 16～1. 22																3		
4	1. 23～1. 29															3	3		
5	1. 30～2. 5															1			
6	2. 6～2. 12															1		1	
7	2. 13～2. 19																	1	
8	2. 20～2. 26															1			
9	2. 27～3. 5																	2	
10	3. 6～3. 12															1			1
11	3. 13～3. 19																	2	
12	3. 20～3. 26																	2	
13	3. 27～4. 2															1	6		1
14	4. 3～4. 9															1	2		
15	4. 10～4. 16															1	4		
16	4. 17～4. 23															1	5		
17	4. 24～4. 30																	2	1
18	5. 1～5. 7																	1	
19	5. 8～5. 14																	1	
20	5. 15～5. 21														1	2	4		
21	5. 22～5. 28																	5	
22	5. 29～6. 4															1	2		1
23	6. 5～6. 11																	2	
24	6. 12～6. 18															1	5		
25	6. 19～6. 25																	5	1
26	6. 26～7. 2																	4	2
27	7. 3～7. 9																	7	1
28	7. 10～7. 16																	9	
29	7. 17～7. 23																	2	9
30	7. 24～7. 30																	1	19
31	7. 31～8. 6																	2	18
32	8. 7～8. 13																		58
33	8. 14～8. 20																		1
34	8. 21～8. 27																		73
35	8. 28～9. 3																		38
36	9. 4～9. 10																	2	36
37	9. 11～9. 17																		30
38	9. 18～9. 24																	1	28
39	9. 25～10. 1													1	1	21	1		
40	10. 2～10. 8																		7
41	10. 9～10. 15																	1	1
42	10. 16～10. 22																		13
43	10. 23～10. 29																		6
44	10. 30～11. 5																	1	7
45	11. 6～11. 12																	1	2
46	11. 13～11. 19																		6
47	11. 20～11. 26																		4
48	11. 27～12. 3																		1
49	12. 4～12. 10																	2	8
50	12. 11～12. 17																		
51	12. 18～12. 24																	1	1
52	12. 25～12. 31																		2
合 計															2	34	467	8	6

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2017年第1週～2017年第52週

週	期 間	四 類														
		E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
1	1. 2～ 1. 8	2							1						3	
2	1. 9～ 1.15							1	2						3	
3	1.16～ 1.22		3						2			2			3	
4	1.23～ 1.29	1							1						1	
5	1.30～ 2. 5	3						1	1						2	
6	2. 6～ 2.12		1												2	1
7	2.13～ 2.19	1	2												4	
8	2.20～ 2.26	2	1						1						2	
9	2.27～ 3. 5	4	6								1				4	
10	3. 6～ 3.12		5												2	
11	3.13～ 3.19	2	6						2			1				
12	3.20～ 3.26	1							1						2	
13	3.27～ 4. 2		1						1			1			4	
14	4. 3～ 4. 9	1	1						3						2	
15	4.10～ 4.16		2						1						1	
16	4.17～ 4.23	2	4												1	
17	4.24～ 4.30	3	3				1		1						1	
18	5. 1～ 5. 7	1													4	
19	5. 8～ 5.14	3	1						1			1			3	
20	5.15～ 5.21	1	1												4	
21	5.22～ 5.28	1	2												4	
22	5.29～ 6. 4	1	3												2	
23	6. 5～ 6.11	1													1	
24	6.12～ 6.18	2	2						1			1				
25	6.19～ 6.25	3	2						2					1	1	
26	6.26～ 7. 2	1	1						5			1			3	
27	7. 3～ 7. 9		2			1			1						4	
28	7.10～ 7.16	1		1			1		1			2	1		5	2
29	7.17～ 7.23	1							1			1			5	
30	7.24～ 7.30								2			1			4	
31	7.31～ 8. 6	2	1			1		1	3						7	
32	8. 7～ 8.13	1							2			3			4	
33	8.14～ 8.20		2						2						4	
34	8.21～ 8.27	2							5	1		1			6	
35	8.28～ 9. 3	2							3			3			8	
36	9. 4～ 9.10	1							3			3			3	2
37	9.11～ 9.17		1						3						3	1
38	9.18～ 9.24	1	1						2						2	
39	9.25～10. 1								2						4	
40	10. 2～10. 8	2				1			1			1			5	
41	10. 9～10.15														6	1
42	10.16～10.22		4						2			1			2	1
43	10.23～10.29		1						2						4	
44	10.30～11. 5		1					1				2			3	1
45	11. 6～11.12	3							1	4					6	
46	11.13～11.19														4	
47	11.20～11.26											1			2	
48	11.27～12. 3	2	1						2						2	
49	12. 4～12.10											1	1		3	
50	12.11～12.17						1		2						5	
51	12.18～12.24	3	3						1						1	
52	12.25～12.31		1						3						2	
合 計		57	65	1	2	1	3	13	65	1	2	27	1	1	159	9

表3-1(3) 五類(全数把握)感染症 週別患者報告数

2017年第1週~2017年第52週

週	期 間	五 類																			
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
1	1. 2~ 1. 8			4				3	7				8	2	15	2		1			
2	1. 9~ 1.15	4	1	3	3			1	10			3	9		24						
3	1.16~ 1.22	8	1	4	2			1	8	1	2		10		22	1				2	
4	1.23~ 1.29	3		4	2			2	12		2		8	2	28						
5	1.30~ 2. 5	7	1	4	3			1	13		2		8	1	34			1			
6	2. 6~ 2.12	4	2	3	2		2		11				10		25			1			
7	2.13~ 2.19	7	3	2	2		1	1	4				11	1	29	1	1			1	
8	2.20~ 2.26	7		2	1		1	1	9				9	1	24						
9	2.27~ 3. 5	2		3	1				12	3			13		45						
10	3. 6~ 3.12	4	1	2			2	3	5		1		10		30	1			1		
11	3.13~ 3.19	5	1	5	3		1	3	7	1			7		32					3	
12	3.20~ 3.26	3	5	2	1			1	4	1			15	1	25				1	3	
13	3.27~ 4. 2	6		6	1			2	8		3	1	16	1	23					4	
14	4. 3~ 4. 9	2	3	4				2	11	1			8	2	32						
15	4.10~ 4.16	5		5	1			3	10	1	1		10		34	2			1	3	
16	4.17~ 4.23	2	2	5	3			1	11	1			10	2	34			1	1		1
17	4.24~ 4.30	3	1	2	1			1	7	1			10		38				1	1	
18	5. 1~ 5. 7			3	2			1	3		1		11	2	18				1		
19	5. 8~ 5.14	4		6				1	11		3		16	2	53						
20	5.15~ 5.21	3		6	1			3	8	3	2		17	1	49	1			1		
21	5.22~ 5.28	3	2					2	12		3		8	1	37				1		
22	5.29~ 6. 4	5	1	4	1			5	7				7	2	44	1	1				
23	6. 5~ 6.11	3	1	3				2	8	1			8		36			1	1		
24	6.12~ 6.18	9	1	8				2	5		1		11	1	34	1			2	1	
25	6.19~ 6.25	6	2	3	2			1	10	1	2	1	6	1	34						
26	6.26~ 7. 2	5	2	3	2		1		10				9	3	49						
27	7. 3~ 7. 9	4	1	2	3			3	8		1		3	2	39			1	1		
28	7.10~ 7.16	1	2	9	1				18		3		8	1	35				1	1	
29	7.17~ 7.23	4		4	1		2	1	10		3		2	2	27						
30	7.24~ 7.30	7	1	5	3			4	15	1	1		4	1	42						
31	7.31~ 8. 6	1	2	6	1			2	7		2		5		48		1			1	
32	8. 7~ 8.13	3	2	3	1				9	1	1		1	1	29					3	
33	8.14~ 8.20	4	1	5			2	1	10	1	1		2	2	41				1	3	
34	8.21~ 8.27	2	2	6	3		1		12	1	1		3	1	44						1
35	8.28~ 9. 3	3	3	5	1			1	10		1		2	1	55			1	1		
36	9. 4~ 9.10	4	1	2	5			1	9	1	1				38				3		
37	9.11~ 9.17	4		5		1			6	2			4		42		1		1		
38	9.18~ 9.24	1	3	4	2				5				4		17	1			1		
39	9.25~10. 1	4		4	1			3	12				5		52					1	
40	10. 2~10. 8	10	1	5	2			1	5		3		5	3	27					1	1
41	10. 9~10.15	5	1	7	1				10			1	5	3	26				1		
42	10.16~10.22	4		8	1			2	13				7		34	1	1				
43	10.23~10.29	6	2	9		1	1	1	10				3	1	36	1					1
44	10.30~11. 5	5		2	1		1	2	5		1		5	2	26		1				1
45	11. 6~11.12	8	3	6	1			1	13				10	2	45						
46	11.13~11.19	6	1	2	1			1	6		2		6	2	33						
47	11.20~11.26	3	2	3					9		1		7	2	29		1				
48	11.27~12. 3	4	2	1			1	2	8	1	2		5	1	32	1			1		
49	12. 4~12.10	4	3	7	2		3	1	9		1		11		40		1				1
50	12.11~12.17	4	1	1	3			2	6	1	1		7	1	39		1	1			
51	12.18~12.24	4	2		2			3	9		2		5		27	1					
52	12.25~12.31	4	1	5	4				7		2		6	1	37						
合 計		219	67	212	74	2	19	72	464	24	56	3	390	55	1,788	15	9	8	22	28	6

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2017年第1週～2017年第52週

	一 類							二 類						三 類					
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田								/									3		
中央区								/							2	9	1		
みなと								/							3	23	1	2	
新宿区								/							6	26	1	1	
文京								/						1	4	6		2	
台東								/								6		1	
墨田区								/							1	9	2		
江東区								/								13			
品川区								/							1	17			
目黒区								/							1	7			
大田区								/							3	26	1		
世田谷								/							1	29			
渋谷区								/								11	1		
中野区								/								15			
杉並								/								11			
池袋								/							1	9			
北区								/								5			
荒川区								/						1		17			
板橋区								/							2	35			
練馬区								/							1	26			
足立								/							2	9			
葛飾区								/							1	15			
江戸川								/								10			
八王子市								/							2	14			
町田市								/								22			
西多摩								/								6			
南多摩								/								9			
多摩立川								/								24			
多摩府中								/							3	29	1		
多摩小平								/								26			
島しょ								/											
合 計								/						2	34	467	8	6	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2017年第1週～2017年第52週

	四 類														
	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
千代田	4	3												5	
中央区	1	1						2						3	
みなと	1	3			1			7			5			7	
新宿区	5	8				1	1	22			15			8	5
文京	5	4	1	1		1		6		1	2			2	2
台東														2	1
墨田区		1		1				6			3			4	
江東区	3	1						1						2	
品川区	4	4				1								6	
目黒区	3	2						1						4	
大田区	4	8						4		1	1			18	
世田谷	1	4						2	1					5	
渋谷区	3	5						1						4	
中野区													1	1	
杉並		1					1							3	
池袋														1	
北区		1												2	
荒川区	1													1	
板橋区	8	4						2						11	1
練馬区	1	4						1						6	
足立														3	
葛飾区	3							1						5	
江戸川	2							1						3	
八王子市							1							10	
町田市	2	3						1						6	
西多摩	1						5				1			7	
南多摩	2							1						2	
多摩立川	3	3										1		6	
多摩府中		1						5						12	
多摩小平		4						1						10	
島しょ							5								
合 計	57	65	1	2	1	3	13	65	1	2	27	1	1	159	9

表3-2(3) 五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数

2017年第1週~2017年第52週

	五 類																			
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
千代田	13	1	4				4				6		36	1		1	1			
中央区	5	1	5	3			2				4		43				2	6		
みなと	19	3	7				1	24	1	1	12	1	136	1		1	4	4		
新宿区	30	19	21	4	2	5	11	171	10	7	31	9	664	2			1			
文京	18	4	12	4		5	5	60	2	5	24	8	69	3			2			
台東	5	2	3								3		146							
墨田区	4		2				2	7		2	15	4	22				1	1		
江東区	7	7	18	2		1		1	3				32	1						
品川区	7	2	18				8	6		5	13	1	36			2				
目黒区	10		6	2			2	7			1	13			1					
大田区	7	5	16	5				11	2	3	16	3	26	1	1		2			
世田谷	12		11	18			1	9		2	15	4	37					1		
渋谷区	1	3	11	1			1	83		1	14		48		1					
中野区	5	1				1	2	13			3		23				1			
杉並	4	1	3	1				4		4	9	5	11							
池袋	3	1	1	1				6		2	4		124	1						
北区	2		1	2			1	3			7	1	26							
荒川区	6	2	1	6			1	1			7		32		1					
板橋区	9	5	20				10	14	2	5	32	5	35	1	1			1	6	
練馬区	2	2	4	3		1	1	4		2	15	1	12	1			1			
足立	9		2							2	4		16			2	1			
葛飾区	2		2			2		3		1	1		20					1		
江戸川	1	1	2				2	1		2	2		36							
八王子市	2		3				1	4			9		14	1			2	4		
町田市	4		4				3	1			11	1	8		1		1			
西多摩	1	1	2			1	1				3	2	8		1					
南多摩	7	1	1	3			1	2	1		16	3	13					3		
多摩立川	11	3	11	1		1	2	6		5	1	16	1	34		1				
多摩府中	12	2	9	17		2	1	16	2	2	1	53	6	53	2	2	1	1	5	
多摩小平	1		12	1			13	3	1	5	32		18				1	2		
島しょ																	1			
合 計	219	67	212	74	2	19	72	464	24	56	3	390	55	1,788	15	9	8	22	28	6

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2017年第1週～2017年第52週

	一 類							二 類							三 類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	バラチフス
0歳																	1		
1～4歳																	40	1	
5～9歳															2	44	2		
10～14歳																22			
15～19歳																38	1		
20～24歳															3	65	1	1	
25～29歳														1	7	53			
30～34歳															4	31		1	
35～39歳															5	31		1	
40～44歳															4	21	2	2	
45～49歳														1	2	17	1	1	
50～54歳															2	19			
55～59歳															1	13			
60～64歳															2	14			
65～69歳																11			
70歳以上															2	47			
合 計														2	34	467	8	6	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2017年第1週～2017年第52週

	四 類														
	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
0歳										2					
1～4歳											1				
5～9歳								1							
10～14歳		1						2			1				
15～19歳		2					1	2			2			1	
20～24歳		4						9			1				3
25～29歳	2	10					1	11			1				
30～34歳	1	5				1		9			6				1
35～39歳	2	6	1	1			1	4			6			1	
40～44歳	6	7					1	8	1		5			3	
45～49歳	8	5			1	1	1	3						7	
50～54歳	10	6					1	8			1			14	2
55～59歳	5	7						3			2		1	18	
60～64歳	6	2					1	2						15	
65～69歳	6	3		1		1	2	1			1			22	1
70歳以上	11	7					4	2				1		78	2
合 計	57	65	1	2	1	3	13	65	1	2	27	1	1	159	9

表3-3(3) 五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数

2017年第1週~2017年第52週

	五 類																			
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
0歳			6	5			1		4		10	1	3							
1~4歳			5	40				1	1	3	29	5					6	1		
5~9歳	1	1	2	11					2		11	3							1	
10~14歳			3	5					1		2	2								
15~19歳		3	1	3			4				1	2	31		1		1	4		
20~24歳	1	7	2			1	52	4	1		4	8	260				3	5		
25~29歳	10	11	2			1	86	4		1	1	5	316	1	1		4	3		
30~34歳	17	9	2	1		1	77	3	2		9	8	224	1			1	8		
35~39歳	20	11	2		1	2	75	3			13	4	260		1		1	3		
40~44歳	38	6	5	1		1	61	1			17	4	204	1	2		1	2		
45~49歳	40	4	8			4	44	3	1		15	4	167							
50~54歳	29	5	9			3	26		1		12	4	139	1		1	2			
55~59歳	31	2	11		1	2	14	1	1		15	2	76				1			
60~64歳	11	1	12			2	4	10	1	1	33		46	1			2		2	
65~69歳	8	3	26	2		2	12	11		3	1	45	2	30	4	2	2		1	
70歳以上	13	4	116	6		12	35	3	3	36	1	173	1	32	6	2	5		1	3
合 計	219	67	212	74	2	19	72	464	24	56	3	390	55	1,788	15	9	8	22	28	6

(2) 小児科・内科疾患

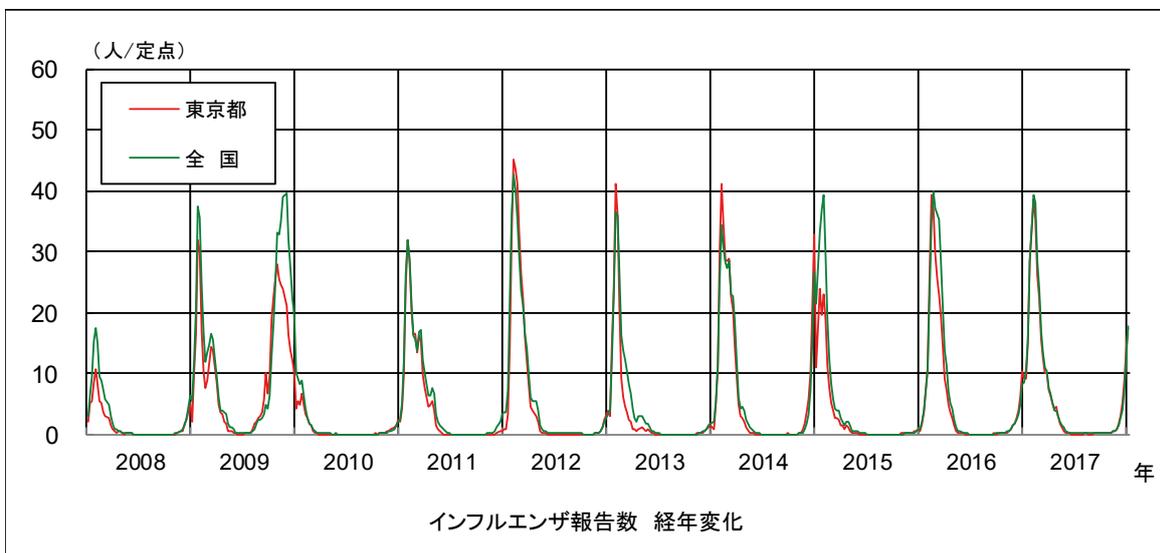
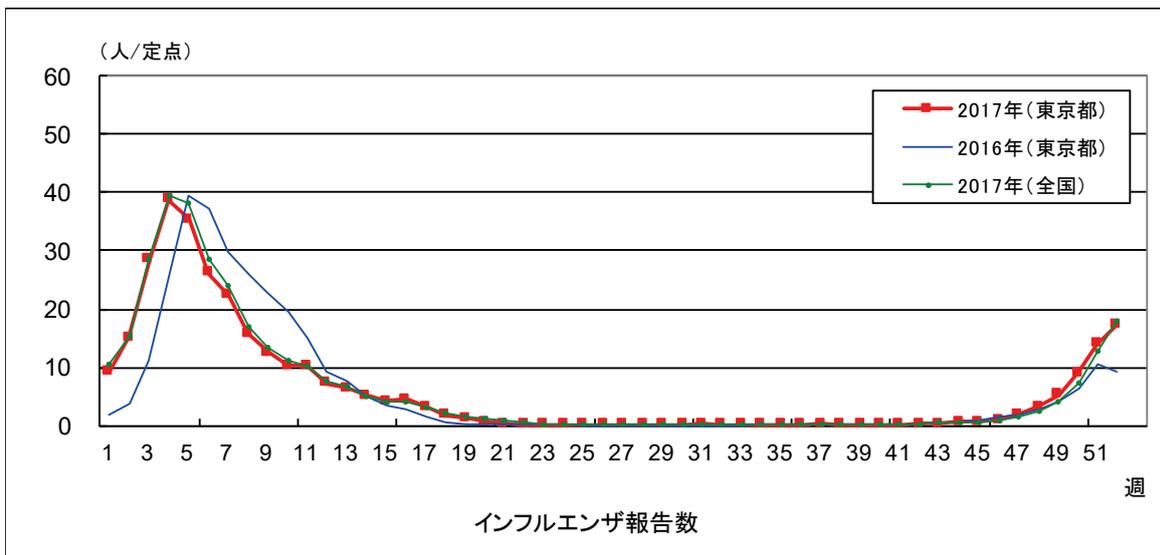
ア インフルエンザ

2017年の報告数は129,813人、定点当たり314.14人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は249.35人であり、2017年は例年に比べてやや多い報告数であった。

2016/17シーズンの流行は2016年46週(11.14~11.20)に1.57人と定点当たり1.0人を超え、その後報告数は増加して51週(12.19~12.25)には10.56人と10.0人を超えた。しかし2016年最終週の52週(12.26~1.1)には9.06人となったが、2017年2週(1.9~1.15)には再度15.17人と10.0人を超え4週(1.23~1.29)には38.73人とピークに達した。その後12週(3.20~3.26)に7.27人と10.0人を割り、20週(5.15~5.21)に0.61人と1.0人以下となり流行は終息した。

2017/18シーズンの流行は2017年47週(11.20~11.26)に定点当たり1.86人と1.0人を超え流行期に入り、51週(12.18~12.24)には14.03人と10.0人を超えた。

2017年の保健所定点当たりの報告数では最多が荒川区の427.00人、最小が渋谷区の163.93人であった。年齢階層別報告数では1歳未満1,342人(1.0%)、1歳~10歳未満62,349人(48.0%)、10歳~20歳未満29,465人(22.7%)、20歳~60歳未満30,504人(23.5%)、60歳以上6,153人(4.7%)であった。



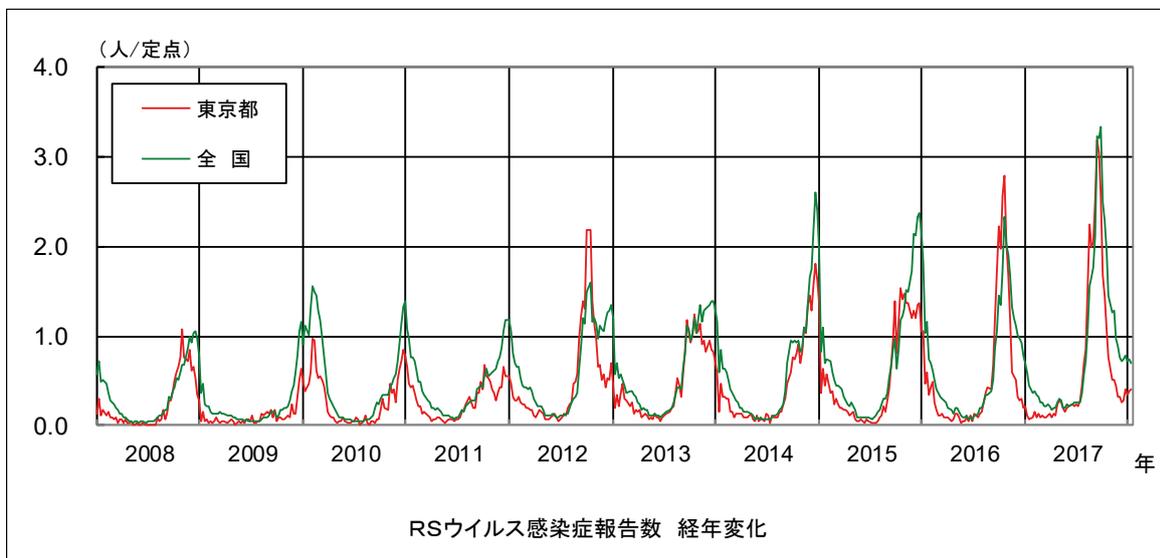
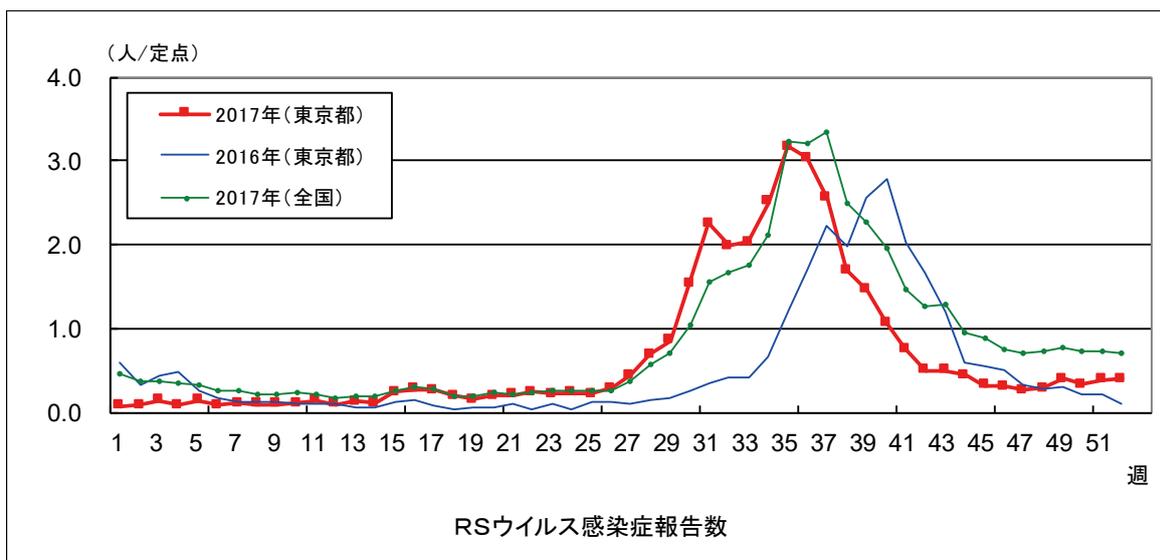
イ RSウイルス感染症

2017年の報告数は8,838人、定点当たりの報告数は34.47人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は20.69人であり、2017年はここ10年では最も多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では30週（7.24～7.30）から40週（10.2～10.8）にかけて1.0人を超える大きな山があり、ピークは35週（8.28～9.3）の3.17人であった。

保健所別定点当たりの報告数の最も多かったのは前年と同じく荒川区の96.50人であった。

年齢階層別報告数では6か月未満が929人（10.5%）、6か月～12か月未満が1,987人（22.5%）、1歳代が3,533人（40.0%）、2歳代が1,498人（16.9%）と2歳代以下で89.9%を占めている。

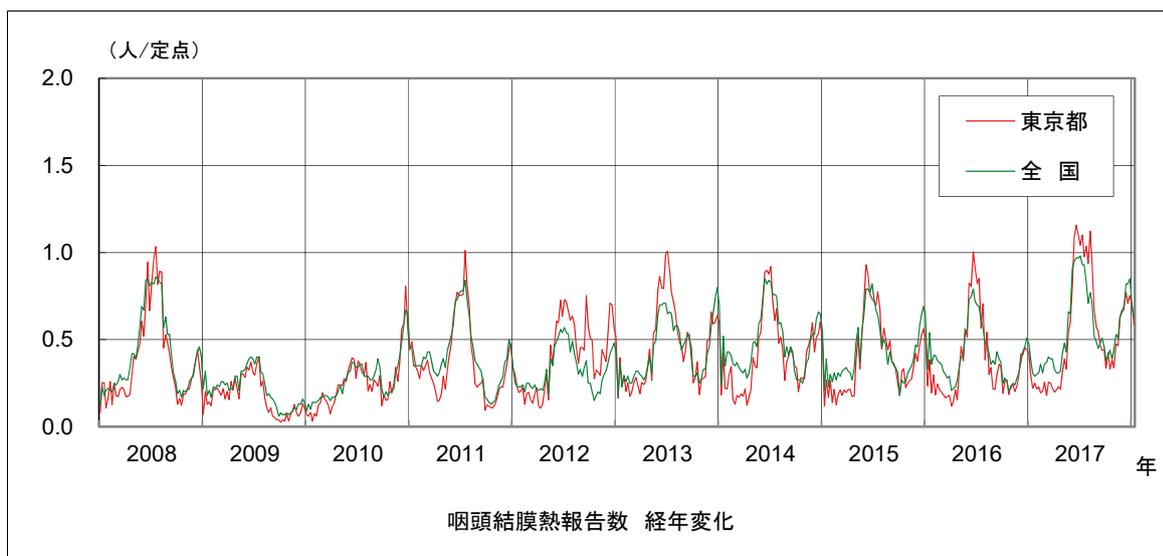
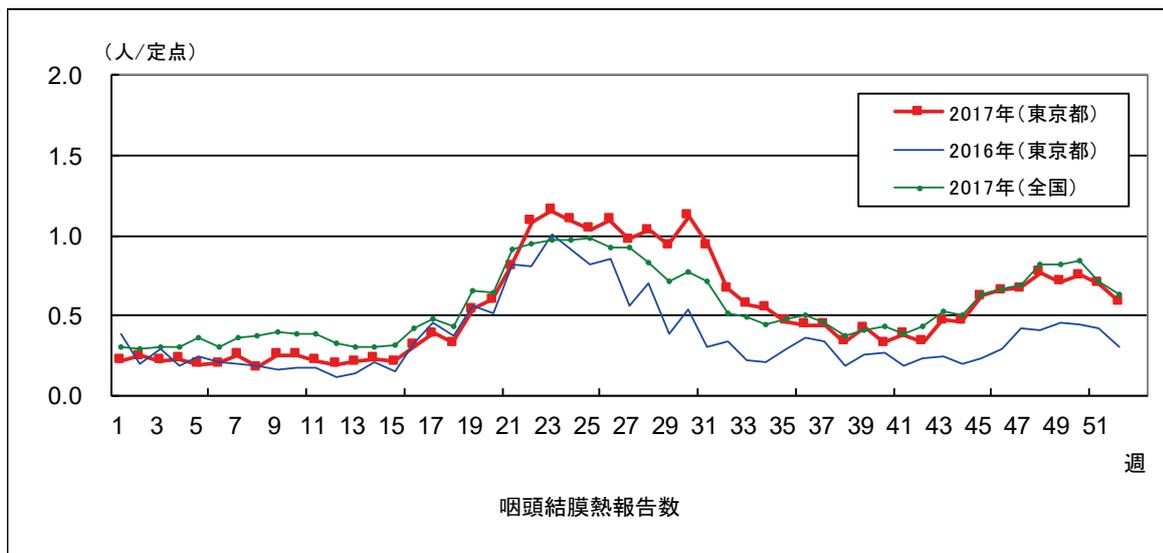


ウ 咽頭結膜熱

2017年の報告数は7,322人、定点当たりの報告数は7,322人、定点当たりの報告数は28.21人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は19.62人であり、2017年はここ10年で最も多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では19週(5.8~5.14)から34週(8.21~8.27)と45週(11.6~11.12)から52週(12.25~12.31)にかけて定点当たり0.5人を超える2つの山があり、ピークは23週(6.5~6.11)の1.16人であった。

保健所別定点当たりの報告数では多摩小平が74.97人、荒川区が69.25人と多かった。年齢階層別報告数では1歳代が1,806人(24.7%)と最も多く、5歳代以下で83.7%を占めている。



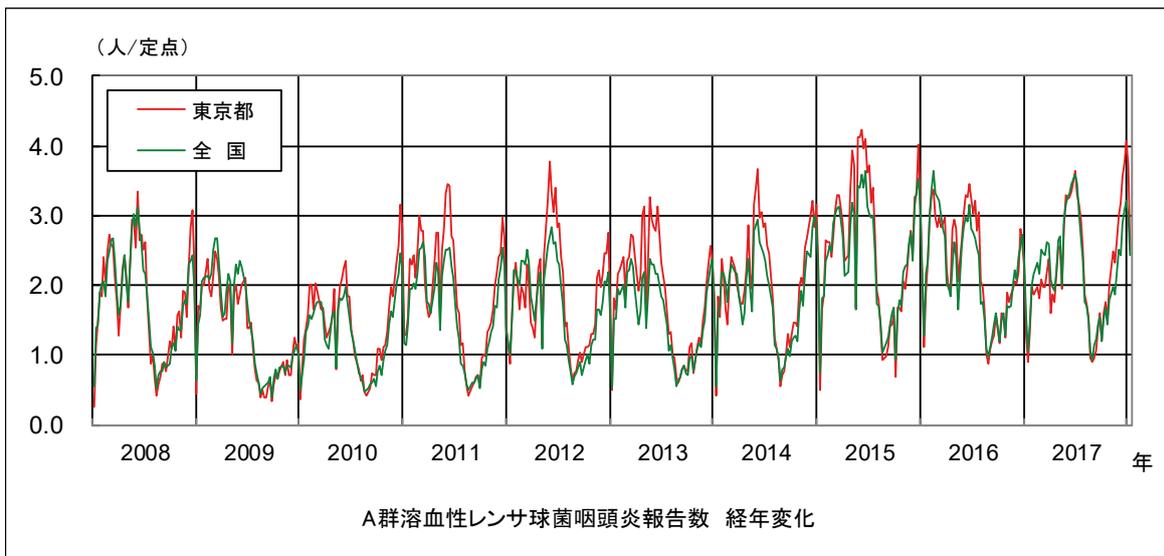
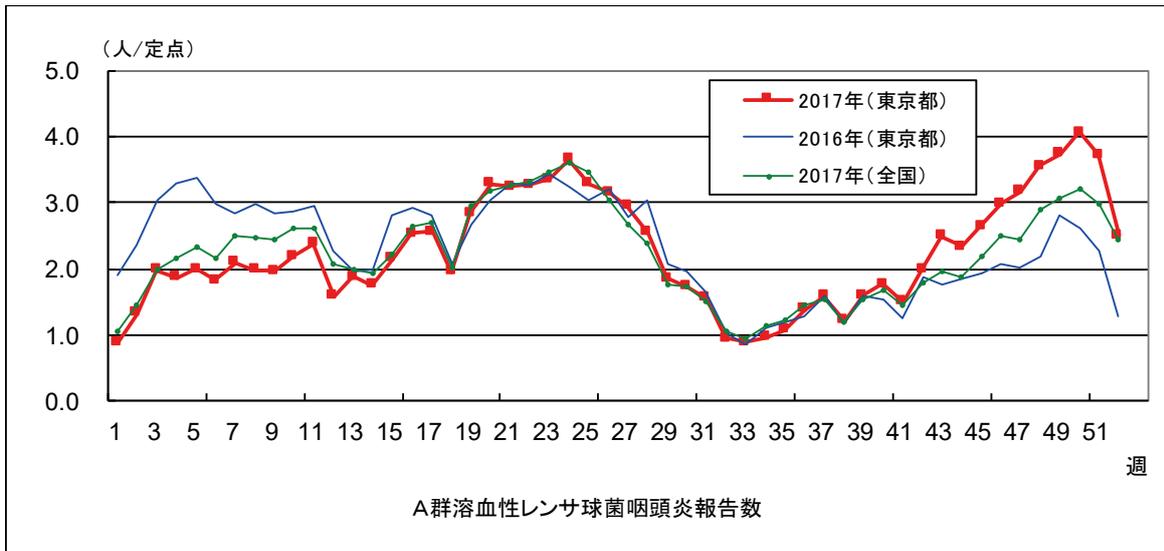
エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2017年の報告数は30,664人、定点当たりの報告数は117.71人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は100.54人であり、2017年は例年よりやや多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では20週(5.15～5.21)から26週(6.26～7.2)にかけてと47週(11.20～11.26)から51週(12.18～12.24)にかけて、定点当たり3.0人を超える山が2つあり、ピークは50週(12.11～12.17)の4.06人であった。

保健所別定点当たりの報告数では昨年と同様多摩小平が222.53人で最多であった。

年齢階層別報告数では4歳代が4,113人(13.4%)と最も多いのは前年と変わらず、3歳代から7歳代で59.2%を占めている。



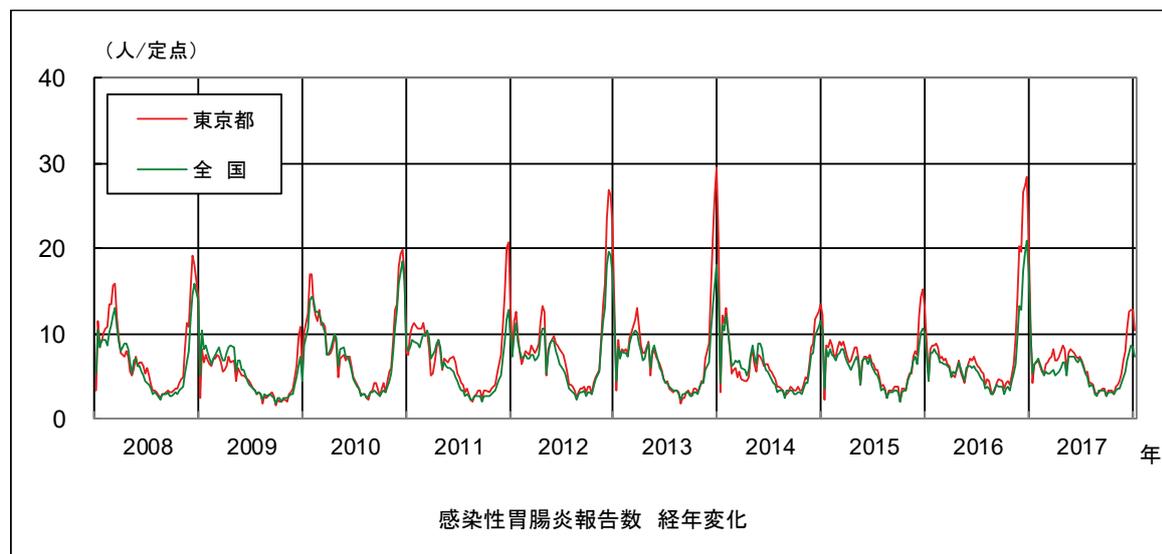
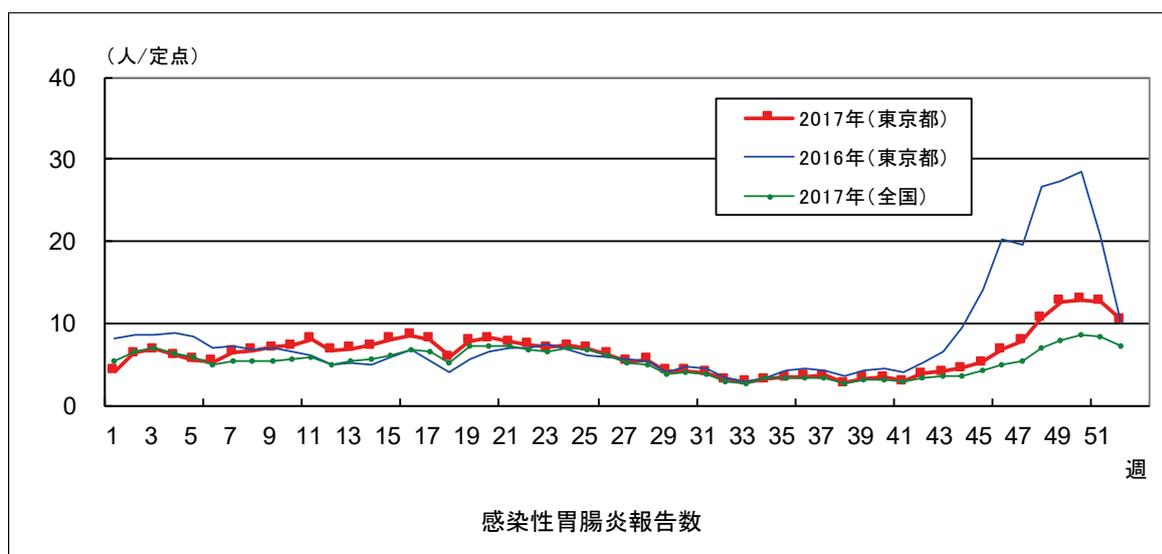
オ 感染性胃腸炎

2017年の報告数は84,981人で、定点当たりの報告数は326.63人であった。ここ10年の報告数の平均は371.98人であり、2017年は例年に比べてやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では48週(11.27~12.3)から52週(12.25~12.31)にかけて定点当たり10.0人を超える山があり、ピークは50週(12.11~12.17)の12.88人であった。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは中央区の588.83人、八王子市の549.63人、町田市の549.25人などであった。

年齢階層別報告数では1歳代が12,777人(15.0%)と最も多いのは前年と同様であった。



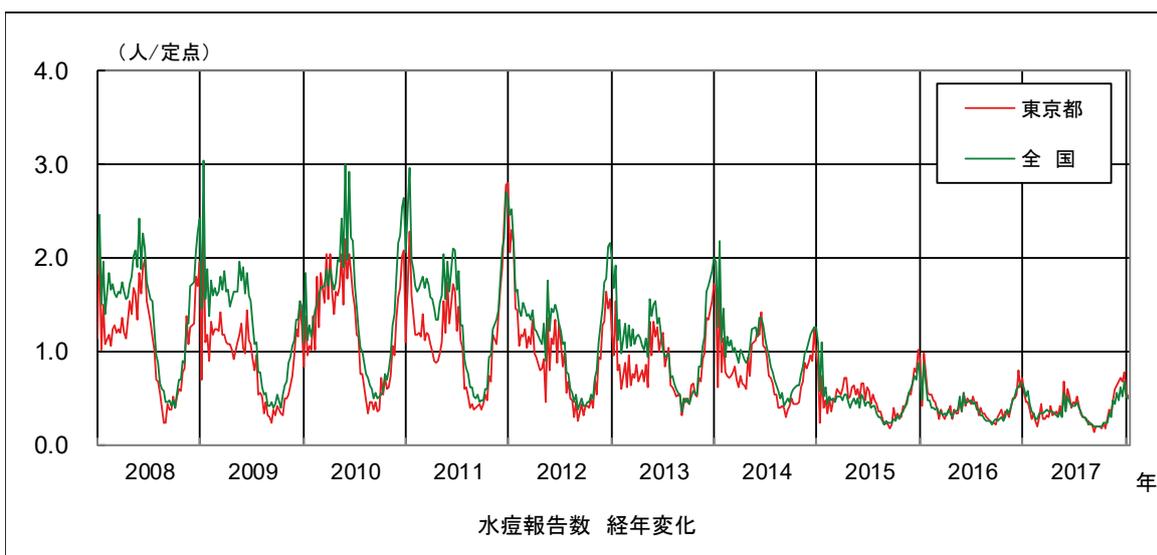
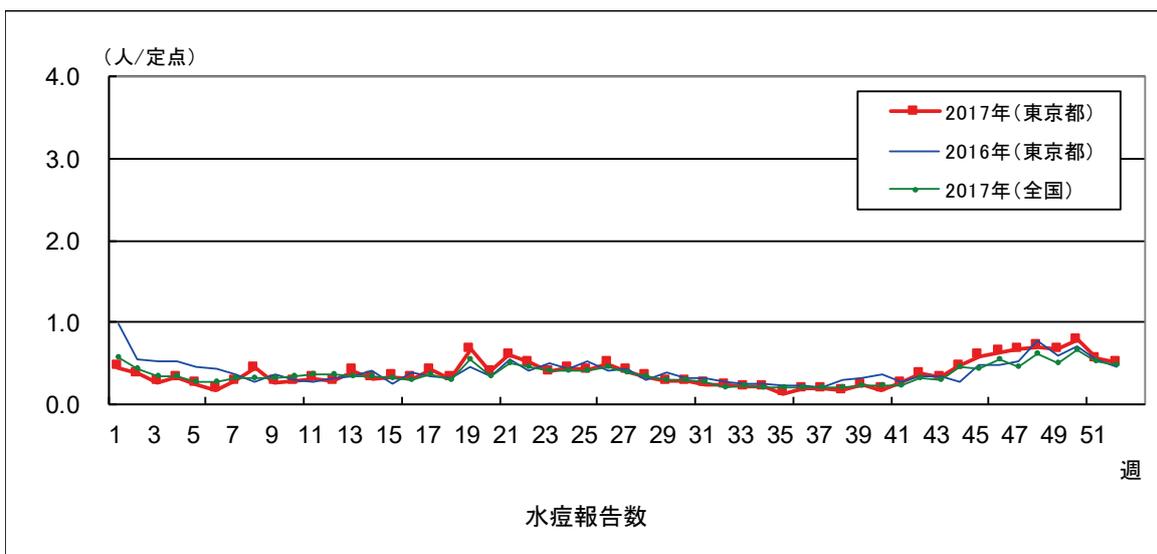
カ 水痘

2017年の報告数は5,135人であった。定点当たりの報告数は19.73人で、ここ10年の定点当たりの報告数の平均は43.14人であり、ここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では19週（5.8～5.14）と45週（11.6～11.12）から50週（12.11～12.17）にかけて定点当たり0.6人を超える小さな山が見られ、ピークは50週（12.11～12.17）の0.78人であるが、あまり季節変動は見られない。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは目黒区の32.40人、中野区の30.17人などであった。

年齢階層別報告数では6歳代が703人（13.7%）と最も多く、4歳代から7歳代で51.0%を占めている。



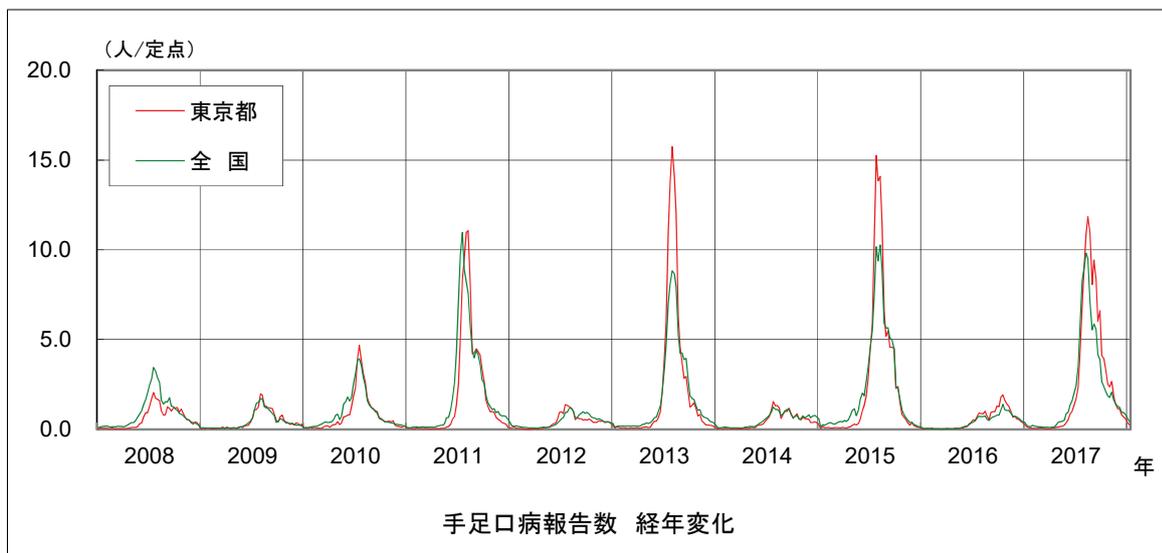
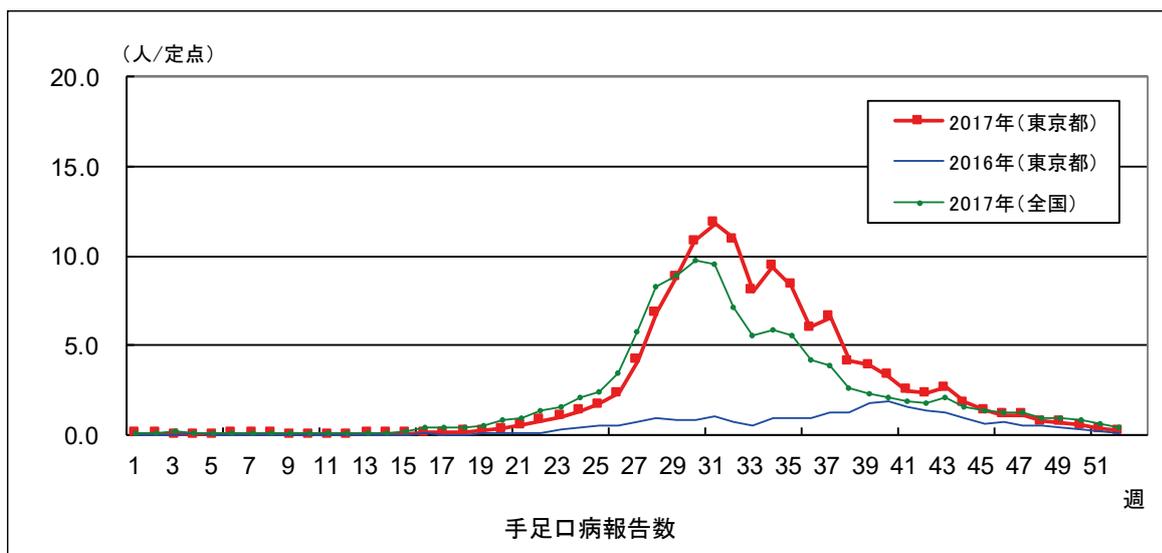
キ 手足口病

2017年の報告数は33,056人、定点当たりの報告数は129.10人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は63.38人であり、2017年はここ10年では最多の報告数であった。

週別定点当たりの報告数では28週(7.10～7.16)から37週(9.11～9.17)にかけ5.0人を超える大きな山があり、ピークは31週(7.31～8.6)の11.84人であった。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは中央区の256.00人、台東区の214.08人、多摩小平の206.72人であった。

年齢階層別報告数では1歳代が11,327人(34.3%)と最も多いのは前年と変わりがなかった。



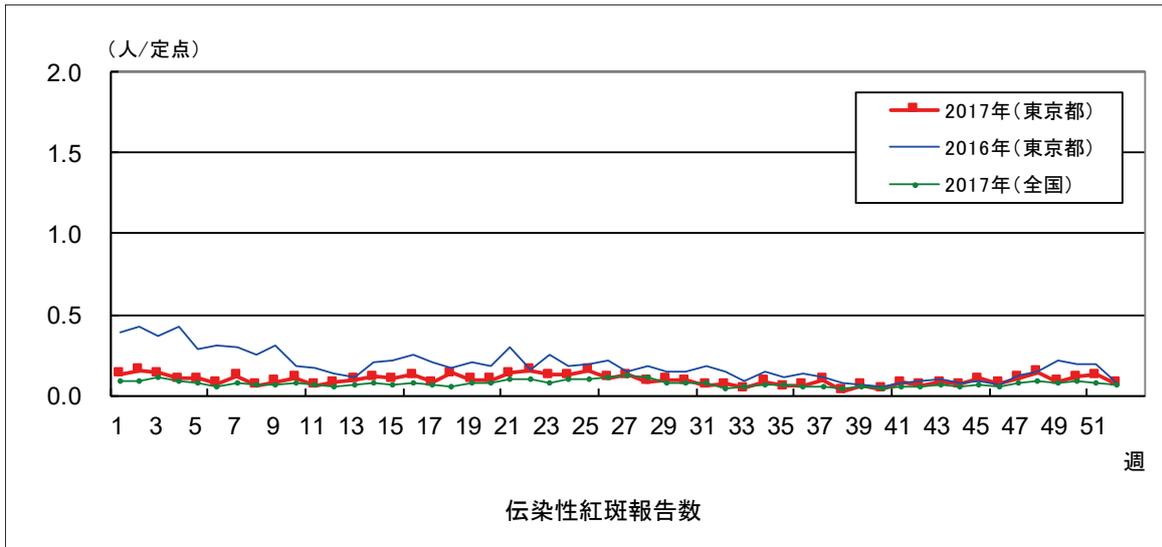
ク 伝染性紅斑

2017年の報告数は1,311人であり、定点当たりの報告数は5.04人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は14.80人であり、2017年はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では0.2人を超える週は見られなかった。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは目黒区の21.80人であった。

年齢階層別報告数では5歳代が240人(18.3%)と最も多く、3歳代から6歳代で58.4%を占めている。



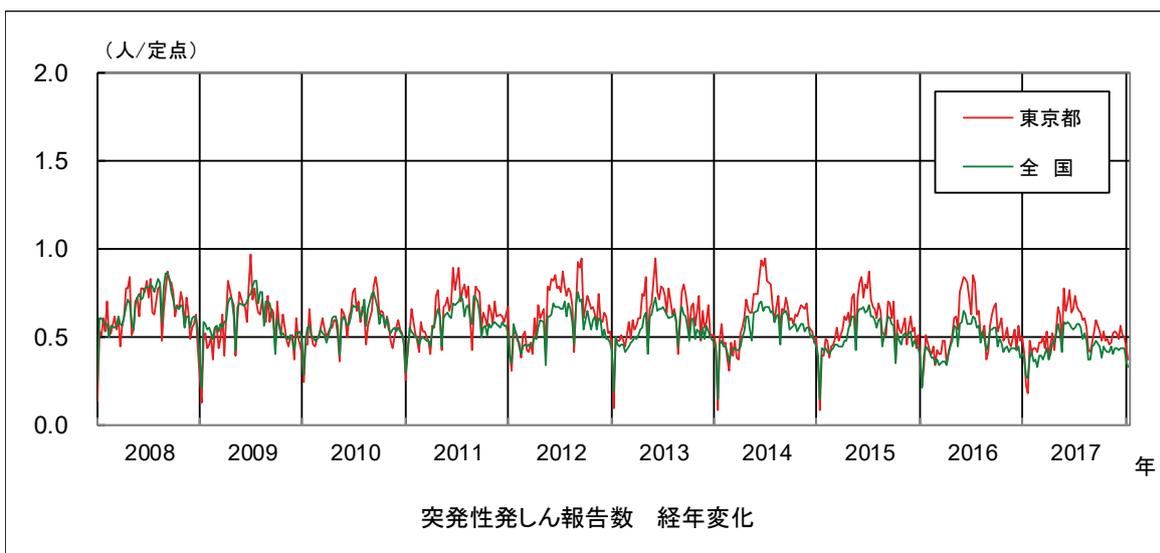
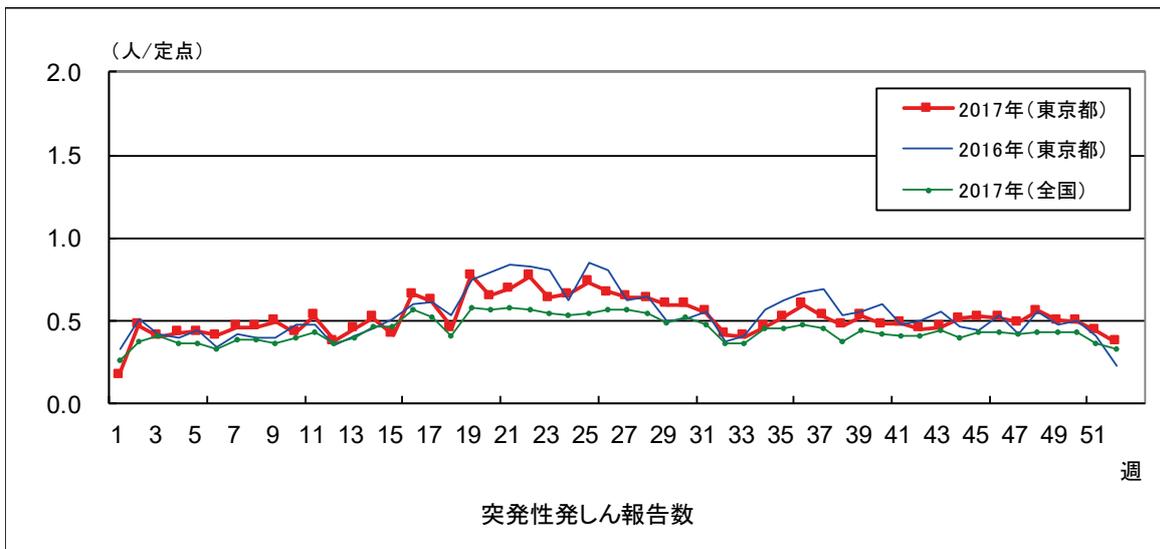
ケ 突発性発しん

2017年の報告数は7,056人であり、定点当たりの報告数は27.13人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は30.70人であり、ここ10年で最も少ない報告数であったが、経年変化の差は少ない。

週別定点当たりの報告数では19週(5.8~5.14)から30週(7.24~7.30)にかけて0.6人を超える緩やかな山がみられるが、例年と同じく季節変動は少なかった。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは台東の48.75人、多摩小平の46.39人であった。

年齢階層別報告数では1歳代が3,818人(54.1%)、6か月~1歳未満が2,061人(29.2%)と両方で83.3%を占めている。



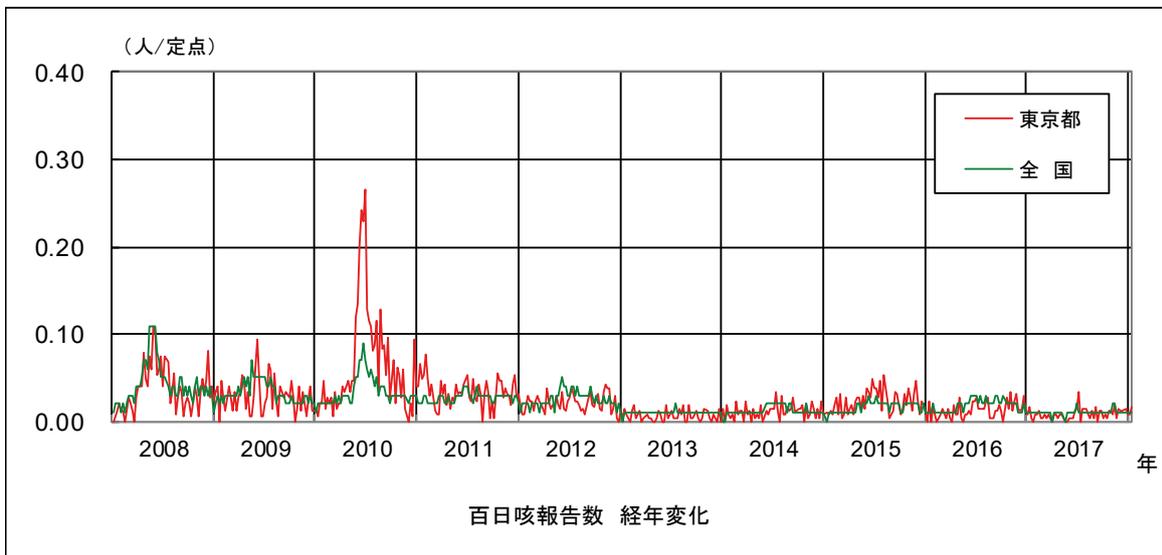
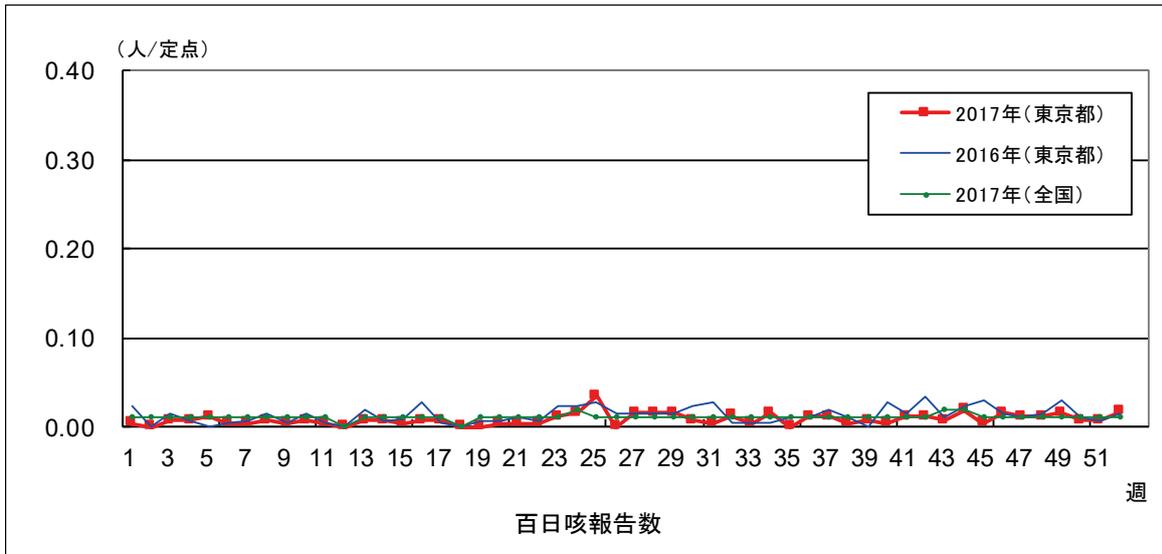
コ 百日咳

2017年の報告数は113人、定点当たりの報告数は0.44人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.29人であり、2017年は2013年に次いで報告数が少なかった。

週別定点当たりの報告数では25週（6.19～6.25）の0.03人以外0.03人を越えた週はなかった。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは目黒区の1.60人であった。

年齢階層別報告数では10歳未満が61人（54.0%）、10歳代が14人（12.4%）、20歳以上が38人（33.6%）報告されている。



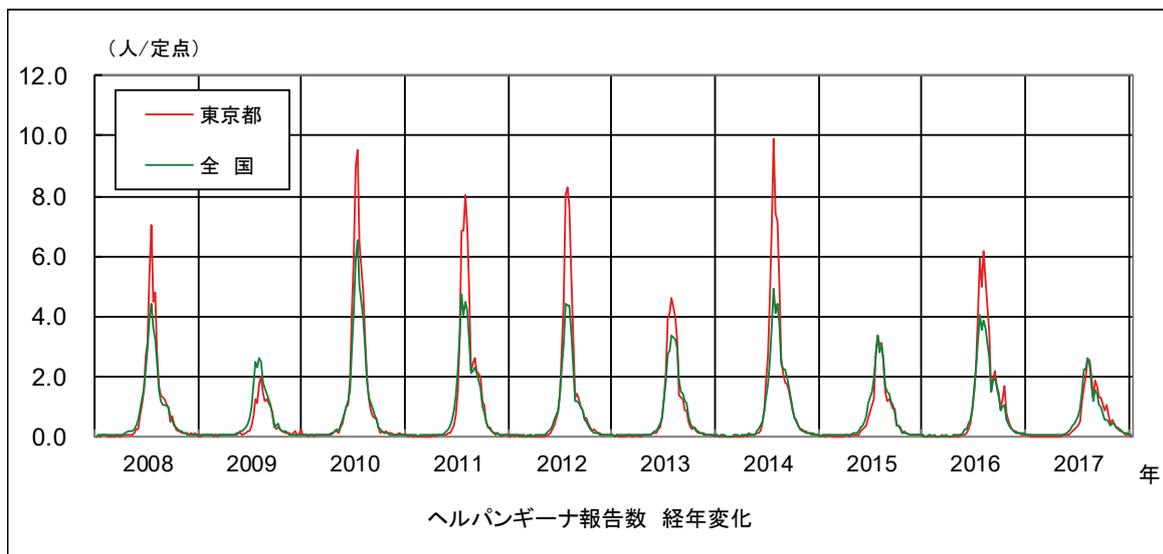
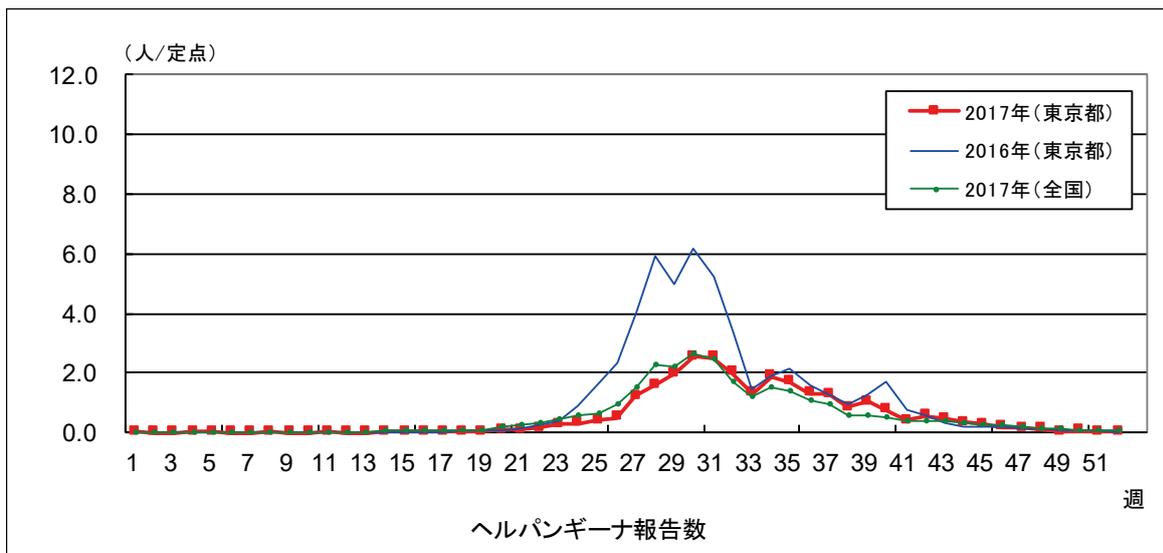
サ ヘルパンギーナ

2017年の報告数は6,812人、定点当たりの報告数は26.54人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は42.63人であり、2017年は2009年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では27週(7.3~7.9)から39週(9.25~10.1)にかけておおむね1.0人を超える緩やかな山があり、ピークは30週(7.24~7.30)の2.54人であった。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の47.50人であった。

年齢階層別報告数では1歳代が2,077人(30.5%)と最も多いのは前年と同様である。5歳代以下で89.9%を占めている。



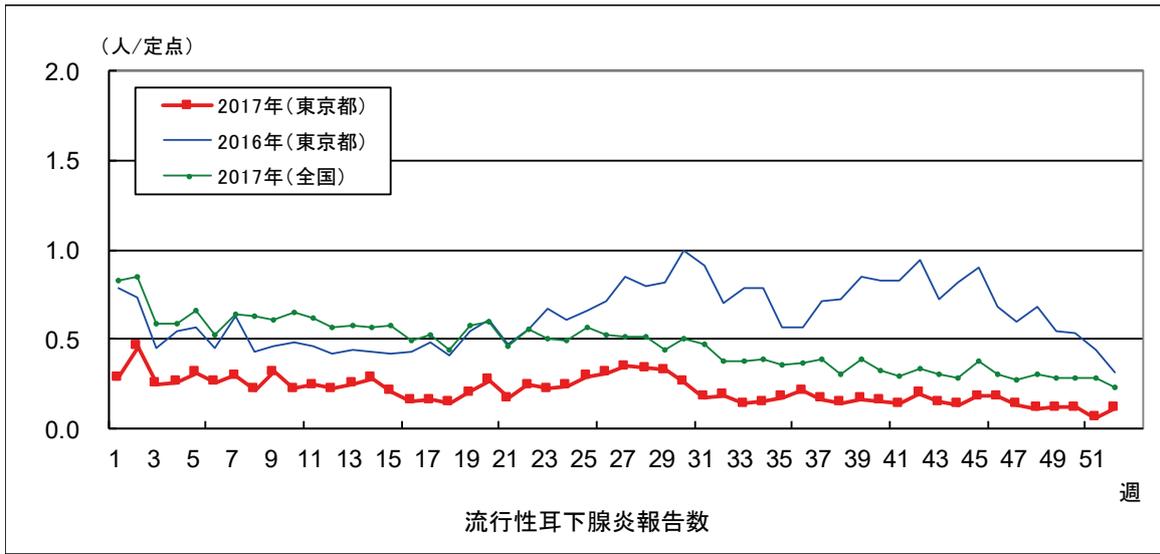
シ 流行性耳下腺炎

2017年の報告数は2,903人、定点当たりの報告数は11.16人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は20.81人であり、2017年はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では2週（1.9～1.15）に0.46人となったが、それ以外は0.4人未満であった。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは町田市の33.75人であった。

年齢階層別報告数では6歳代が399人（13.7%）と最も多く、6歳代以下で51.9%を占めている。



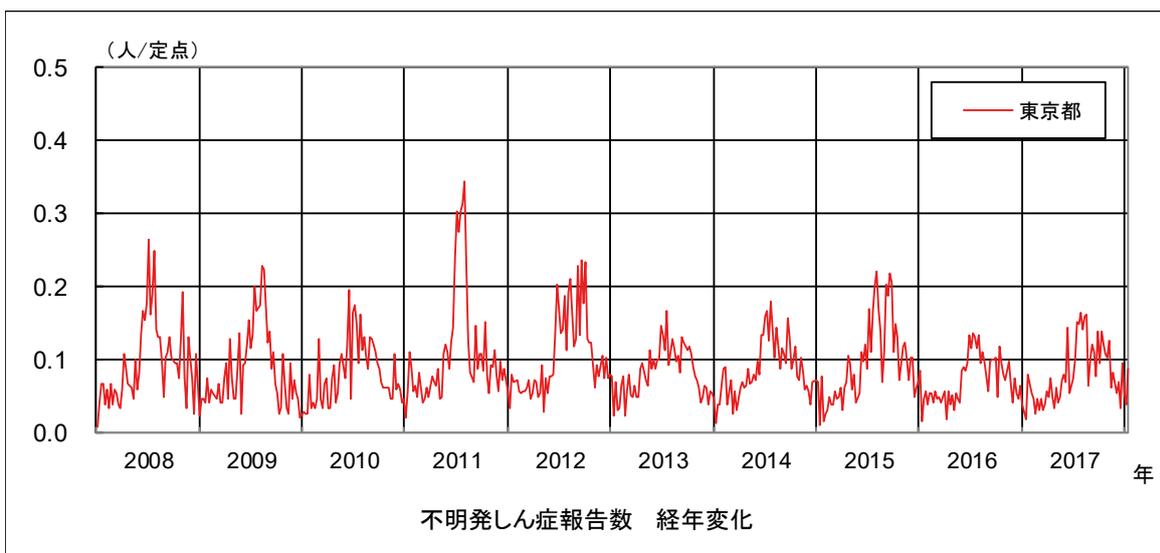
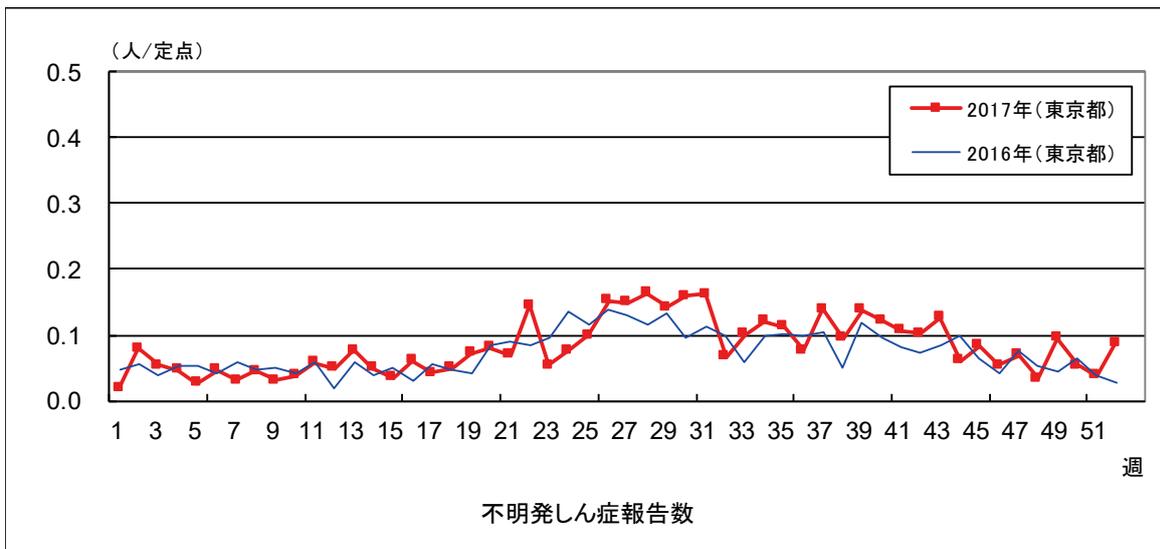
ス 不明発しん症

2017年の報告数は1,101人、定点当たりの報告数は4.25人であった。ここ10年の報告数の平均は4.66人であり、2017年は平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では25週（6.19～6.25）から43週（10.23～10.29）にかけておおむね0.1人を超える緩やかな山があり、26週（6.26～7.2）から31週（7.31～8.6）にかけては0.14～0.16人とやや多くなっている。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは中央区の18.83人であった。

年齢階層別報告数では1歳代が321人（29.2%）と最も多く、4歳代以下で862人と78.3%を占めている。



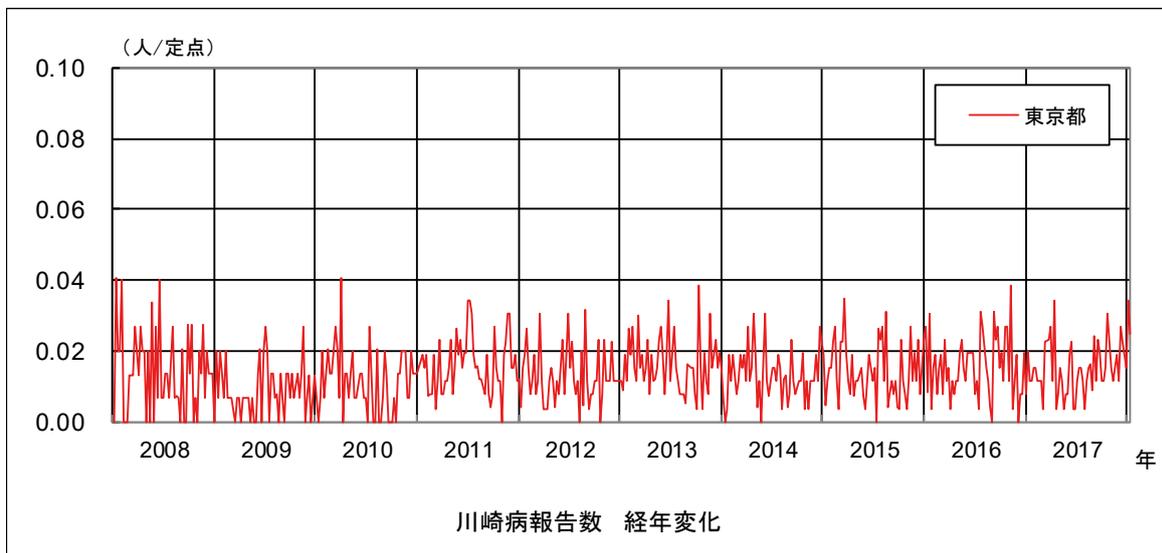
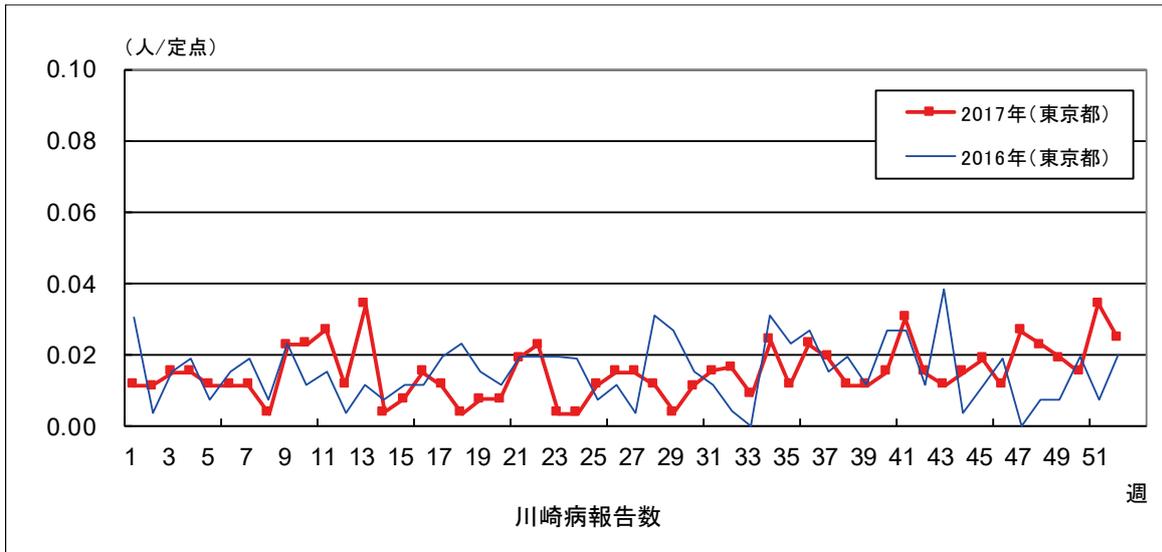
セ 川崎病

2017年の報告数は205人、定点当たりの報告数は0.79人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.72人であり、2017年は平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では0.04人を超える週はなく、季節変動はなかった。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは前年と同様に新宿区の6.71人であった。

年齢階層別報告数では1歳代が50人(24.4%)と最も多いのは前年と変わりなく、4歳代以下で86.3%を占めている。



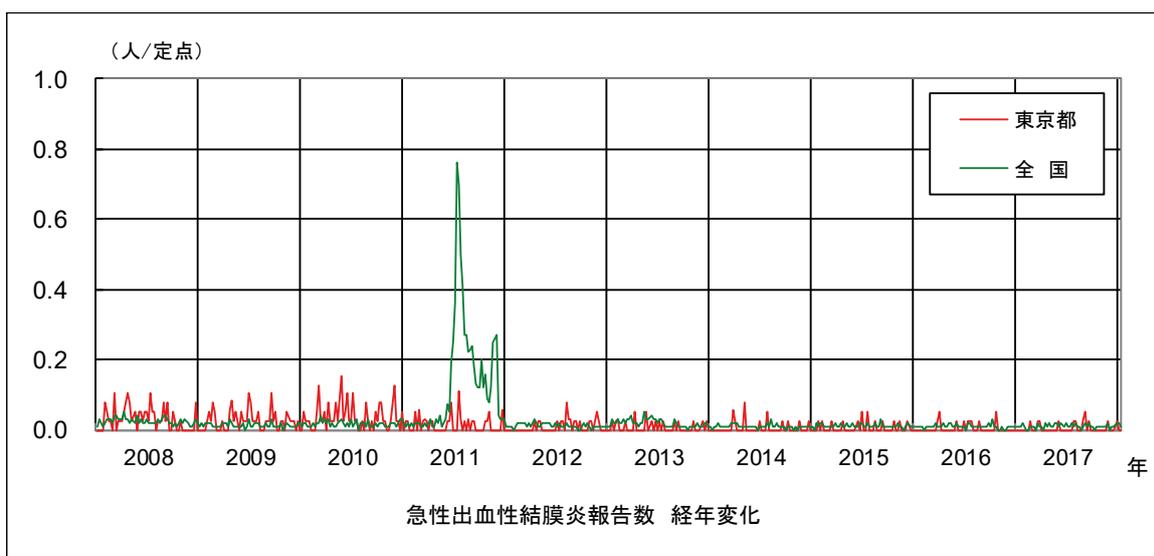
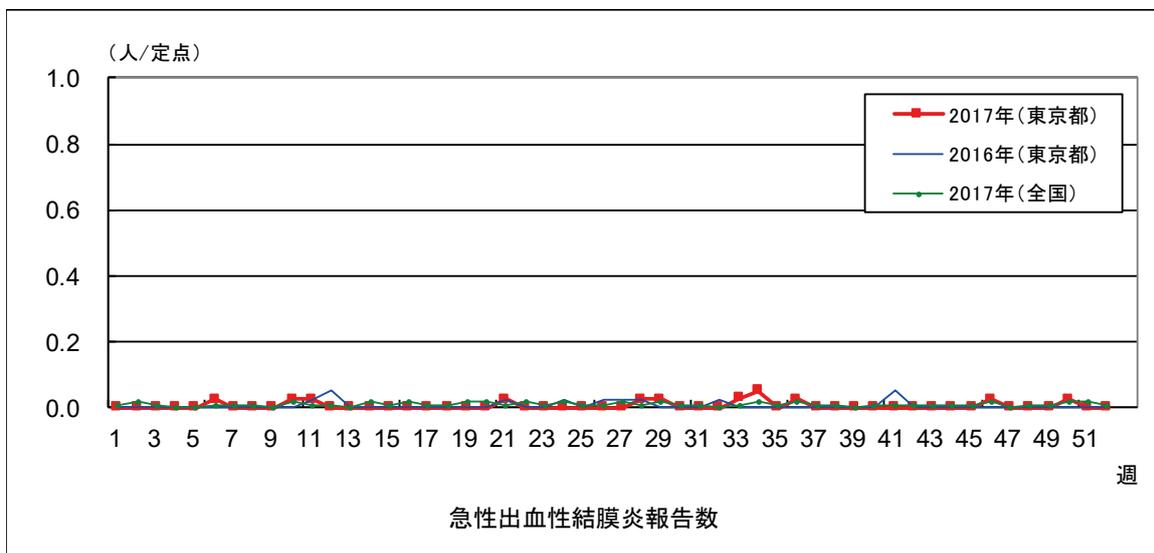
(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2017年の報告数は12人、定点当たり0.31人だった。過去10年間では2016年(定点当たり0.28人)について少ない報告だった。

患者発生数の推移には1年を通じてあまり特徴がなく、34週(8.21~8.27)に2人発生した以外は各週1人以下で、年間41週は発生がなかった。全国的にも低いレベルで分散した発生が続いており、東京も同様だった。

二次医療圏別では眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは6医療圏で区西南部圏、区西北部圏、区東部圏が2人以上が多かった。報告年齢は分散していたが、20歳以上の成人が10人と全体の83.3%を占めた。19歳以下では4歳、15~19歳に各1人(8.3%)みられた。

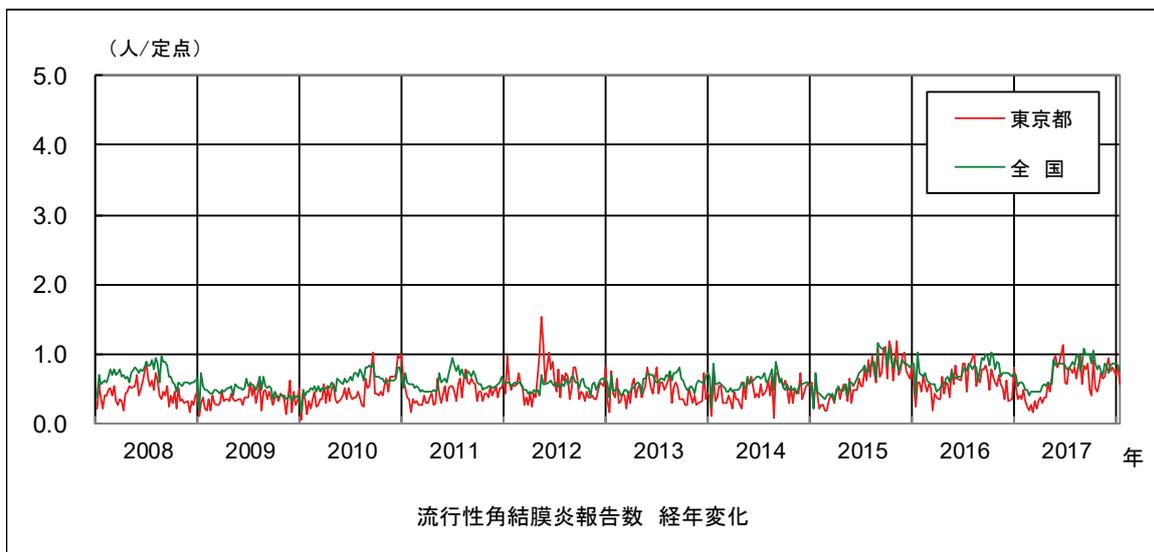
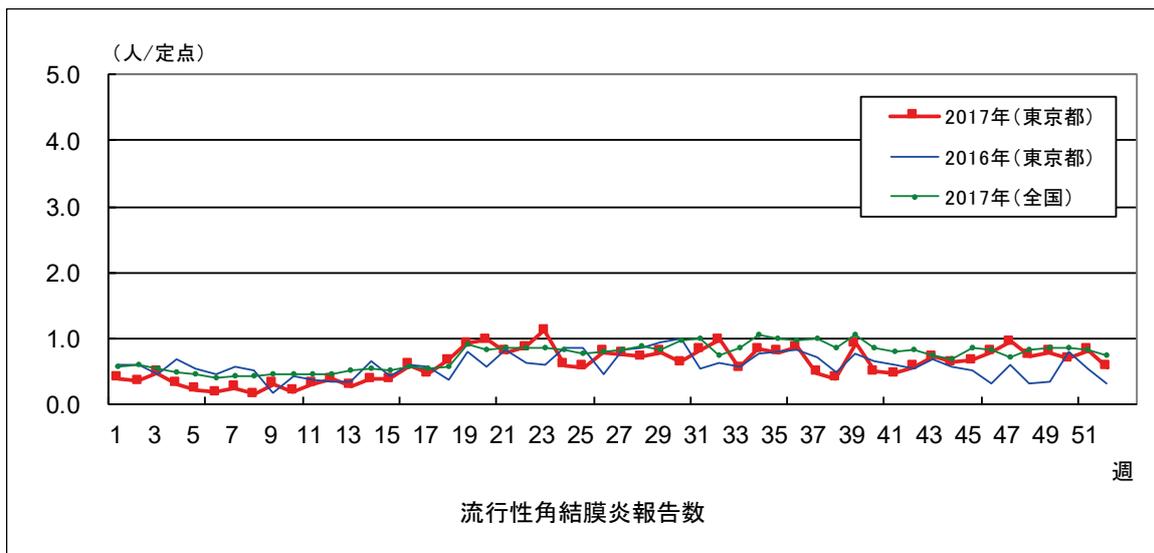


イ 流行性角結膜炎

2017年の報告数は1,219人、定点当たり31.48人であった。過去10年間では最近2年間の2015年（定点当たり32.49人）、2016年（定点当たり31.03人）と同じ位多い報告数だった。

患者発生数は第4週（1.23～1.29）から第13週（3.27～4.2）までが定点当たり0.38人以下と少なく、その他はほぼ平坦化していた。全国と比較しても同様であった。

二次医療圏別では、定点当たり報告数では北多摩北部圏65.00人、区東北部圏58.33人、区中央部圏57.50人で多かった。報告年齢は20歳から49歳が644人と52.8%を占め、20歳以上の成人が845人（69.3%）であった。10歳未満は319人（26.2%）で、各年齢層に分散していた。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

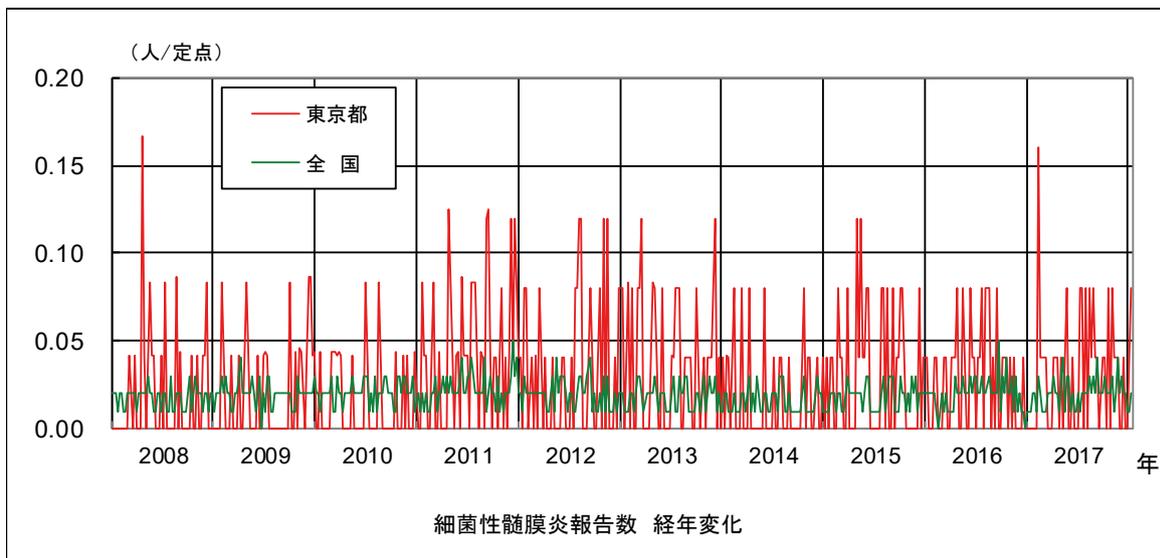
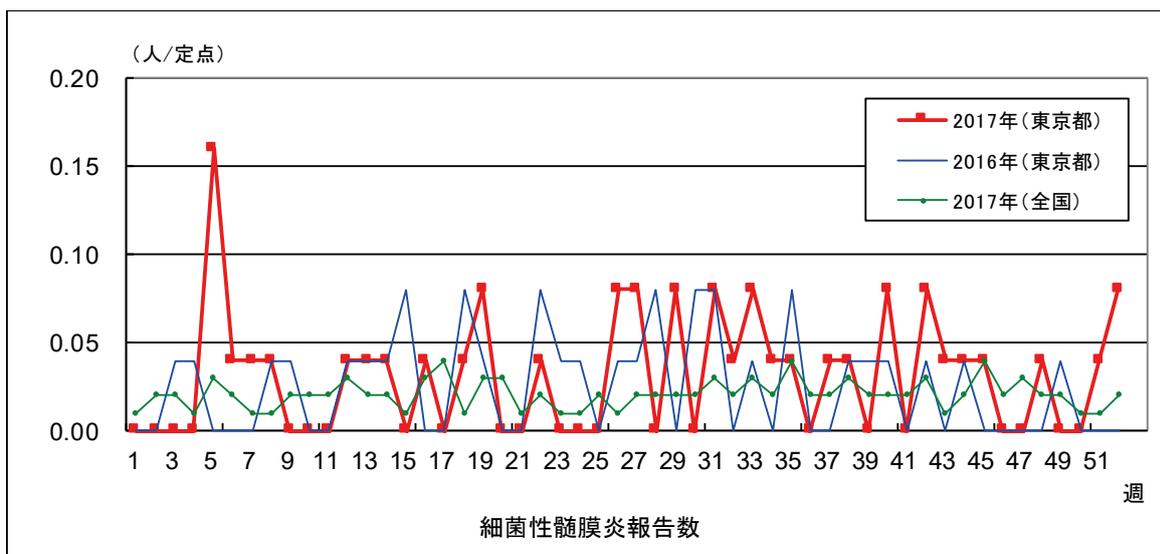
ア 細菌性髄膜炎

2017年の報告数は41人、定点当たりの報告数は1.64人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.39人であり2017年はやや多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では5週(1.30~2.5)に0.16人とやや多い報告数が見られたが、他の週は0.08人以下で季節変動は明らかでない。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは墨田区の7.00人、世田谷の6.50人であった。

年齢階層別報告数では6か月未満が11人(26.8%)、60歳代以上が17人(41.5%)であった。



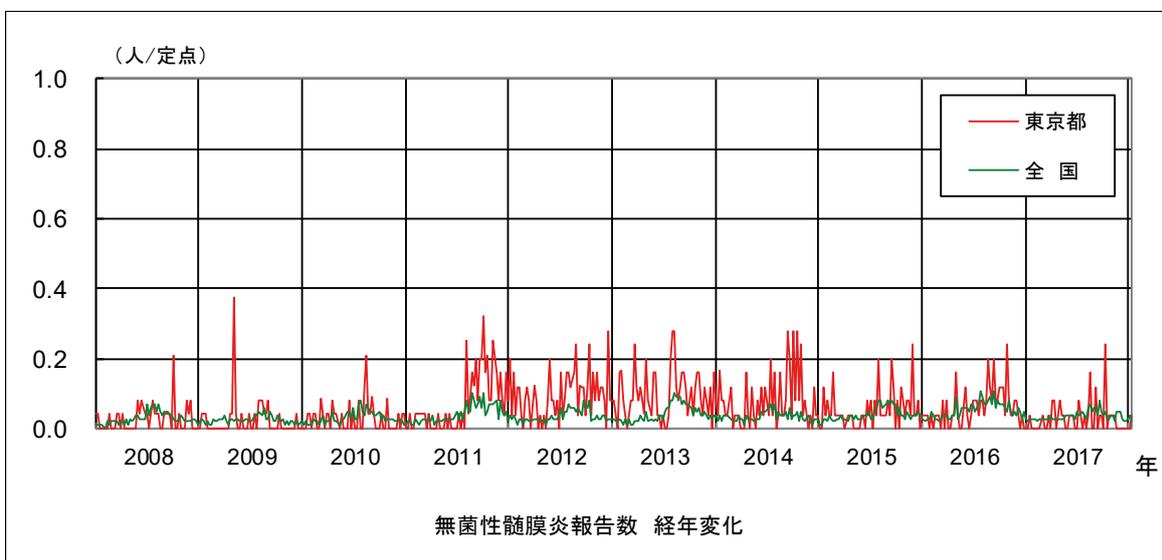
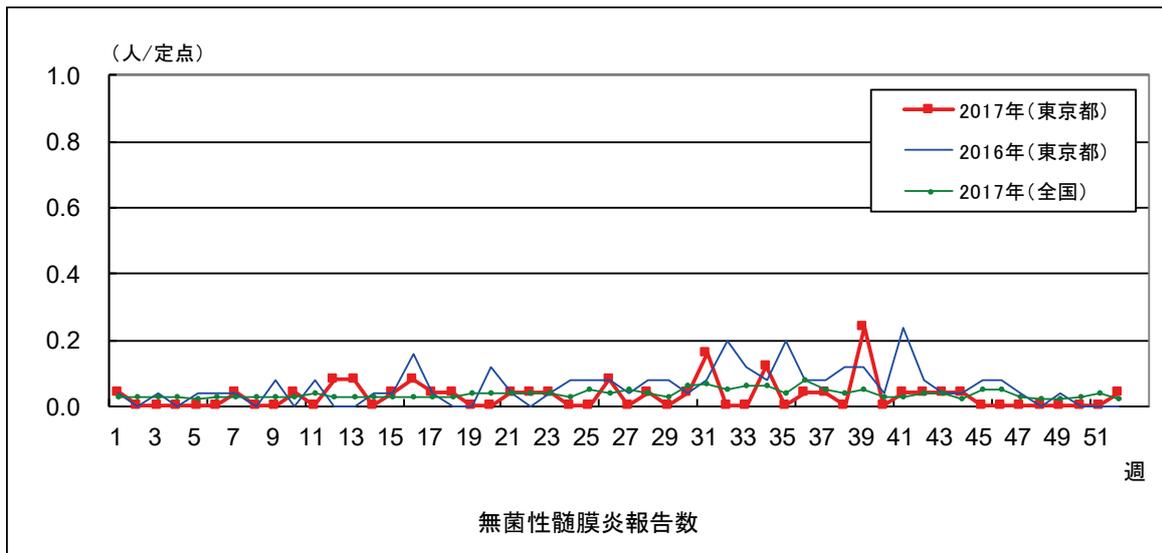
イ 無菌性髄膜炎

2017年の報告数は39人、定点当たりの報告数は1.56人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は2.97人であり、2017年はやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では39週(9.25～10.1)が0.24人とやや多い報告数であったが、季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは世田谷の7.00人、葛飾区の6.00人であった。

年齢階層別報告数では6か月未満が11人(28.2%)であった。



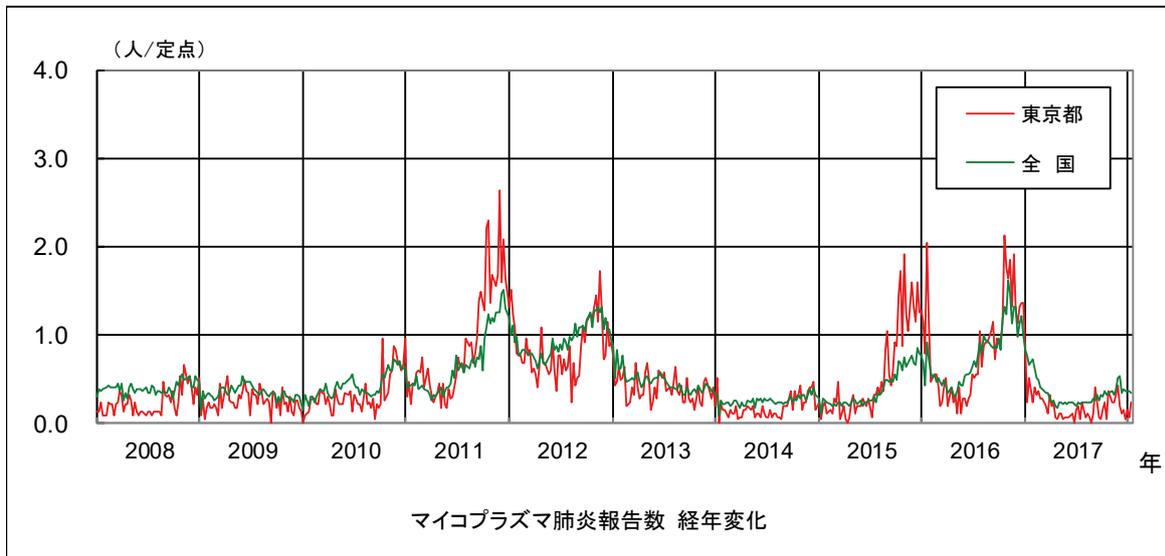
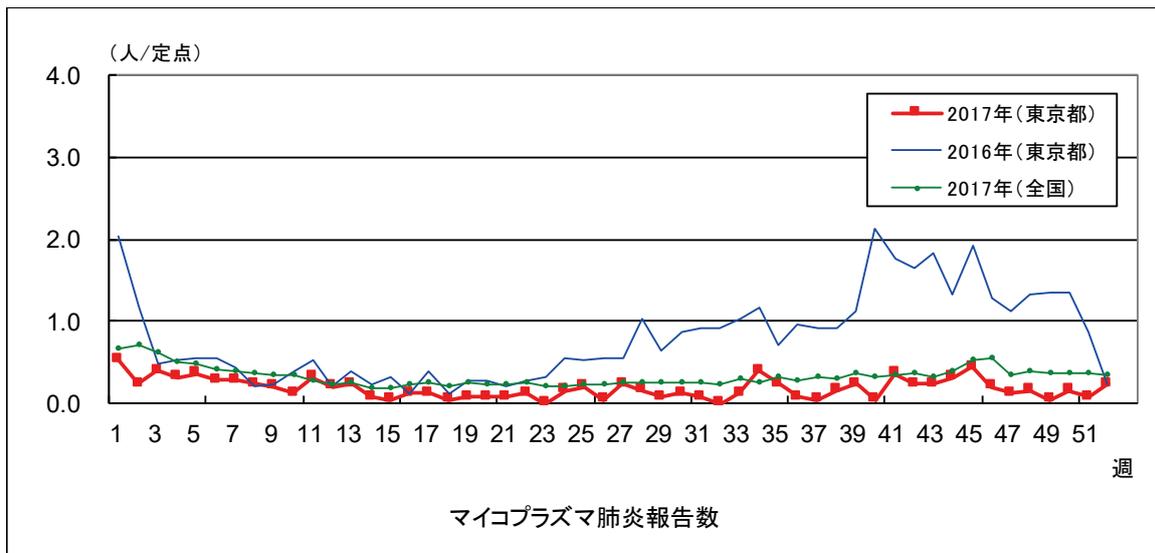
ウ マイコプラズマ肺炎

2017年の報告数は237人、定点当たりの報告数は9.48人であった。この10年の定点当たりの報告数の平均は24.51人であり、2017年は2014年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では1週(1.2~1.8)の0.52人以外0.5人を超えた週はなく季節変動も明らかではない。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは池袋の24.00人であった。

年齢階層別報告数では10歳未満が123人(51.9%)、10歳代が49人(20.7%)、20歳代~60歳未満が51人(21.5%)、60歳以上が14人(5.9%)であった。

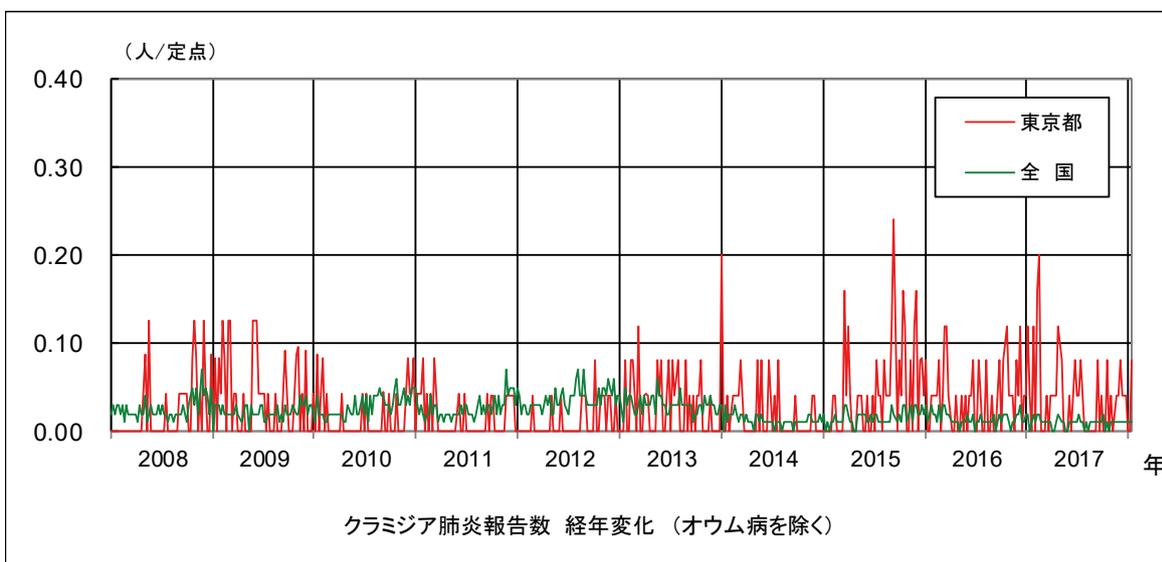
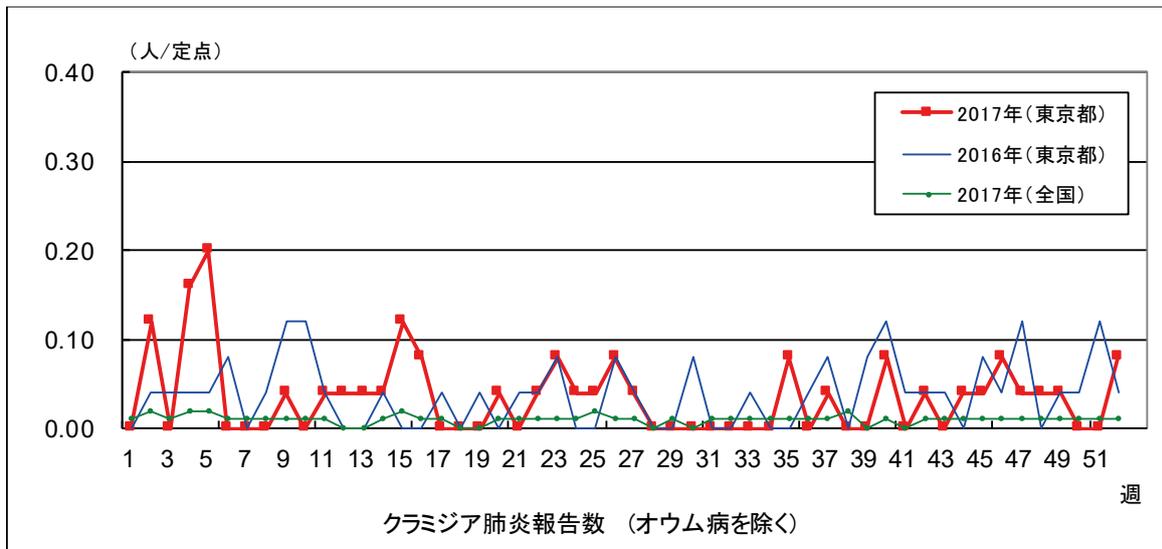


エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2017年の報告数は46人、定点当たりの報告数は1.84人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.38人で2017年は平均よりやや多い報告数であった。週別定点当たりの報告数では4週（1.23～1.29）と5週（1.30～2.5）にやや報告数の増加があるがそれ以外の季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは池袋8.00人、多摩府中8.00人、みなと7.00人、葛飾6.00人、多摩小平0.50人でこの5か所の保健所以外からの報告はなかった。

年齢階層別報告数では60歳代以上が35人（76.1%）であった。

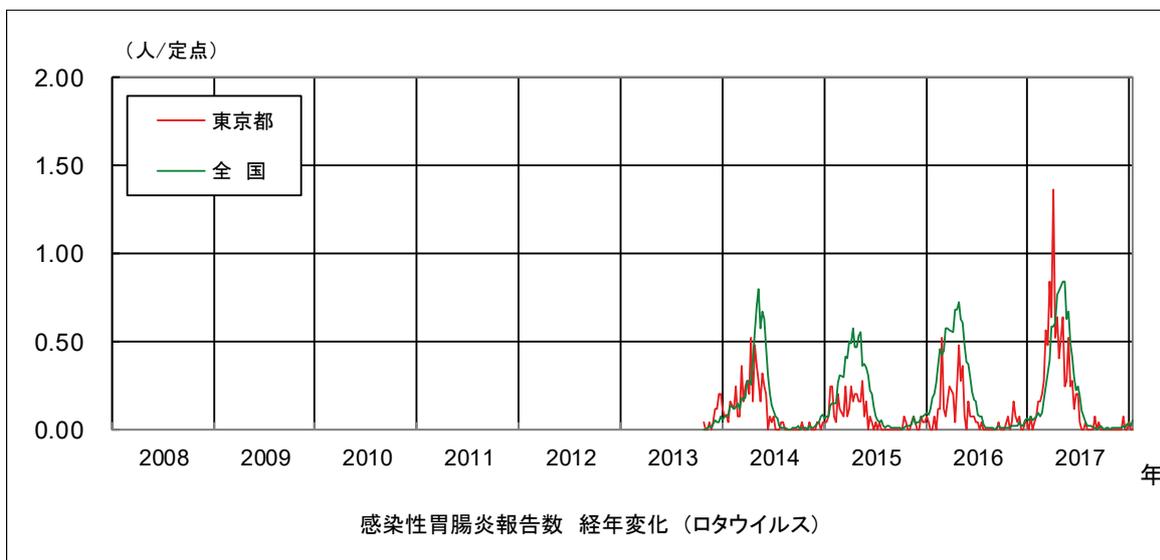
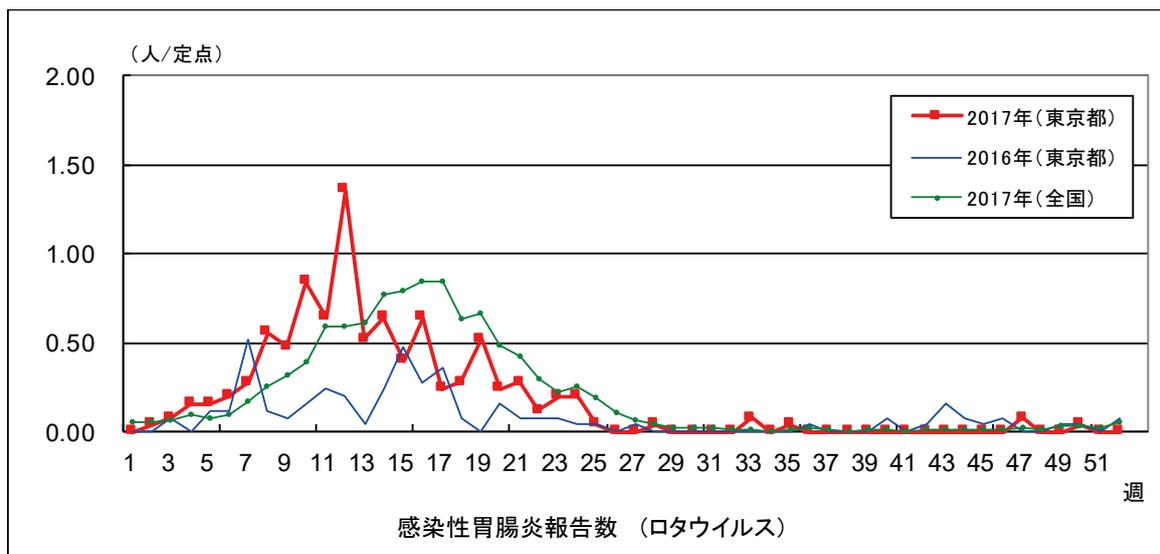


オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

2017年の報告数は235人、定点当たりの報告数は9.40人であった。2014年から報告は通年化されたが、2017年はこの4年間では最も報告数が多かった。週別定点当たりの報告数では7週(2.13~2.19)から21週(5.22~5.28)にかけて0.2人を超える大きな山がありピークは12週(3.20~3.26)の1.36人であった。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは葛飾区の49.00人、渋谷区の43.00人であった。

年齢階層別報告数では2歳代が46人(19.6%)と最も多く、4歳代以下で159人(67.7%)を占めている。

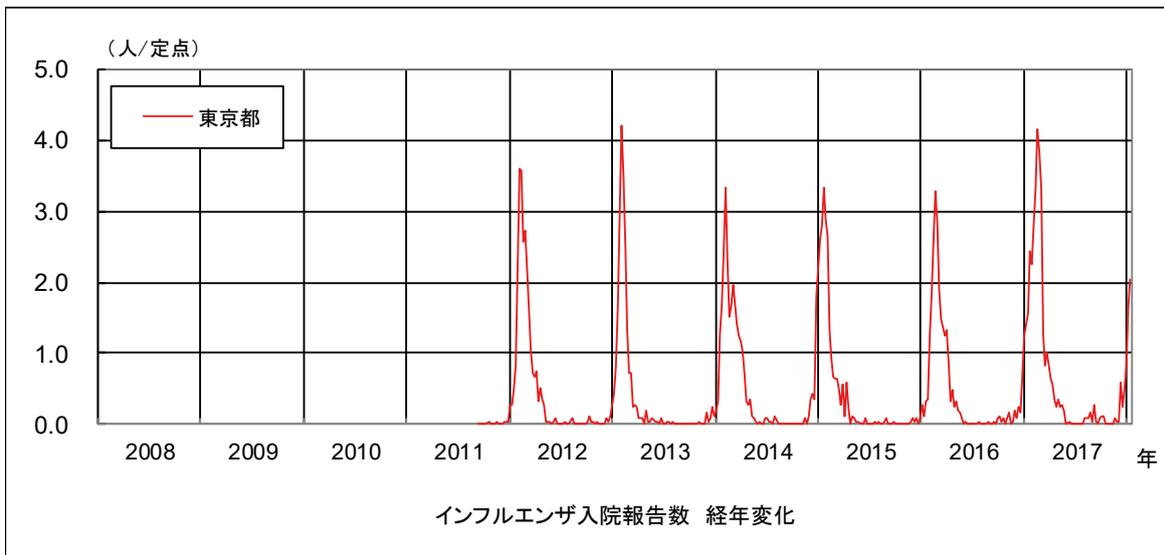
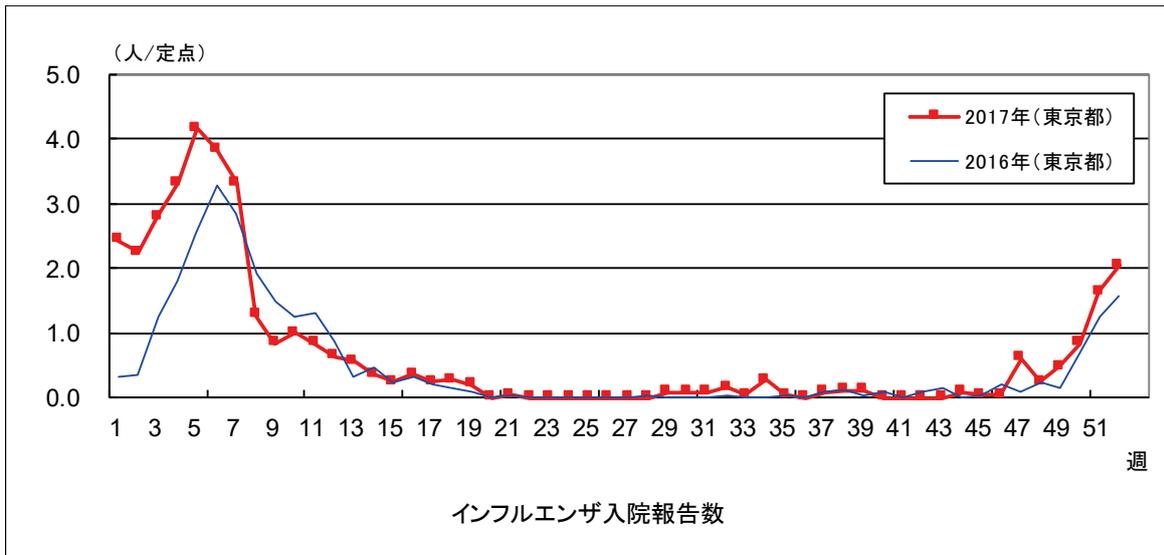


カ インフルエンザ入院

2017年の報告数は902人、定点当たりの報告数は36.08人であった。報告が通年化された2012年からの6年間の定点当たりの報告数の平均は26.03人であり。2017年はこの6年間で最も報告数が多かった。2016/17シーズンのピークは5週の4.16人であった。2017/18シーズンは最終52週では2.04人まで増加している。

保健所別定点当たりの報告数で多かったのは葛飾区の92.00人、世田谷の69.50人であった。

年齢階層別報告数では10歳未満215人(23.8%)、10歳代37人(4.1%)、20歳代～50歳代83人(9.2%)、60歳代72人(8.0%)、70歳代151人(16.7%)、80歳以上344人(38.1%)であった。

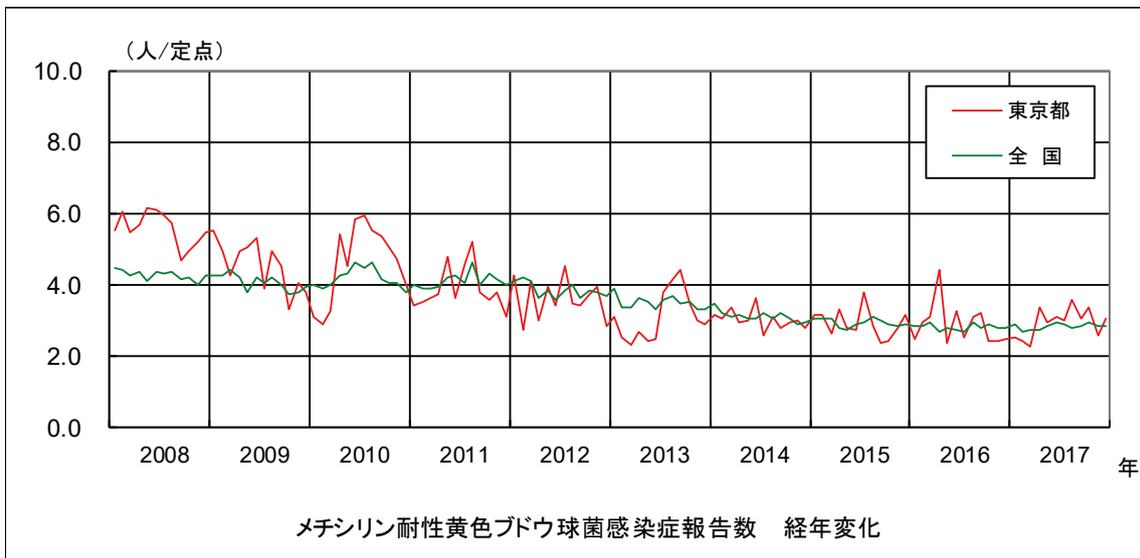
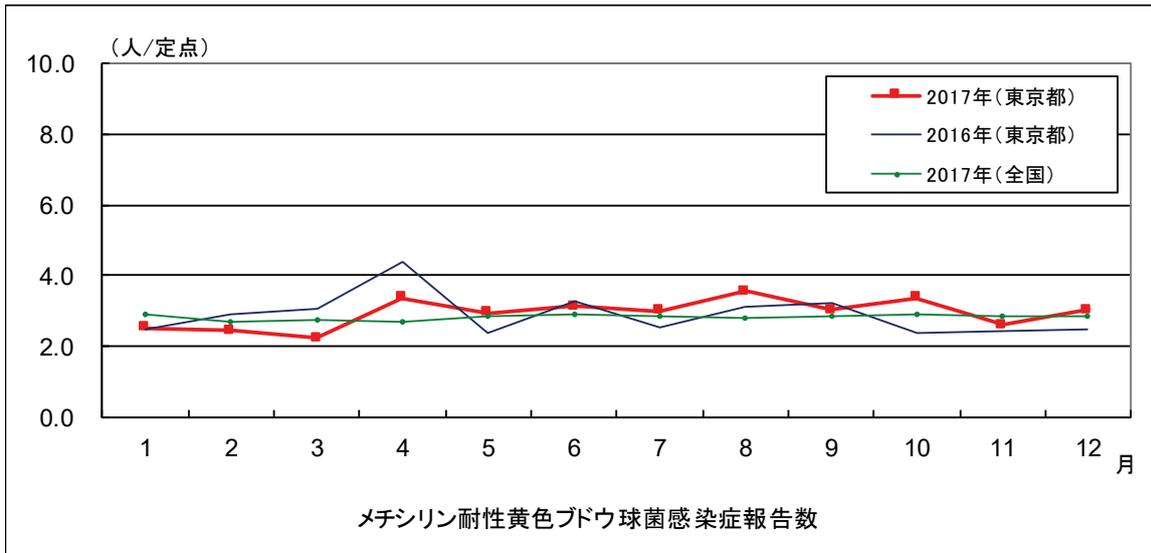


(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2017年の報告数は881人、定点当たりの報告数は35.24人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は44.55人であった。2011年より報告数は減少を続けていたが2017年は前年より若干増加がみられた。月別の報告数に明らかな変動は見られなかった。

性別では男性573人(65.0%)、女性308人(35.0%)と例年と同様男性に多かった。年齢階層別報告数では10歳未満が208人(23.6%)、70歳以上が359人(40.7%)と若年者と高齢者に多かった。

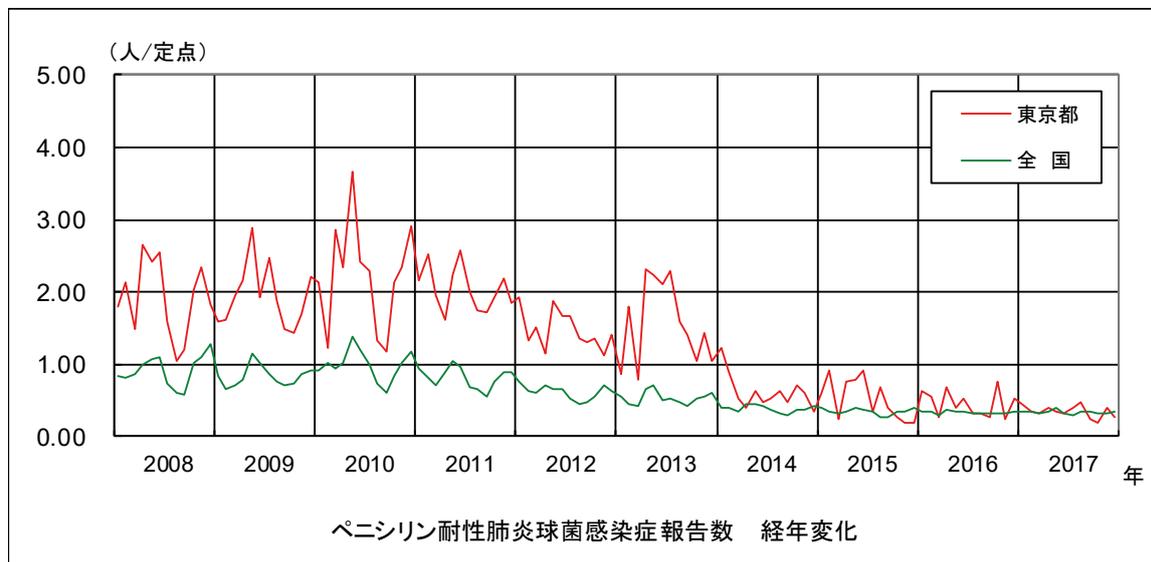
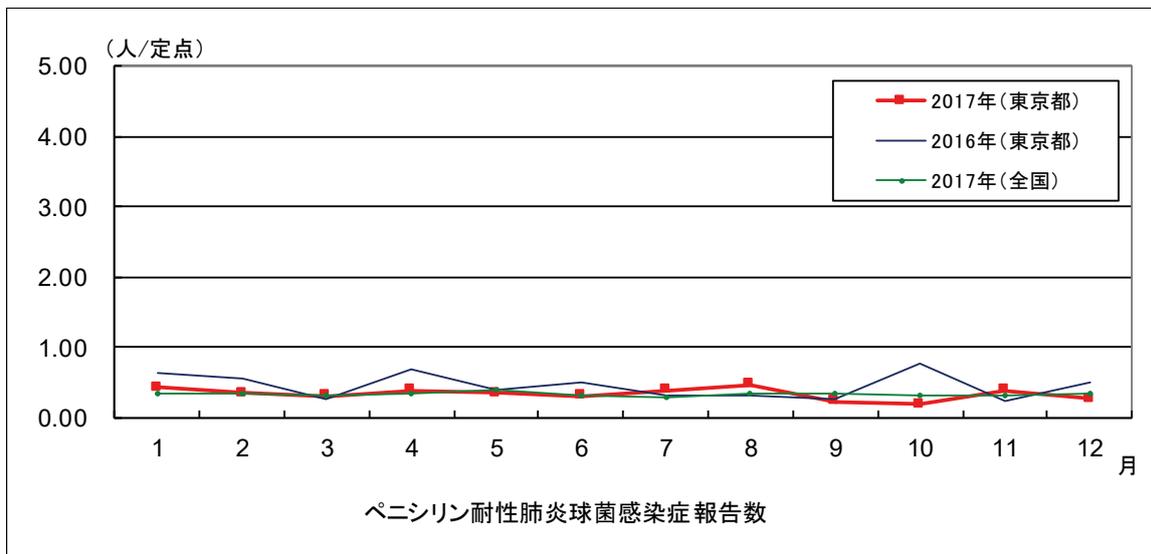


イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2017年の報告数は105人、定点当たりの報告数は4.20人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は15.79人であり2014年より前年比で減少が続いている。

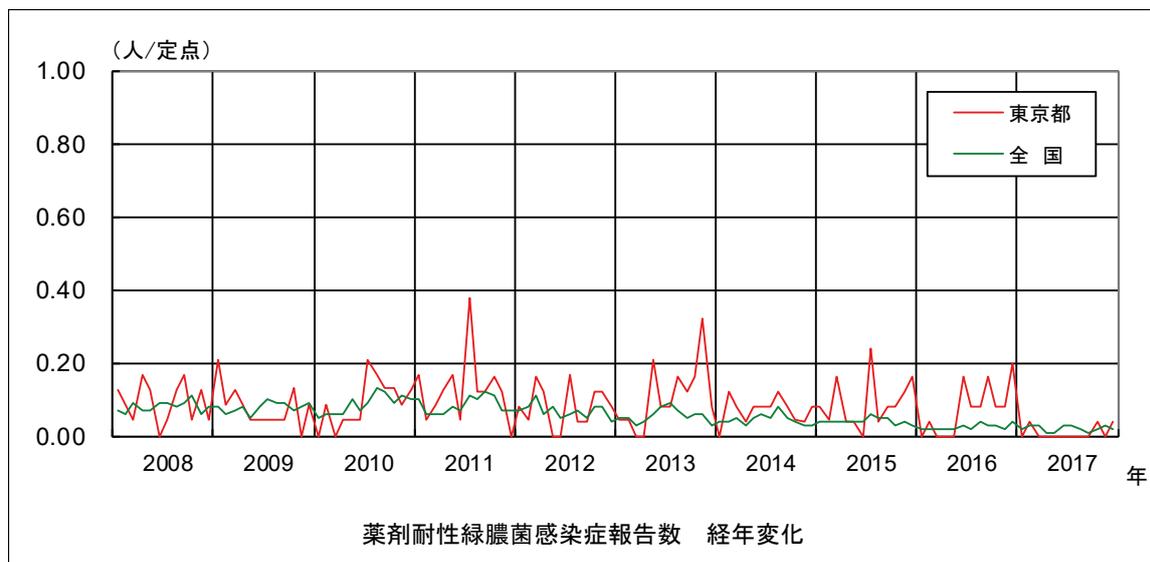
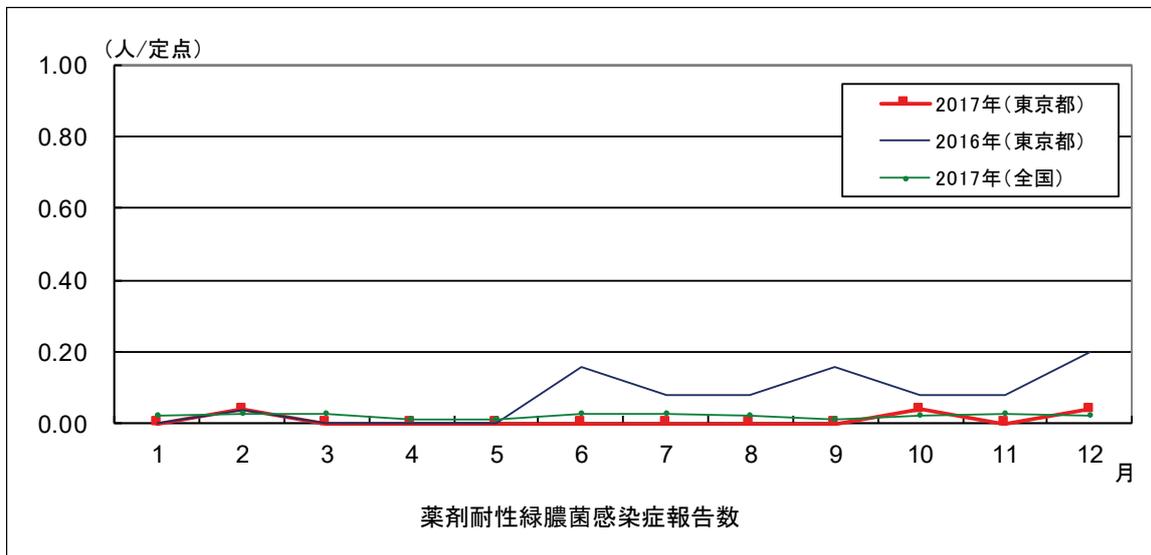
月別報告数に季節変動は見られない。

性別では男性69人(65.7%)、女性36人(34.3%)で例年と同じく男性に多かった。年齢階層別報告数では10歳未満が45人(42.9%)、70歳以上が30人(28.6%)であった。



ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2017年の報告数は3人で、定点当たりの報告数は0.12人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.99人で、2017年はここ10年で最も少ない報告数であった。3人の性及び年齢は40歳の男性、60歳の男性及び70歳以上の女性であった。



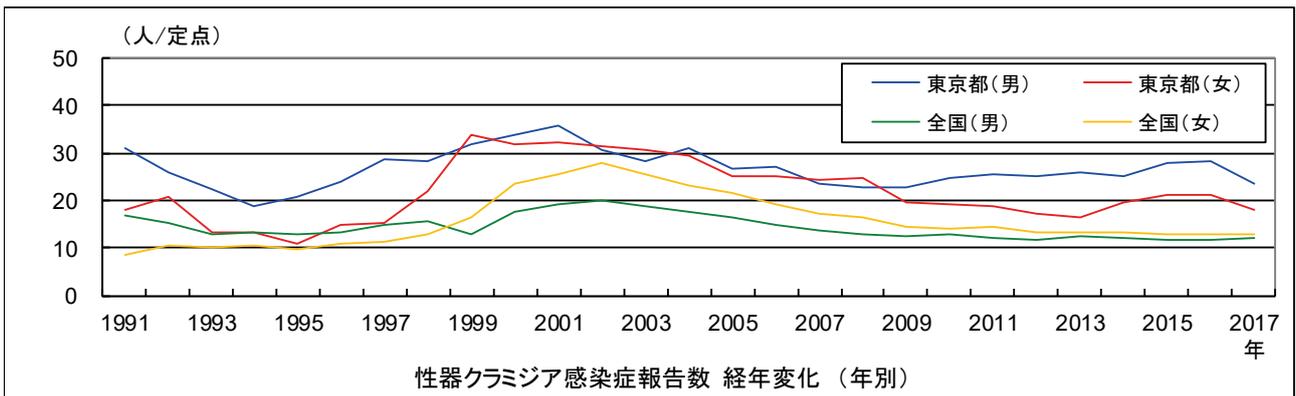
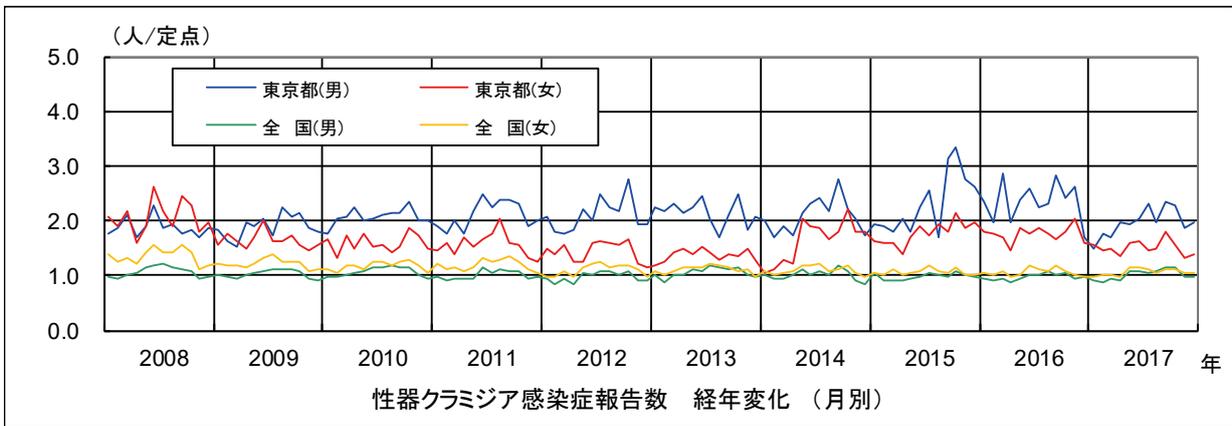
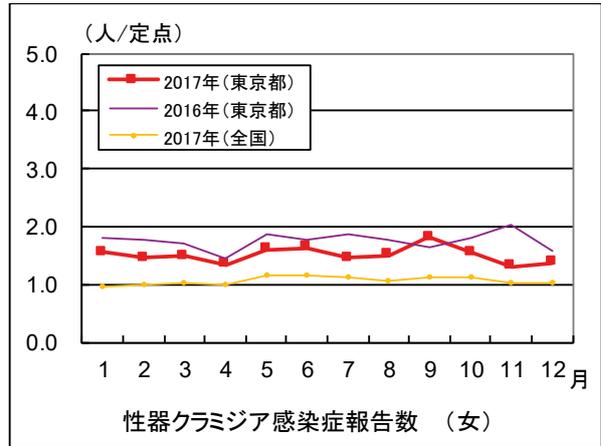
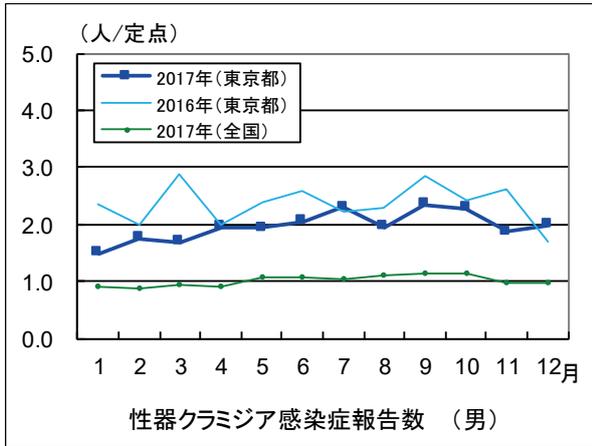
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

2017年の報告数は2,294人、定点当たり41.77人であり、男性の報告数は1,300人、定点当たり23.67人（前年比0.84）、女性の報告数は994人、定点当たり18.10人（前年比0.86）であった。

定点当たり報告数を月別に見ると、男性は9月が2.35人で最多、1月が1.49人で最少、女性では9月が2.04人で最多、11月が1.31人で最少であった。保健所別では、男性は千代田区の85.0人、女性は多摩立川の79.5人が最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は25～29歳の279人が最多で、20歳代と30歳代で男性全体の66.7%を占めた。女性では20～24歳の310人が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の82.8%を占めた。

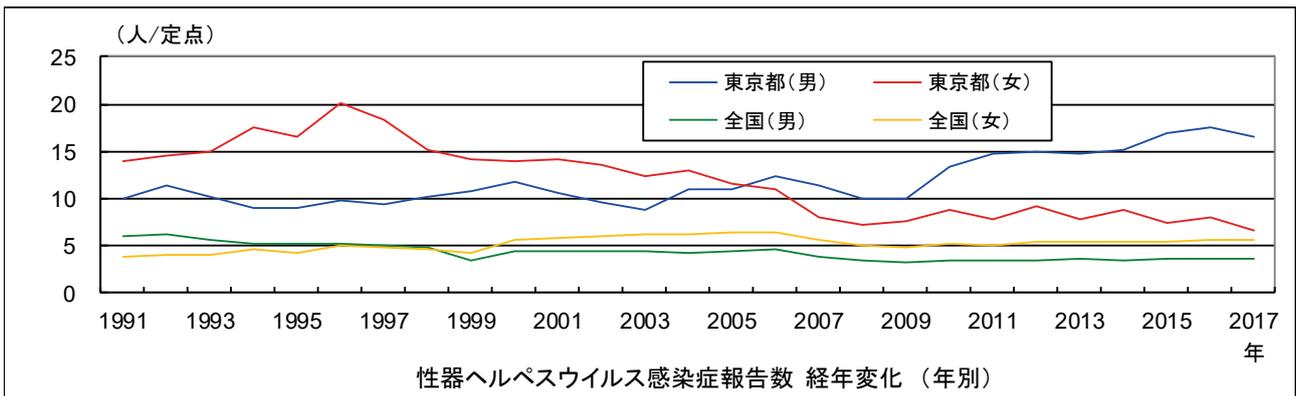
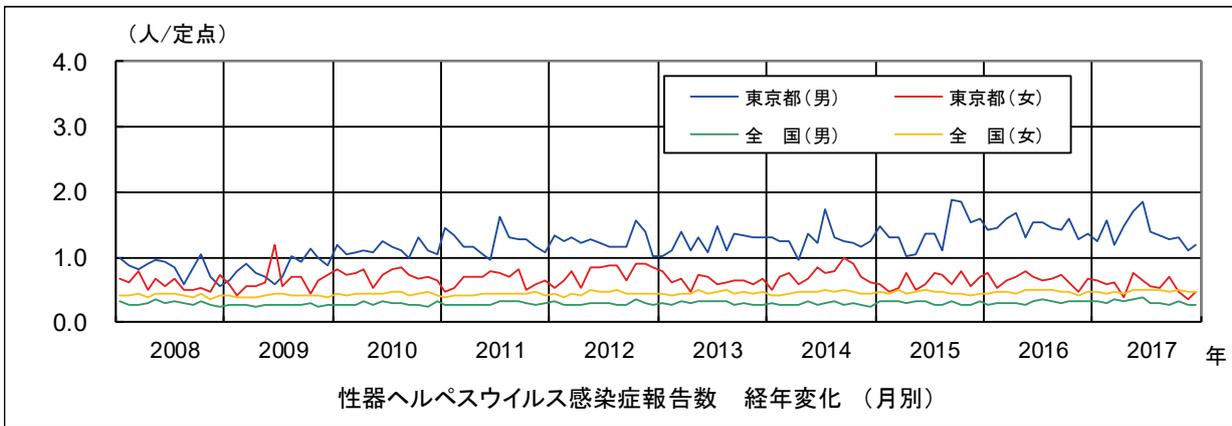
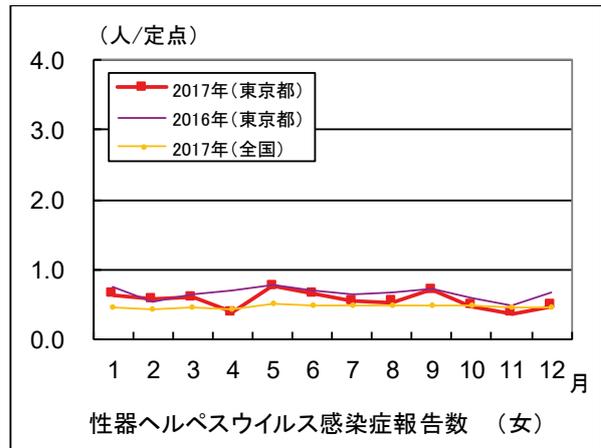
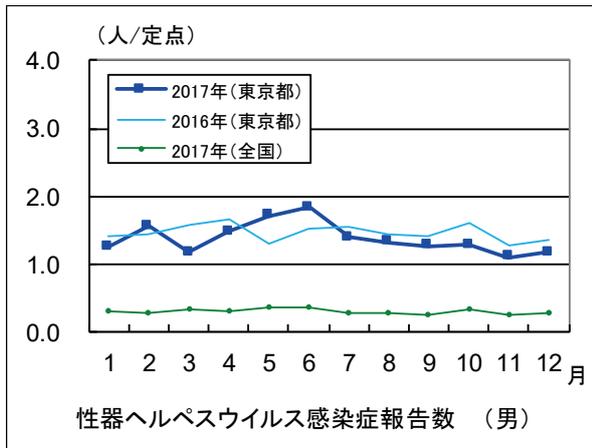


イ 性器ヘルペスウイルス感染症

2017年の報告数は1,279人、定点当たり23.29人であり、男性の報告数は911人、定点当たり16.59人（前年比0.96）、女性の報告数は368人、定点当たり6.70人（前年比0.85）で、2006年以降男性に多い状況が続いている。

月別の定点当たり報告数は、男性は6月が1.84人で最多、11月が1.11人で最少、女性は5月が0.76人で最多、11月が0.36人で最少であった。保健所別では、男性はみなとが最多で203.00人、女性は町田市が最多で27.00人であった。

年齢階級別報告数では、男性は40～44歳の137人が最多で、35～54歳までの各階級で100人以上の報告数を認めた。女性では30～34歳の61人が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の59.8%を占めた。

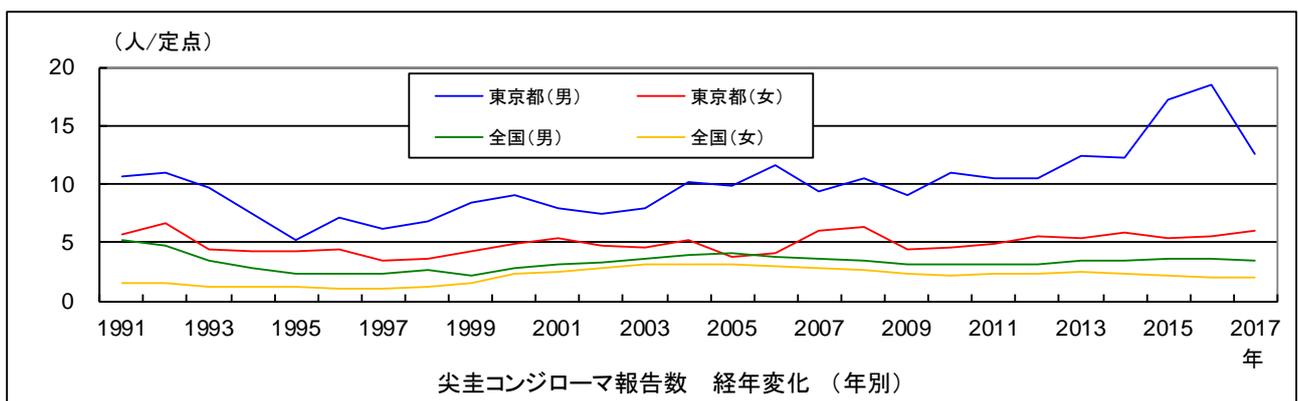
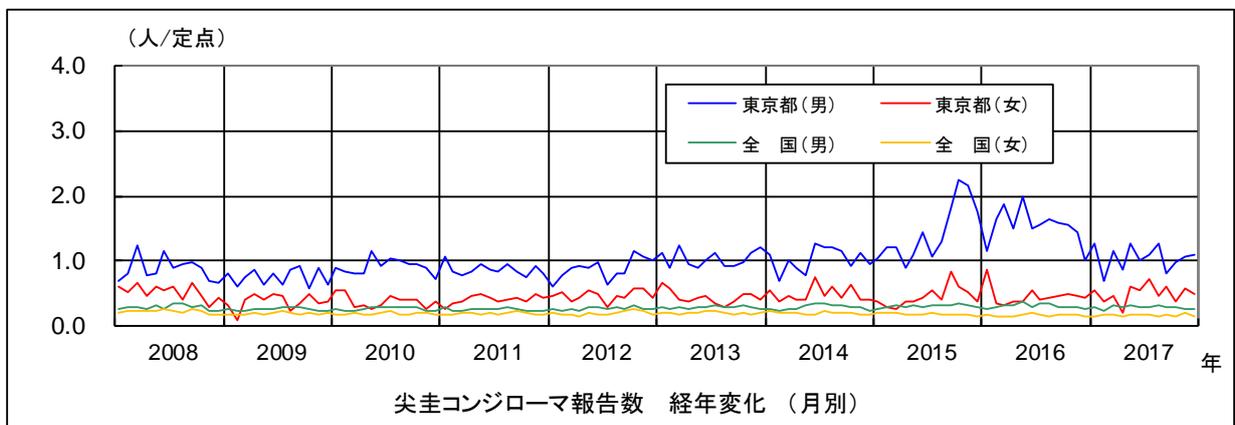
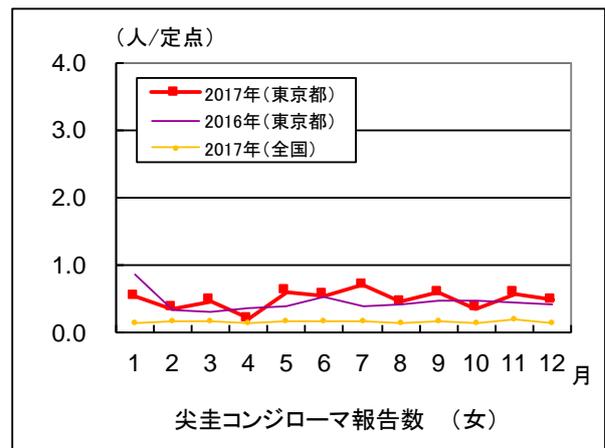
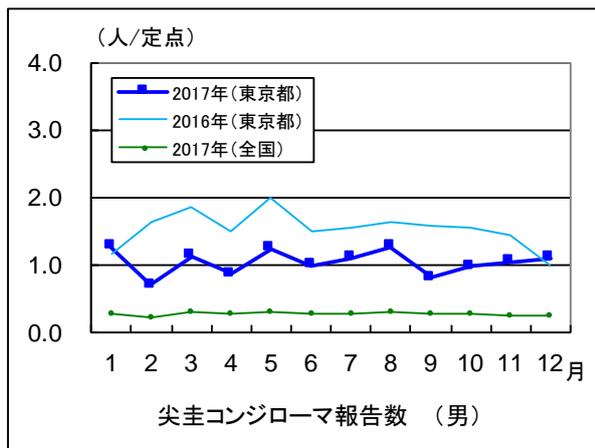


ウ 尖圭コンジローマ

2017年の報告数は1,021人、定点当たり18.58人であり、男性の報告数は692人、定点当たり12.59人（前年比0.68）、女性の報告数は329人、定点当たり5.99人（前年比1.08）で、男性の割合が多かったが、男性の報告数の減少に反して女性の報告数は微増した。

月別定点当たり報告数は、男性は1月と8月が1.27人で最多、2月が0.70人で最少、女性は7月が1.11人で最多、10月が0.98人で最少であった。保健所別では、男性が新宿区の59.17人、女性も新宿区の28.64人がそれぞれ最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は35～39歳の129人が最多で、30歳代と40歳代で男性全体の58.4%を占めた。女性では20～24歳が104人と最多で、20歳代と30歳代で女性全体の80.2%と年齢構成は昨年と同様の傾向を示した。

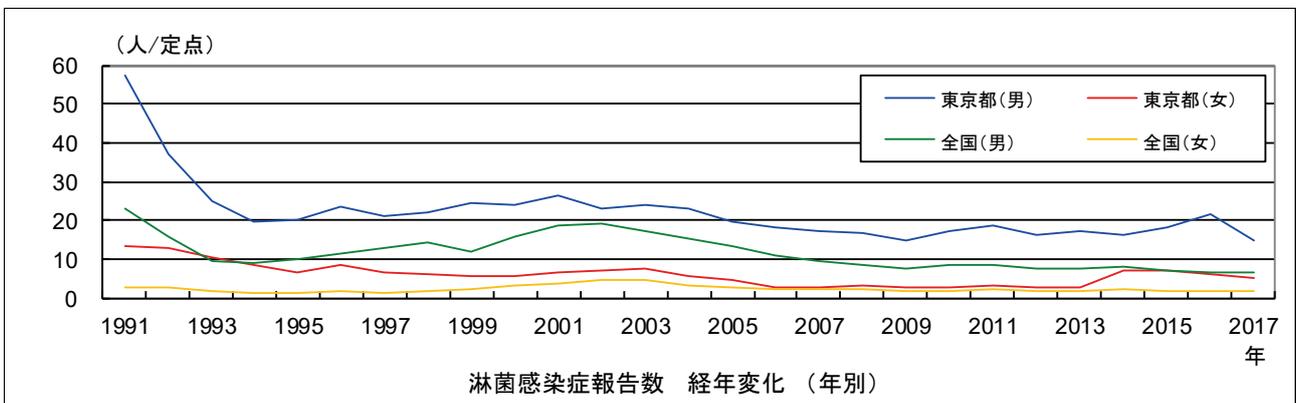
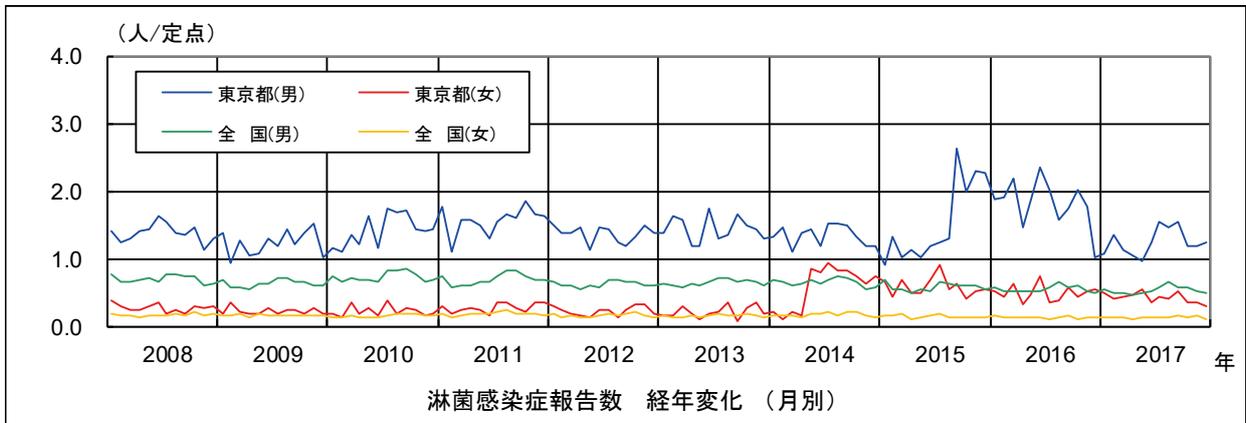
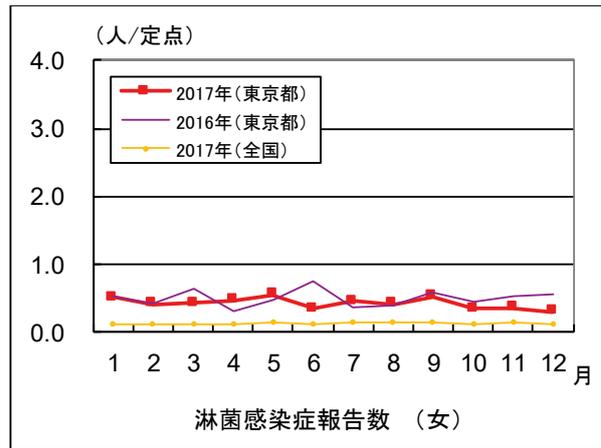
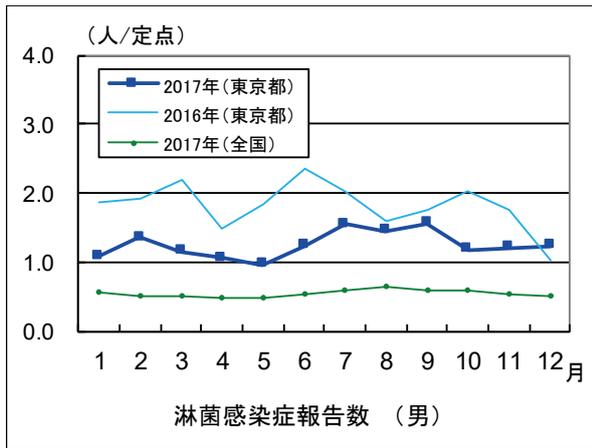


エ 淋菌感染症

2017年の報告数は1,109人、定点当たり20.2人であり、男性の報告数は825人、定点当たり15.02人（前年比0.69）、女性の報告数は284人、定点当たり5.17人（前年比0.86）であった。

月別定点当たり報告数は、男性は9月が1.56人で最多、5月が0.96人で最少であった。女性は5月が0.56人で最多、12月が0.31人で最少であった。保健所別では、男性は千代田区の46.0人、女性は台東の79.0人が最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は25～29歳の152人が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の69.6%を占めた。女性は20～24歳の66人が最多で、20歳代と30歳代が女性全体の69.7%を占めた。



オ 臙トリコモナス症

臙トリコモナス症は東京都が独自に実施している定点項目疾患である。2017年の報告数は110人、定点当たり2.0人であり、男性の報告数は2人、定点当たり0.04人（前年比0.50）、女性の報告数は108人、定点当たり1.97人（前年比0.96）であった。

男性は報告数が少なく明らかな傾向を判断するのは困難だったが、女性では、月別定点当たり患者報告数は10月が0.31人で最多、12月が0.04人で最少であった。保健所別では、台東の18.50人が最多であった。

年齢階級別報告数では女性で20～24歳が19人で最多だが、20歳代から40歳代までは各年齢階級別に10人以上の報告数があり、35歳以上の報告がない男性に比べて患者の傾向に幅が見られた。

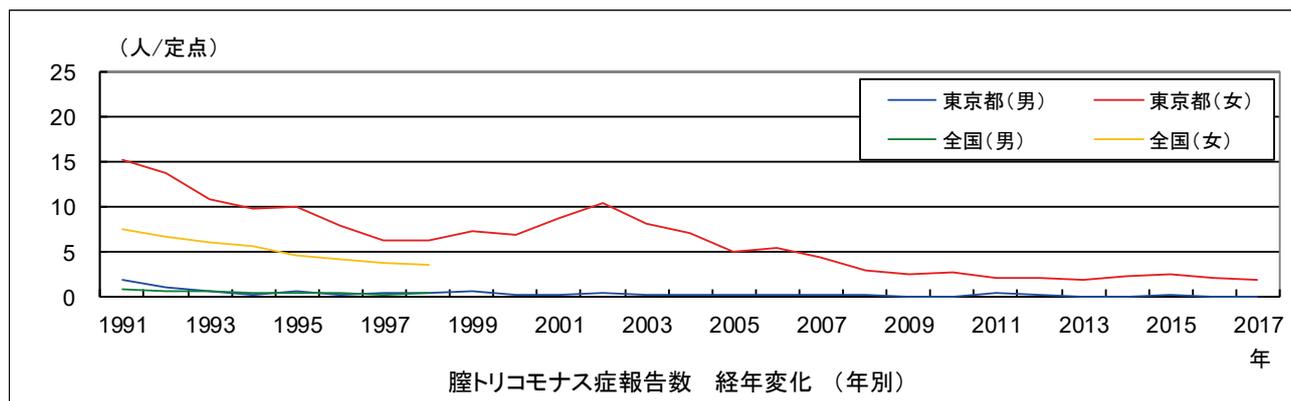
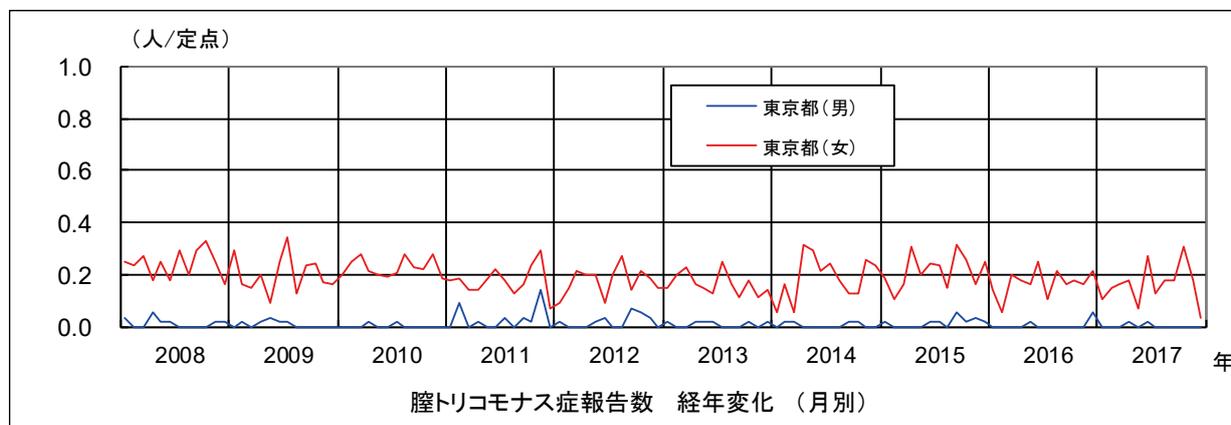
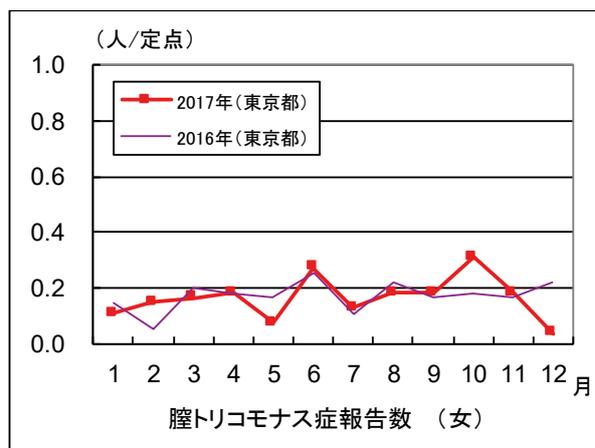
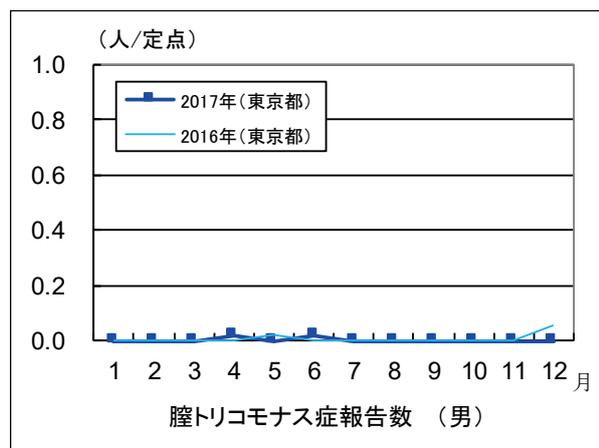


表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2017年第1週~第52週

週	期 間	報告定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	報告定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A球菌咽頭炎 Δ群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1	1. 2~ 1. 8	409	3,770	258	19	57	231	1,083	117	23	34	45	1	2	73
2	1. 9~ 1. 15	415	6,295	263	23	66	348	1,667	98	22	41	125		1	121
3	1. 16~ 1. 22	416	11,874	262	38	57	517	1,786	70	18	37	107	2	1	66
4	1. 23~ 1. 29	415	16,074	261	24	60	487	1,608	85	14	27	112	2	2	68
5	1. 30~ 2. 5	415	14,694	261	36	51	519	1,453	66	10	27	114	3	3	82
6	2. 6~ 2. 12	413	10,813	260	22	53	473	1,370	48	21	20	107	1		68
7	2. 13~ 2. 19	416	9,277	262	28	67	547	1,689	74	19	31	121	1	1	78
8	2. 20~ 2. 26	416	6,516	262	26	47	519	1,744	115	19	16	121	2	3	58
9	2. 27~ 3. 5	415	5,181	262	25	67	514	1,859	72	17	22	131	1	1	84
10	3. 6~ 3. 12	415	4,236	261	29	66	574	1,898	73	9	29	113	2	1	58
11	3. 13~ 3. 19	413	4,217	260	36	58	619	2,104	83	10	17	138	1	3	64
12	3. 20~ 3. 26	414	3,008	261	26	52	415	1,758	75	9	21	99		1	59
13	3. 27~ 4. 2	417	2,635	263	34	56	494	1,821	108	23	25	119	2	1	66
14	4. 3~ 4. 9	413	2,114	260	27	60	456	1,882	83	20	30	135	2	3	73
15	4. 10~ 4. 16	412	1,716	260	62	56	559	2,093	89	32	27	109	1	5	54
16	4. 17~ 4. 23	414	1,872	262	72	82	663	2,226	84	33	33	174	2	3	41
17	4. 24~ 4. 30	414	1,285	262	70	102	671	2,117	109	42	21	163	2	5	42
18	5. 1~ 5. 7	416	724	262	53	87	510	1,532	82	48	36	120		10	38
19	5. 8~ 5. 14	415	496	262	40	142	746	2,051	176	61	26	203		10	54
20	5. 15~ 5. 21	414	251	262	52	157	861	2,158	104	96	25	170	1	19	71
21	5. 22~ 5. 28	412	123	261	56	212	847	2,022	157	143	36	181	1	26	45
22	5. 29~ 6. 4	415	48	263	63	286	858	1,939	134	222	41	202	1	39	65
23	6. 5~ 6. 11	413	26	262	59	303	879	1,841	104	267	33	168	3	70	59
24	6. 12~ 6. 18	414	27	263	62	289	958	1,920	118	362	33	174	4	83	63
25	6. 19~ 6. 25	413	17	261	58	272	858	1,794	110	449	40	192	9	102	76
26	6. 26~ 7. 2	415	17	262	76	288	826	1,633	132	620	29	176		131	82
27	7. 3~ 7. 9	413	45	261	116	255	768	1,404	108	1,090	33	168	4	314	91
28	7. 10~ 7. 16	386	31	257	178	266	653	1,432	87	1,764	22	164	4	412	87
29	7. 17~ 7. 23	414	38	261	223	245	484	1,080	74	2,301	25	156	4	516	86
30	7. 24~ 7. 30	417	60	263	405	295	455	1,089	75	2,853	24	158	2	669	69
31	7. 31~ 8. 6	411	95	259	583	244	402	1,020	64	3,066	17	143	1	653	46
32	8. 7~ 8. 13	383	36	243	482	163	229	780	59	2,666	17	102	3	485	46
33	8. 14~ 8. 20	379	29	227	460	130	203	644	50	1,829	10	93	1	296	32
34	8. 21~ 8. 27	402	40	249	626	137	240	796	54	2,347	21	115	4	467	38
35	8. 28~ 9. 3	413	58	259	822	121	278	872	34	2,168	15	137		441	46
36	9. 4~ 9. 10	414	71	259	786	114	359	907	51	1,560	17	155	3	340	56
37	9. 11~ 9. 17	410	88	258	659	114	410	931	50	1,707	25	137	3	328	43
38	9. 18~ 9. 24	413	67	261	441	88	318	710	43	1,075	8	124	1	219	38
39	9. 25~10. 1	415	79	261	381	111	419	856	61	1,026	16	139	2	268	44
40	10. 2~10. 8	412	56	262	279	87	463	895	46	872	11	126	1	198	41
41	10. 9~10. 15	417	68	262	197	100	393	755	69	656	21	127	3	105	37
42	10. 16~10. 22	415	99	263	132	89	524	1,015	100	623	16	119	3	146	52
43	10. 23~10. 29	415	142	261	131	124	648	1,058	85	697	21	121	2	119	40
44	10. 30~11. 5	416	234	262	117	122	610	1,174	123	474	18	135	5	86	35
45	11. 6~11. 12	418	226	263	85	165	696	1,384	157	369	27	138	1	72	48
46	11. 13~11. 19	415	360	261	82	172	779	1,787	167	301	19	136	4	47	48
47	11. 20~11. 26	417	775	262	69	176	831	2,063	176	301	29	129	3	38	36
48	11. 27~12. 3	418	1,323	263	76	203	935	2,771	186	209	38	148	3	31	30
49	12. 4~12. 10	416	2,189	262	105	186	979	3,302	176	184	23	132	4	10	31
50	12. 11~12. 17	416	3,756	262	88	197	1,064	3,374	205	153	30	130	2	14	31
51	12. 18~12. 24	415	5,821	262	103	184	974	3,324	145	97	33	115	2	10	16
52	12. 25~12. 31	387	6,721	240	96	141	601	2,510	124	59	18	90	4	2	28
合 計			129,813		8,838	7,322	30,664	84,981	5,135	33,056	1,311	7,056	113	6,812	2,903

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2017年第1週～第52週

週	期 間	報告定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	報告定点数(基幹)		
													インフルエンザ入院	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	
1	1. 2～ 1. 8	258	5	3	38		15	25		1	13			25	61
2	1. 9～ 1.15	263	21	3	39		14	25			6	3	1	25	56
3	1.16～ 1.22	262	14	4	39		19	25			10		2	25	70
4	1.23～ 1.29	261	12	4	39		12	25			8	4	4	25	83
5	1.30～ 2. 5	261	7	3	39		9	25	4		9	5	4	25	104
6	2. 6～ 2.12	260	12	3	38	1	7	25	1		7		5	25	96
7	2.13～ 2.19	262	8	3	39		10	25	1	1	7		7	25	83
8	2.20～ 2.26	262	12	1	39		6	25	1		6		14	25	32
9	2.27～ 3. 5	262	8	6	39		12	25			5	1	12	25	21
10	3. 6～ 3.12	261	10	6	39	1	8	25		1	3		21	25	25
11	3.13～ 3.19	260	15	7	39	1	12	25			8	1	16	25	21
12	3.20～ 3.26	261	13	3	39		15	25	1	2	5	1	34	25	16
13	3.27～ 4. 2	263	20	9	39		11	25	1	2	6	1	13	25	14
14	4. 3～ 4. 9	260	13	1	39		15	25	1		2	1	16	25	9
15	4.10～ 4.16	260	9	2	39		15	25		1	1	3	10	25	6
16	4.17～ 4.23	262	16	4	39		23	25	1	2	3	2	16	25	9
17	4.24～ 4.30	262	11	3	39		18	25		1	3		6	25	6
18	5. 1～ 5. 7	262	13	1	39		26	25	1	1	1		7	25	7
19	5. 8～ 5.14	262	19	2	39		36	25	2		2		13	25	5
20	5.15～ 5.21	262	21	2	39		38	25			2	1	6	25	0
21	5.22～ 5.28	261	18	5	39	1	31	25		1	2		7	25	1
22	5.29～ 6. 4	263	38	6	39		34	25	1	1	3	1	3	25	0
23	6. 5～ 6.11	262	14	1	39		44	25		1		2	5	25	0
24	6.12～ 6.18	263	20	1	39		23	25			4	1	5	25	0
25	6.19～ 6.25	261	26	3	39		22	25			5	1	1	25	0
26	6.26～ 7. 2	262	40	4	39		31	25	2	2	1	2		25	0
27	7. 3～ 7. 9	261	39	4	39		30	25	2		6	1		25	0
28	7.10～ 7.16	257	42	3	39	1	28	25		1	4		1	25	0
29	7.17～ 7.23	261	37	1	39	1	31	25	2		2			25	2
30	7.24～ 7.30	263	42	3	39		25	25		1	3			25	2
31	7.31～ 8. 6	259	42	4	39		32	25	2	4	2			25	2
32	8. 7～ 8.13	243	16	4	38		37	25	1					25	4
33	8.14～ 8.20	227	23	2	36	1	20	25	2		3		2	25	1
34	8.21～ 8.27	249	30	6	38	2	32	25	1	3	10			25	7
35	8.28～ 9. 3	259	29	3	38		30	25	1		6	2	1	25	1
36	9. 4～ 9.10	259	20	6	38	1	33	25		1	2			25	0
37	9.11～ 9.17	258	36	5	39		19	25	1	1	1	1		25	2
38	9.18～ 9.24	261	25	3	38		15	25	1		4			25	3
39	9.25～10. 1	261	36	3	39		36	25		6	6			25	3
40	10. 2～10. 8	262	32	4	38		19	25	2		1	2		25	0
41	10. 9～10.15	262	28	8	39		18	25		1	9			25	0
42	10.16～10.22	263	27	4	39		22	25	2	1	6	1		25	0
43	10.23～10.29	261	33	3	39		28	25	1	1	6			25	0
44	10.30～11. 5	262	16	4	39		25	25	1	1	8	1		25	2
45	11. 6～11.12	263	22	5	39		26	25	1		11	1		25	1
46	11.13～11.19	261	14	3	39	1	31	25			5	2		25	1
47	11.20～11.26	262	18	7	38		36	25			3	1	2	25	15
48	11.27～12. 3	263	9	6	39		29	25	1		4	1		25	6
49	12. 4～12.10	262	25	5	39		31	25			1	1		25	12
50	12.11～12.17	262	14	4	39	1	27	25			4		1	25	21
51	12.18～12.24	262	10	9	39		32	25	1		2			25	41
52	12.25～12.31	240	21	6	37		21	25	2	1	6	2		25	51
合 計			1,101	205		12	1,219		41	39	237	46	235		902

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2017年第1週~第52週

週	期 間	報告 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報告 定点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 2~ 1. 8	409	9.22	258	0.07	0.22	0.90	4.20	0.45	0.09	0.13	0.17	0.00	0.01	0.28
2	1. 9~ 1.15	415	15.17	263	0.09	0.25	1.32	6.34	0.37	0.08	0.16	0.48		0.00	0.46
3	1.16~ 1.22	416	28.54	262	0.15	0.22	1.97	6.82	0.27	0.07	0.14	0.41	0.01	0.00	0.25
4	1.23~ 1.29	415	38.73	261	0.09	0.23	1.87	6.16	0.33	0.05	0.10	0.43	0.01	0.01	0.26
5	1.30~ 2. 5	415	35.41	261	0.14	0.20	1.99	5.57	0.25	0.04	0.10	0.44	0.01	0.01	0.31
6	2. 6~ 2.12	413	26.18	260	0.08	0.20	1.82	5.27	0.18	0.08	0.08	0.41	0.00		0.26
7	2.13~ 2.19	416	22.30	262	0.11	0.26	2.09	6.45	0.28	0.07	0.12	0.46	0.00	0.00	0.30
8	2.20~ 2.26	416	15.66	262	0.10	0.18	1.98	6.66	0.44	0.07	0.06	0.46	0.01	0.01	0.22
9	2.27~ 3. 5	415	12.48	262	0.10	0.26	1.96	7.10	0.27	0.06	0.08	0.50	0.00	0.00	0.32
10	3. 6~ 3.12	415	10.21	261	0.11	0.25	2.20	7.27	0.28	0.03	0.11	0.43	0.01	0.00	0.22
11	3.13~ 3.19	413	10.21	260	0.14	0.22	2.38	8.09	0.32	0.04	0.07	0.53	0.00	0.01	0.25
12	3.20~ 3.26	414	7.27	261	0.10	0.20	1.59	6.74	0.29	0.03	0.08	0.38		0.00	0.23
13	3.27~ 4. 2	417	6.32	263	0.13	0.21	1.88	6.92	0.41	0.09	0.10	0.45	0.01	0.00	0.25
14	4. 3~ 4. 9	413	5.12	260	0.10	0.23	1.75	7.24	0.32	0.08	0.12	0.52	0.01	0.01	0.28
15	4.10~ 4.16	412	4.17	260	0.24	0.22	2.15	8.05	0.34	0.12	0.10	0.42	0.00	0.02	0.21
16	4.17~ 4.23	414	4.52	262	0.27	0.31	2.53	8.50	0.32	0.13	0.13	0.66	0.01	0.01	0.16
17	4.24~ 4.30	414	3.10	262	0.27	0.39	2.56	8.08	0.42	0.16	0.08	0.62	0.01	0.02	0.16
18	5. 1~ 5. 7	416	1.74	262	0.20	0.33	1.95	5.85	0.31	0.18	0.14	0.46		0.04	0.15
19	5. 8~ 5.14	415	1.20	262	0.15	0.54	2.85	7.83	0.67	0.23	0.10	0.77		0.04	0.21
20	5.15~ 5.21	414	0.61	262	0.20	0.60	3.29	8.24	0.40	0.37	0.10	0.65	0.00	0.07	0.27
21	5.22~ 5.28	412	0.30	261	0.21	0.81	3.25	7.75	0.60	0.55	0.14	0.69	0.00	0.10	0.17
22	5.29~ 6. 4	415	0.12	263	0.24	1.09	3.26	7.37	0.51	0.84	0.16	0.77	0.00	0.15	0.25
23	6. 5~ 6.11	413	0.06	262	0.23	1.16	3.35	7.03	0.40	1.02	0.13	0.64	0.01	0.27	0.23
24	6.12~ 6.18	414	0.07	263	0.24	1.10	3.64	7.30	0.45	1.38	0.13	0.66	0.02	0.32	0.24
25	6.19~ 6.25	413	0.04	261	0.22	1.04	3.29	6.87	0.42	1.72	0.15	0.74	0.03	0.39	0.29
26	6.26~ 7. 2	415	0.04	262	0.29	1.10	3.15	6.23	0.50	2.37	0.11	0.67		0.50	0.31
27	7. 3~ 7. 9	413	0.11	261	0.44	0.98	2.94	5.38	0.41	4.18	0.13	0.64	0.02	1.20	0.35
28	7.10~ 7.16	386	0.08	257	0.69	1.04	2.54	5.57	0.34	6.86	0.09	0.64	0.02	1.60	0.34
29	7.17~ 7.23	414	0.09	261	0.85	0.94	1.85	4.14	0.28	8.82	0.10	0.60	0.02	1.98	0.33
30	7.24~ 7.30	417	0.14	263	1.54	1.12	1.73	4.14	0.29	10.85	0.09	0.60	0.01	2.54	0.26
31	7.31~ 8. 6	411	0.23	259	2.25	0.94	1.55	3.94	0.25	11.84	0.07	0.55	0.00	2.52	0.18
32	8. 7~ 8.13	383	0.09	243	1.98	0.67	0.94	3.21	0.24	10.97	0.07	0.42	0.01	2.00	0.19
33	8.14~ 8.20	379	0.08	227	2.03	0.57	0.89	2.84	0.22	8.06	0.04	0.41	0.00	1.30	0.14
34	8.21~ 8.27	402	0.10	249	2.51	0.55	0.96	3.20	0.22	9.43	0.08	0.46	0.02	1.88	0.15
35	8.28~ 9. 3	413	0.14	259	3.17	0.47	1.07	3.37	0.13	8.37	0.06	0.53		1.70	0.18
36	9. 4~ 9.10	414	0.17	259	3.03	0.44	1.39	3.50	0.20	6.02	0.07	0.60	0.01	1.31	0.22
37	9.11~ 9.17	410	0.21	258	2.55	0.44	1.59	3.61	0.19	6.62	0.10	0.53	0.01	1.27	0.17
38	9.18~ 9.24	413	0.16	261	1.69	0.34	1.22	2.72	0.16	4.12	0.03	0.48	0.00	0.84	0.15
39	9.25~10. 1	415	0.19	261	1.46	0.43	1.61	3.28	0.23	3.93	0.06	0.53	0.01	1.03	0.17
40	10. 2~10. 8	412	0.14	262	1.06	0.33	1.77	3.42	0.18	3.33	0.04	0.48	0.00	0.76	0.16
41	10. 9~10.15	417	0.16	262	0.75	0.38	1.50	2.88	0.26	2.50	0.08	0.48	0.01	0.40	0.14
42	10.16~10.22	415	0.24	263	0.50	0.34	1.99	3.86	0.38	2.37	0.06	0.45	0.01	0.56	0.20
43	10.23~10.29	415	0.34	261	0.50	0.48	2.48	4.05	0.33	2.67	0.08	0.46	0.01	0.46	0.15
44	10.30~11. 5	416	0.56	262	0.45	0.47	2.33	4.48	0.47	1.81	0.07	0.52	0.02	0.33	0.13
45	11. 6~11.12	418	0.54	263	0.32	0.63	2.65	5.26	0.60	1.40	0.10	0.52	0.00	0.27	0.18
46	11.13~11.19	415	0.87	261	0.31	0.66	2.98	6.85	0.64	1.15	0.07	0.52	0.02	0.18	0.18
47	11.20~11.26	417	1.86	262	0.26	0.67	3.17	7.87	0.67	1.15	0.11	0.49	0.01	0.15	0.14
48	11.27~12. 3	418	3.17	263	0.29	0.77	3.56	10.54	0.71	0.79	0.14	0.56	0.01	0.12	0.11
49	12. 4~12.10	416	5.26	262	0.40	0.71	3.74	12.60	0.67	0.70	0.09	0.50	0.02	0.04	0.12
50	12.11~12.17	416	9.03	262	0.34	0.75	4.06	12.88	0.78	0.58	0.11	0.50	0.01	0.05	0.12
51	12.18~12.24	415	14.03	262	0.39	0.70	3.72	12.69	0.55	0.37	0.13	0.44	0.01	0.04	0.06
52	12.25~12.31	387	17.37	240	0.40	0.59	2.50	10.46	0.52	0.25	0.08	0.38	0.02	0.01	0.12
	平 均		6.04		0.66	0.54	2.26	6.28	0.38	2.48	0.10	0.52	0.01	0.51	0.21

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2017年第1週~第52週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明 発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性 結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院
1	1. 2~ 1. 8	258	0.02	0.01	38		0.39	25		0.04	0.52			25	2.44
2	1. 9~ 1.15	263	0.08	0.01	39		0.36	25			0.24	0.12	0.04	25	2.24
3	1.16~ 1.22	262	0.05	0.02	39		0.49	25			0.40		0.08	25	2.80
4	1.23~ 1.29	261	0.05	0.02	39		0.31	25			0.32	0.16	0.16	25	3.32
5	1.30~ 2. 5	261	0.03	0.01	39		0.23	25	0.16		0.36	0.20	0.16	25	4.16
6	2. 6~ 2.12	260	0.05	0.01	38	0.03	0.18	25	0.04		0.28		0.20	25	3.84
7	2.13~ 2.19	262	0.03	0.01	39		0.26	25	0.04	0.04	0.28		0.28	25	3.32
8	2.20~ 2.26	262	0.05	0.00	39		0.15	25	0.04		0.24		0.56	25	1.28
9	2.27~ 3. 5	262	0.03	0.02	39		0.31	25			0.20	0.04	0.48	25	0.84
10	3. 6~ 3.12	261	0.04	0.02	39	0.03	0.21	25		0.04	0.12		0.84	25	1.00
11	3.13~ 3.19	260	0.06	0.03	39	0.03	0.31	25			0.32	0.04	0.64	25	0.84
12	3.20~ 3.26	261	0.05	0.01	39		0.38	25	0.04	0.08	0.20	0.04	1.36	25	0.64
13	3.27~ 4. 2	263	0.08	0.03	39		0.28	25	0.04	0.08	0.24	0.04	0.52	25	0.56
14	4. 3~ 4. 9	260	0.05	0.00	39		0.38	25	0.04		0.08	0.04	0.64	25	0.36
15	4.10~ 4.16	260	0.03	0.01	39		0.38	25		0.04	0.04	0.12	0.40	25	0.24
16	4.17~ 4.23	262	0.06	0.02	39		0.59	25	0.04	0.08	0.12	0.08	0.64	25	0.36
17	4.24~ 4.30	262	0.04	0.01	39		0.46	25		0.04	0.12		0.24	25	0.24
18	5. 1~ 5. 7	262	0.05	0.00	39		0.67	25	0.04	0.04	0.04		0.28	25	0.28
19	5. 8~ 5.14	262	0.07	0.01	39		0.92	25	0.08		0.08		0.52	25	0.20
20	5.15~ 5.21	262	0.08	0.01	39		0.97	25			0.08	0.04	0.24	25	
21	5.22~ 5.28	261	0.07	0.02	39	0.03	0.79	25		0.04	0.08		0.28	25	0.04
22	5.29~ 6. 4	263	0.14	0.02	39		0.87	25	0.04	0.04	0.12	0.04	0.12	25	
23	6. 5~ 6.11	262	0.05	0.00	39		1.13	25		0.04		0.08	0.20	25	
24	6.12~ 6.18	263	0.08	0.00	39		0.59	25			0.16	0.04	0.20	25	
25	6.19~ 6.25	261	0.10	0.01	39		0.56	25			0.20	0.04	0.04	25	
26	6.26~ 7. 2	262	0.15	0.02	39		0.79	25	0.08	0.08	0.04	0.08		25	
27	7. 3~ 7. 9	261	0.15	0.02	39		0.77	25	0.08		0.24	0.04		25	
28	7.10~ 7.16	257	0.16	0.01	39	0.03	0.72	25		0.04	0.16		0.04	25	
29	7.17~ 7.23	261	0.14	0.00	39	0.03	0.79	25	0.08		0.08			25	0.08
30	7.24~ 7.30	263	0.16	0.01	39		0.64	25		0.04	0.12			25	0.08
31	7.31~ 8. 6	259	0.16	0.02	39		0.82	25	0.08	0.16	0.08			25	0.08
32	8. 7~ 8.13	243	0.07	0.02	38		0.97	25	0.04					25	0.16
33	8.14~ 8.20	227	0.10	0.01	36	0.03	0.56	25	0.08		0.12		0.08	25	0.04
34	8.21~ 8.27	249	0.12	0.02	38	0.05	0.84	25	0.04	0.12	0.40			25	0.28
35	8.28~ 9. 3	259	0.11	0.01	38		0.79	25	0.04		0.24	0.08	0.04	25	0.04
36	9. 4~ 9.10	259	0.08	0.02	38	0.03	0.87	25		0.04	0.08			25	
37	9.11~ 9.17	258	0.14	0.02	39		0.49	25	0.04	0.04	0.04	0.04		25	0.08
38	9.18~ 9.24	261	0.10	0.01	38		0.39	25	0.04		0.16			25	0.12
39	9.25~10. 1	261	0.14	0.01	39		0.92	25		0.24	0.24			25	0.12
40	10. 2~10. 8	262	0.12	0.02	38		0.50	25	0.08		0.04	0.08		25	
41	10. 9~10.15	262	0.11	0.03	39		0.46	25		0.04	0.36			25	
42	10.16~10.22	263	0.10	0.02	39		0.56	25	0.08	0.04	0.24	0.04		25	
43	10.23~10.29	261	0.13	0.01	39		0.72	25	0.04	0.04	0.24			25	
44	10.30~11. 5	262	0.06	0.02	39		0.64	25	0.04	0.04	0.32	0.04		25	0.08
45	11. 6~11.12	263	0.08	0.02	39		0.67	25	0.04		0.44	0.04		25	0.04
46	11.13~11.19	261	0.05	0.01	39	0.03	0.79	25			0.20	0.08		25	0.04
47	11.20~11.26	262	0.07	0.03	38		0.95	25			0.12	0.04	0.08	25	0.60
48	11.27~12. 3	263	0.03	0.02	39		0.74	25	0.04		0.16	0.04		25	0.24
49	12. 4~12.10	262	0.10	0.02	39		0.79	25			0.04	0.04		25	0.48
50	12.11~12.17	262	0.05	0.02	39	0.03	0.69	25			0.16		0.04	25	0.84
51	12.18~12.24	262	0.04	0.03	39		0.82	25	0.04		0.08			25	1.64
52	12.25~12.31	240	0.09	0.03	37		0.57	25	0.08	0.04	0.24	0.08		25	2.04
平 均			0.08	0.02		0.01	0.61		0.03	0.03	0.18	0.04	0.18		0.69

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2017年第1週~第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	4	788	3	45	14	48	340	13	92	1	19		24
中央区	5	1,416	3	75	57	263	1,750	66	716	9	124		104
みなの	9	2,499	6	260	283	496	1,547	151	785	36	168	5	148
新宿区	12	2,240	8	576	223	925	2,331	94	581	29	173	3	177
文京	7	1,757	4	68	135	349	944	116	505	10	127	1	76
台東	7	1,374	4	197	210	562	1,982	71	856	11	194	1	167
墨田区	8	2,285	5	243	65	250	1,009	52	689	2	131		87
江東区	14	4,639	9	318	153	1,005	4,505	116	1,150	19	261	1	155
品川区	12	2,279	8	237	131	594	2,319	151	858	30	200	2	175
目黒区	8	1,844	5	302	78	451	1,885	162	792	109	128	8	156
大田区	21	5,232	13	573	551	2,101	5,654	180	1,552	78	342	15	385
世田谷	25	8,980	16	654	361	2,506	4,386	363	1,979	107	295	2	554
渋谷区	7	1,142	4	37	31	140	954	94	458	47	94		79
中野区	11	3,692	7	242	230	734	2,546	181	1,077	79	228		190
杉並	16	4,519	10	213	253	537	2,677	171	973	111	207	3	154
池袋	8	1,653	5	190	87	130	617	28	268	1	29	2	54
北区	11	2,898	7	123	120	423	1,633	99	828	7	284		91
荒川区	7	2,989	4	378	276	603	1,391	80	542	7	174	1	184
板橋区	16	3,365	10	63	53	495	1,688	116	836	23	191	7	139
練馬区	21	5,874	13	299	319	2,517	3,503	362	1,782	20	340	19	318
足立	20	6,474	13	395	415	881	4,505	169	1,277	33	326		383
葛飾区	13	4,578	8	76	60	621	2,815	159	1,041	27	214	1	291
江戸川	19	5,744	12	313	461	1,965	4,596	173	1,327	138	304	15	462
八王子市	18	7,400	11	622	400	1,847	6,035	311	2,069	71	318	3	368
町田市	13	5,394	8	113	101	1,328	4,394	203	1,104	46	221	1	243
西多摩	14	4,609	8	109	139	398	1,729	145	782	10	112	3	130
南多摩	14	5,103	9	414	285	994	2,787	234	1,104	40	249		265
多摩立川	21	6,918	14	323	96	1,838	3,469	227	1,562	55	290	2	239
多摩府中	33	12,715	21	621	619	2,227	5,658	460	2,404	116	621	14	604
多摩小平	23	8,755	15	754	1,111	3,316	5,329	384	3,037	39	690	4	406
島しょ	2	658	1	5	5	120	3	4	30		2		4
合計	419	129,813	264	8,838	7,322	30,664	84,981	5,135	33,056	1,311	7,056	113	6,812
定点当たり報告数		314.14		34.47	28.21	117.71	326.63	19.73	129.10	5.04	27.13	0.44	26.54
前年定点当たり報告数		302.31		27.06	19.38	120.13	423.72	21.34	26.97	9.57	27.87	0.70	50.69
当年/前年		1.04		1.27	1.46	0.98	0.77	0.92	4.79	0.53	0.97	0.63	0.52

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2017年第1週~第52週

	小児科				眼科			基幹						
	設置定点数	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	8	11	6				2			13		1	29
中央区	3	28	56	5	1		68							
みなと	6	84	12	10				1	1	2	18	7		36
新宿区	8	39	43	53	2		40	2	2	5	24		19	50
文京	4	32	4	1	1		47	1						42
台東	4	32	24	1										
墨田区	5	16	25	5	1	1	33	1	7		14			47
江東区	9	67	51	6	1		29							
品川区	8	64	21	2	1		11							
目黒区	5	45	16	1	1		1							
大田区	13	113	84	20	2	1	69	1	1					
世田谷	16	251	101	7	2	4	31	2	13	14	6		19	139
渋谷区	4	11	4		1		70	1	1		18		43	28
中野区	7	96	8	6	1	1	24							
杉並	10	64	38	7	1		36	2	1		12		5	32
池袋	5	14	2	3	1		34	1		24		8	27	
北区	7	25	15	3	1		23							
荒川区	4	36	3	3	1		45							
板橋区	10	88	59	1	2	3	41	1	1		13		19	27
練馬区	13	278	29	4	2		52							
足立	13	89	19		2		124							
葛飾区	8	21	59	3	1		61	1		6	10	6	49	92
江戸川	12	124	37	11	2	1	56							
八王子市	11	271	99	7	2		66	1						59
町田市	8	270	27	1	1									
西多摩	8	49	2	2	1		3	1		3				4
南多摩	9	124	6	8	1		6							
多摩立川	14	158	24	1	2		15	1		8			10	25
多摩府中	21	245	127	23	3	1	104	3	11	12	50	24	38	176
多摩小平	15	159	95	5	2		130	2	3		24	1	5	113
島しょ	1	2						1						3
合計	264	2,903	1,101	205	39	12	1,219	25	41	39	237	46	235	902
定点当たり報告数		11.16	4.25	0.79		0.31	31.48		1.64	1.56	9.48	1.84	9.40	36.08
前年定点当たり報告数		32.88	3.79	0.80		0.28	31.03		1.32	3.08	41.88	2.00	4.32	25.96
当年/前年		0.34	1.12	0.99		1.10	1.01		1.24	0.51	0.23	0.92	2.18	1.39

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2017年第1週~第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	4	197.00	3	15.00	4.67	16.00	113.33	4.33	30.67	0.33	6.33		8.00
中央区	5	283.33	3	29.83	19.67	88.67	588.83	22.17	256.00	3.00	42.33		37.33
みなと	9	279.92	6	43.33	47.25	83.50	260.33	25.33	131.00	6.00	28.25	0.83	24.67
新宿区	12	188.25	8	73.32	28.23	116.13	293.41	11.80	74.04	3.64	21.82	0.38	22.36
文京	7	253.21	4	16.90	33.90	87.37	236.13	28.90	126.20	2.50	31.68	0.25	19.00
台東	7	196.45	4	49.25	52.75	141.42	499.50	18.08	214.08	2.75	48.75	0.25	41.75
墨田区	8	285.63	5	48.60	13.00	50.00	201.80	10.40	137.80	0.40	26.20		17.40
江東区	14	331.06	9	37.58	17.21	112.52	504.30	12.88	136.83	2.11	29.39	0.11	18.00
品川区	12	189.98	8	29.91	16.50	74.38	290.59	18.93	109.34	3.79	25.16	0.25	22.34
目黒区	8	230.50	5	60.40	15.60	90.20	377.00	32.40	158.40	21.80	25.60	1.60	31.20
大田区	21	271.21	13	46.03	43.57	165.99	447.15	14.35	123.83	6.12	27.04	1.19	31.39
世田谷	25	368.32	16	43.04	23.14	158.24	280.75	22.99	127.81	6.76	18.98	0.13	35.76
渋谷区	7	163.93	4	9.25	7.75	35.00	238.50	23.50	114.50	11.75	23.50		19.75
中野区	11	369.20	7	40.33	38.33	122.33	424.33	30.17	179.50	13.17	38.00		31.67
杉並	16	268.80	10	20.32	23.71	49.60	248.98	15.85	91.93	10.37	19.28	0.28	14.47
池袋	8	238.50	5	47.50	21.83	32.67	154.92	7.00	67.50	0.25	7.33	0.50	14.00
北区	11	266.39	7	18.65	17.71	62.11	239.71	14.19	121.51	1.02	41.30		13.47
荒川区	7	427.00	4	96.50	69.25	151.50	350.00	20.00	139.00	1.75	44.25	0.25	47.50
板橋区	16	210.31	10	6.30	5.30	49.50	168.80	11.60	83.60	2.30	19.10	0.70	13.90
練馬区	21	279.71	13	23.38	24.76	193.99	269.78	27.98	138.91	1.54	26.28	1.46	24.68
足立	20	325.63	13	31.77	32.31	68.03	349.97	13.18	101.85	2.54	25.45		30.29
葛飾区	13	352.15	8	9.50	7.50	77.63	351.88	19.88	130.13	3.38	26.75	0.13	36.38
江戸川	19	315.22	12	27.17	39.96	169.97	396.55	14.85	118.05	11.98	26.26	1.33	41.51
八王子市	18	411.11	11	57.49	36.51	168.17	549.63	28.33	190.41	6.47	29.01	0.27	34.02
町田市	13	417.40	8	14.13	12.63	166.00	549.25	25.38	138.00	5.75	27.63	0.13	30.38
西多摩	14	330.69	8	13.66	17.45	49.98	217.00	18.18	98.64	1.25	14.00	0.38	16.27
南多摩	14	364.50	9	46.00	31.67	110.44	309.67	26.00	122.67	4.44	27.67		29.44
多摩立川	21	329.43	14	23.14	6.86	131.35	247.96	16.23	112.27	3.93	20.74	0.15	17.24
多摩府中	33	389.74	21	32.27	30.92	109.71	278.87	22.59	125.92	5.72	30.82	0.70	31.55
多摩小平	23	385.17	15	51.45	74.97	222.53	359.28	25.92	206.72	2.64	46.39	0.27	27.34
島しょ	2	329.00	1	5.00	5.00	120.00	3.00	4.00	30.00		2.00		4.00
定点当たり報告数		314.14		34.47	28.21	117.71	326.63	19.73	129.10	5.04	27.13	0.44	26.54
前年定点当たり報告数		302.31		27.06	19.38	120.13	423.72	21.34	26.97	9.57	27.87	0.70	50.69
当年/前年		1.04		1.27	1.46	0.98	0.77	0.92	4.79	0.53	0.97	0.63	0.52

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2017年第1週～第52週

	小児科				眼科			基幹						
	設置定点数	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	2.67	3.67	2.00				2			6.50		0.50	14.50
中央区	3	9.50	18.83	1.67	1		68.00							
みなと	6	14.00	2.00	1.67				1	1.00	2.00	18.00	7.00		36.00
新宿区	8	4.89	5.43	6.71	2		20.00	2	1.00	2.50	12.00		9.50	25.00
文京	4	8.00	1.00	0.25	1		47.00	1						42.00
台東	4	8.00	6.00	0.25										
墨田区	5	3.20	5.00	1.00	1	1.00	33.00	1	7.00		14.00			47.00
江東区	9	7.51	5.84	0.69	1		29.00							
品川区	8	8.00	2.63	0.25	1		11.00							
目黒区	5	9.00	3.20	0.20	1		1.00							
大田区	13	9.10	6.58	1.59	2	0.50	34.50	1	1.00					
世田谷	16	15.91	6.52	0.44	2	2.00	15.50	2	6.50	7.00	3.00		9.50	69.50
渋谷区	4	2.75	1.00		1		70.00	1	1.00		18.00		43.00	28.00
中野区	7	16.00	1.33	1.00	1	1.00	24.00							
杉並	10	5.85	3.53	0.65	1		36.00	2	0.50		6.00		2.50	16.00
池袋	5	3.50	0.50	0.75	1		34.00	1			24.00	8.00	27.00	
北区	7	3.57	2.14	0.43	1		23.00							
荒川区	4	9.00	0.75	0.75	1		45.00							
板橋区	10	8.80	5.90	0.10	2	1.50	20.50	1	1.00		13.00		19.00	27.00
練馬区	13	21.50	2.24	0.31	2		26.00							
足立	13	6.89	1.53		2		66.00							
葛飾区	8	2.63	7.38	0.38	1		61.00	1		6.00	10.00	6.00	49.00	92.00
江戸川	12	10.74	3.20	0.98	2	0.50	28.00							
八王子市	11	24.64	9.06	0.68	2		33.00	1						59.00
町田市	8	33.75	3.38	0.13	1									
西多摩	8	6.14	0.25	0.25	1		3.00	1			3.00			4.00
南多摩	9	13.78	0.67	0.89	1		6.00							
多摩立川	14	11.29	1.72	0.71	2		7.50	1			8.00		10.00	25.00
多摩府中	21	12.15	6.42	1.14	3	0.33	34.67	3	3.67	4.00	16.67	8.00	12.67	58.67
多摩小平	15	10.68	6.35	0.35	2		65.00	2	1.50		12.00	0.50	2.50	56.50
島しょ	1	2.00						1						3.00
定点当たり報告数		11.16	4.25	0.79		0.31	31.48		1.64	1.56	9.48	1.84	9.40	36.08
前年定点当たり報告数		32.88	3.79	0.80		0.28	31.03		1.32	3.08	41.88	2.00	4.32	25.96
当年/前年		0.34	1.12	0.99		1.10	1.01		1.24	0.51	0.23	0.92	2.18	1.39

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹) 2017年第1週～第52週

	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
6か月未満	267	929	35	18	735	33	260	1	88	2	48
12か月未満	1,075	1,987	507	202	5,635	139	3,430	42	2,061	3	710
1歳	4,132	3,533	1,806	1,317	12,777	318	11,327	106	3,818	12	2,077
2歳	4,660	1,498	1,097	1,938	9,096	280	6,739	88	720	7	1,379
3歳	5,897	554	1,054	3,144	8,060	376	3,839	142	199	5	820
4歳	7,648	219	961	4,113	7,648	576	2,694	228	85	3	653
5歳	7,936	51	666	4,107	6,527	670	1,719	240	41	4	437
6歳	8,555	24	393	3,775	5,119	703	947	155	23	6	220
7歳	8,770	9	223	3,029	4,224	671	493	105	7	7	107
8歳	7,934	9	150	2,271	3,616	452	343	73	10	5	89
9歳	6,817	2	108	1,750	2,870	347	203	47	1	7	76
10～14歳	22,326	6	127	3,094	7,474	463	420	57	2	11	106
15～19歳	7,139	1	20	301	1,793	45	68	2		3	16
20～29歳	6,488	16	175	1,605	9,407	62	574	25	1	38	74
30～39歳	8,526										
40～49歳	9,949										
50～59歳	5,541										
60～69歳	3,185										
70～79歳	1,866										
80歳以上	1,102										
合計	129,813	8,838	7,322	30,664	84,981	5,135	33,056	1,311	7,056	113	6,812

	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院
6か月未満		37	4		5	11	11		2	15	18
12か月未満	13	163	33		15	2	1	3		18	10
1歳	41	321	50		57	1	4	9		33	38
2歳	91	164	34		42			7		46	23
3歳	219	98	29		46		1	18		22	18
4歳	349	79	27		42			14		25	29
5歳	396	70	18	1	23	1	3	16		20	15
6歳	399	40	6		25		2	16		15	18
7歳	336	23			15			21		14	19
8歳	304	25	2		13	1	2	8		9	14
9歳	244	14			16	1		11		7	13
10～14歳	418	43	1		44	3	5	42		10	29
15～19歳	28	6	1	1	31		1	7	1		8
20～29歳	65	18		2	154		2	18	2		12
30～39歳					288	1	2	13	1		22
40～49歳				3	202	2	1	14	1		19
50～59歳				1	87	1	1	6	4		30
60～69歳				4	71	4		7	11		72
70～79歳					43	7	2	4	13		151
80歳以上						6		3	11	1	344
合計	2,903	1,101	205	12	1,219	41	39	237	46	235	902

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

注：眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2017年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
1 区中央部圏	32	7,834	20	645	699	1,718	6,563	417	2,954	67	632	7	519
2 区南部圏	33	7,511	21	810	682	2,695	7,973	331	2,410	108	542	17	560
3 区西南部圏	40	11,966	25	993	470	3,097	7,225	619	3,229	263	517	10	789
4 区西部圏	39	10,451	25	1031	706	2,196	7,554	446	2,631	219	608	6	521
5 区西北部圏	56	13,790	35	675	579	3,565	7,441	605	3,714	51	844	28	602
6 区東北部圏	40	14,041	25	849	751	2,105	8,711	408	2,860	67	714	2	858
7 区東部圏	41	12,668	26	874	679	3,220	10,110	341	3,166	159	696	16	704
8 西多摩圏	14	4,609	8	109	139	398	1,729	145	782	10	112	3	130
9 南多摩圏	45	17,897	28	1149	786	4,169	13,216	748	4,277	157	788	4	876
10 北多摩西部圏	21	6,918	14	323	96	1,838	3,469	227	1,562	55	290	2	239
11 北多摩南部圏	33	12,715	21	621	619	2,227	5,658	460	2,404	116	621	14	604
12 北多摩北部圏	23	8,755	15	754	1,111	3,316	5,329	384	3,037	39	690	4	406
13 島しょ圏	2	658	1	5	5	120	3	4	30		2		4
合計	419	129,813	264	8,838	7,322	30,664	84,981	5,135	33,056	1,311	7,056	113	6,812

	設置定点数 (小児科)	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	184	107	23	2		115	4	1	2	31	7	1	107
2 区南部圏	21	177	105	22	3	1	80	1	1					
3 区西南部圏	25	307	121	8	4	4	102	3	14	14	24		62	167
4 区西部圏	25	199	89	66	4	1	100	4	3	5	36		24	82
5 区西北部圏	35	405	105	11	6	3	150	2	1		37	8	46	27
6 区東北部圏	25	146	81	6	4		230	1		6	10	6	49	92
7 区東部圏	26	207	113	22	4	2	118	1	7		14			47
8 西多摩圏	8	49	2	2	1		3	1			3			4
9 南多摩圏	28	665	132	16	4		72	1						59
10 北多摩西部圏	14	158	24	1	2		15	1			8		10	25
11 北多摩南部圏	21	245	127	23	3	1	104	3	11	12	50	24	38	176
12 北多摩北部圏	15	159	95	5	2		130	2	3		24	1	5	113
13 島しょ圏	1	2						1						3
合計	264	2,903	1,101	205	39	12	1,219	25	41	39	237	46	235	902

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2017年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
1 区中央部圏	32	246.11	20	32.61	35.12	86.37	330.25	20.98	148.70	3.35	31.80	0.35	26.06
2 区南部圏	33	240.19	21	39.73	33.12	130.44	386.41	16.10	118.40	5.25	26.33	0.82	27.84
3 区西南部圏	40	303.52	25	41.13	19.08	124.75	293.28	24.92	132.27	10.62	21.08	0.43	32.24
4 区西部圏	39	270.16	25	42.22	28.62	88.72	305.52	18.02	107.49	8.84	24.58	0.24	21.20
5 区西北部圏	56	251.63	35	20.17	17.20	105.44	220.32	17.89	110.87	1.50	24.96	0.83	17.95
6 区東北部圏	40	352.01	25	34.77	30.19	84.48	350.31	16.46	116.61	2.68	28.81	0.08	34.96
7 区東部圏	41	314.25	26	35.17	26.68	126.12	395.47	13.31	127.45	6.30	27.29	0.63	28.37
8 西多摩圏	14	330.69	8	13.66	17.45	49.98	217.00	18.18	98.64	1.25	14.00	0.38	16.27
9 南多摩圏	45	398.82	28	41.27	28.12	148.98	472.47	26.73	153.65	5.62	28.19	0.14	31.50
10 北多摩西部圏	21	329.43	14	23.14	6.86	131.35	247.96	16.23	112.27	3.93	20.74	0.15	17.24
11 北多摩南部圏	33	389.74	21	32.27	30.92	109.71	278.87	22.59	125.92	5.72	30.82	0.70	31.55
12 北多摩北部圏	23	385.17	15	51.45	74.97	222.53	359.28	25.92	206.72	2.64	46.39	0.27	27.34
13 島しょ圏	2	329.00	1	5.00	5.00	120.00	3.00	4.00	30.00		2.00		4.00

	設置定点数 (小児科)	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	9.22	5.38	1.15	2		57.50	4	0.25	0.50	7.75	1.75	0.25	26.75
2 区南部圏	21	8.66	5.05	1.07	3	0.33	26.67	1	1.00					
3 区西南部圏	25	12.39	4.95	0.32	4	1.00	25.50	3	4.67	4.67	8.00		20.67	55.67
4 区西部圏	25	8.01	3.61	2.69	4	0.25	25.67	4	0.75	1.25	9.00		6.00	20.50
5 区西北部圏	35	12.00	3.12	0.33	6	0.57	25.43	2	0.50		18.50	4.00	23.00	13.50
6 区東北部圏	25	5.87	3.28	0.24	4		58.33	1		6.00	10.00	6.00	49.00	92.00
7 区東部圏	26	8.14	4.46	0.87	4	0.50	29.50	1	7.00		14.00			47.00
8 西多摩圏	8	6.14	0.25	0.25	1		3.00	1			3.00			4.00
9 南多摩圏	28	23.76	4.73	0.58	4		18.00	1						59.00
10 北多摩西部圏	14	11.29	1.72	0.07	2		7.50	1			8.00		10.00	25.00
11 北多摩南部圏	21	12.15	6.42	1.14	3	0.33	34.67	3	3.67	4.00	16.67	8.00	12.67	58.67
12 北多摩北部圏	15	10.68	6.35	0.35	2		65.00	2	1.50		12.00	0.50	2.50	56.50
13 島しょ圏	1	2.00						1						3.00

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2017年1月~12月

	報告定点数	黄色ブドウ球菌感染症 メチシリン耐性	肺炎球菌感染症 ペニシリン耐性	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	63	11	
2月	25	61	9	1
3月	25	56	8	
4月	25	84	10	
5月	25	74	9	
6月	25	78	8	
7月	25	75	10	
8月	25	89	12	
9月	25	76	6	
10月	25	84	5	1
11月	25	65	10	
12月	25	76	7	1
合計		881	105	3

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2017年1月~12月

	報告定点数	黄色ブドウ球菌感染症 メチシリン耐性	肺炎球菌感染症 ペニシリン耐性	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	2.52	0.44	
2月	25	2.44	0.36	0.04
3月	25	2.24	0.32	
4月	25	3.36	0.40	
5月	25	2.96	0.36	
6月	25	3.12	0.32	
7月	25	3.00	0.40	
8月	25	3.56	0.48	
9月	25	3.04	0.24	
10月	25	3.36	0.20	0.04
11月	25	2.60	0.40	
12月	25	3.04	0.28	0.04
平均		2.94	0.35	0.01
合計		35.24	4.20	0.12
前年合計		34.68	5.52	0.88
当年/前年		1.02	0.76	0.14

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2017年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	38	25	8	3		
2月	43	18	5	4	1	
3月	30	26	6	2		
4月	47	37	4	6		
5月	50	24	5	4		
6月	57	21	5	3		
7月	48	27	7	3		
8月	54	35	8	4		
9月	45	31	6			
10月	57	27	3	2	1	
11月	44	21	7	3		
12月	60	16	5	2		1
合計	573	308	69	36	2	1

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2017年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	75	35	5	1		
1~4歳	36	26	14	16		
5~9歳	23	13	4	5		
10~14歳	8	10	3	2		
15~19歳	14	2	5			
20~24歳	10	7	2			
25~29歳	10	2	1			
30~34歳	7	1		1		
35~39歳	6	8		2		
40~44歳	17	13	1		1	
45~49歳	25	4				
50~54歳	24	11	2			
55~59歳	21	13	2			
60~64歳	35	14	1	2		
65~69歳	27	25	6		1	
70歳以上	235	124	23	7		1
合計	573	308	69	36	2	1
定点当たり報告数	22.92	12.32	2.76	1.44	0.08	0.04
前年定点当たり報告数	20.76	13.92	3.24	2.28	0.64	0.24
当年/前年	1.10	0.89	0.85	0.63	0.13	0.17

表9-1 月別患者報告数(性感染症) 表9-2 月別定点あたり患者報告数(性感染症)
2017年1月~12月

報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膺トリコモナス症	
1月	55	167	104	100	88	6
2月	54	174	115	58	96	8
3月	55	175	98	89	87	9
4月	55	182	102	60	84	11
5月	55	195	136	103	84	4
6月	55	203	137	86	87	16
7月	55	207	107	100	110	7
8月	55	191	102	95	103	10
9月	55	229	109	78	115	10
10月	55	211	97	74	84	17
11月	55	175	81	90	86	10
12月	55	185	91	88	85	2
合計	2,294	1,279	1,021	1,109	110	

報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膺トリコモナス症	
1月	55	3.04	1.89	1.82	1.60	0.11
2月	54	3.22	2.13	1.07	1.78	0.15
3月	55	3.18	1.78	1.62	1.58	0.16
4月	55	3.31	1.85	1.09	1.53	0.20
5月	55	3.55	2.47	1.87	1.53	0.07
6月	55	3.69	2.49	1.56	1.58	0.29
7月	55	3.76	1.95	1.82	2.00	0.13
8月	55	3.47	1.85	1.73	1.87	0.18
9月	55	4.16	1.98	1.42	2.09	0.18
10月	55	3.84	1.76	1.35	1.53	0.31
11月	55	3.18	1.47	1.64	1.56	0.18
12月	55	3.36	1.65	1.60	1.55	0.04
平均		3.48	1.94	1.55	1.68	0.17
合計		41.77	23.29	18.58	20.20	2.00
前年合計		49.39	25.49	24.06	27.82	2.13
当年/前年		0.85	0.91	0.77	0.73	0.94

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2017年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	82	85	69	35	70	30	60	28		6
2月	54	95	79	84	31	38	20	73	23		8
3月	55	93	82	65	33	63	26	63	24		9
4月	55	108	74	81	21	48	12	58	26	1	10
5月	55	107	88	94	42	69	34	53	31		4
6月	55	113	90	101	36	55	31	68	19	1	15
7月	55	127	80	77	30	61	39	85	25		7
8月	55	108	83	73	29	70	25	80	23		10
9月	55	129	100	70	39	45	33	86	29		10
10月	55	126	85	71	26	54	20	65	19		17
11月	55	103	72	61	20	58	32	66	20		10
12月	55	109	76	65	26	61	27	68	17		2
合計		1,300	994	911	368	692	329	825	284	2	108

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2017年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	1.49	1.55	1.25	0.64	1.27	0.55	1.09	0.51		0.11
2月	54	1.76	1.46	1.56	0.57	0.70	0.37	1.35	0.43		0.15
3月	55	1.69	1.49	1.18	0.60	1.15	0.47	1.15	0.44		0.16
4月	55	1.96	1.35	1.47	0.38	0.87	0.22	1.05	0.47	0.02	0.18
5月	55	1.95	1.60	1.71	0.76	1.25	0.62	0.96	0.56		0.07
6月	55	2.05	1.64	1.84	0.65	1.00	0.56	1.24	0.35	0.02	0.27
7月	55	2.31	1.45	1.40	0.55	1.11	0.71	1.55	0.45		0.13
8月	55	1.96	1.51	1.33	0.53	1.27	0.45	1.45	0.42		0.18
9月	55	2.35	1.82	1.27	0.71	0.82	0.60	1.56	0.53		0.18
10月	55	2.29	1.55	1.29	0.47	0.98	0.36	1.18	0.35		0.31
11月	55	1.87	1.31	1.11	0.36	1.05	0.58	1.20	0.36		0.18
12月	55	1.98	1.38	1.18	0.47	1.11	0.49	1.24	0.31		0.04

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2017年1月～12月

	設置 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	170	8	26	3	60	4	92				348	15
中央区	3	84	13	41	6	12	3	27			3	164	25
みなと	2	114	34	406	48	78	9	52	1			650	92
新宿区	7	260	96	144	73	411	199	197	51		4	1,012	423
文京	1	39		19		8		15				81	
台東	2	8	113	1	11	3	25	17	158	1	37	30	344
墨田区	2	33	15	13	2	9	6	25	2		7	80	32
江東区	2	120	10	56	1	29		75	3		2	280	16
品川区	1	56	5	41	3	6		24	2			127	10
大田区	2	29	68				2	12	1		1	41	72
渋谷区	5	70	93	106	73	27	21	77	8		3	280	198
中野区	2	10	1			2		11	1		4	23	6
杉並	2	70	16	5	7	5	1	31	2			111	26
池袋	3	147	82	45	47	26	14	109	12	1	11	328	166
北区	1	9	1			5		5				19	1
荒川区	1		12		10		2		1		1		26
板橋区	2	29	40	3	19	5	3	27	4		3	64	69
足立	2	6	38		3		7	5	3		2	11	53
江戸川	2	35	65	4	4	5	5	22	13		13	66	100
八王子市	4		84		14		7		4		12		121
町田市	1		39		27		7						73
多摩立川	2	3	159		11		5		18		5	3	198
多摩府中	3	8			2	1	9	2				11	11
多摩小平	1		2	1	4							1	6
合 計	55	1,300	994	911	368	692	329	825	284	2	108	3,730	2,083
定点当たり報告数		23.67	18.10	16.59	6.70	12.59	5.99	15.02	5.17	0.04	1.97	67.92	37.93
前年定点当たり報告数		28.28	21.11	17.59	7.91	18.53	5.53	21.78	6.05	0.07	2.06	86.25	42.65
当年/前年		0.84	0.86	0.94	0.85	0.68	1.08	0.69	0.86	0.50	0.96	0.79	0.89

区中央部圏	10	415	168	493	68	161	41	203	159	1	40	1,273	476
区南部圏	3	85	73	41	3	6	2	36	3		1	168	82
区西南部圏	5	70	93	106	73	27	21	77	8		3	280	198
区西部圏	11	340	113	149	80	418	200	239	54		8	1,146	455
区西北部圏	6	185	123	48	66	36	17	141	16	1	14	411	236
区東北部圏	3	6	50		13		9	5	4		3	11	79
区東部圏	6	188	90	73	7	43	11	122	18		22	426	148
南多摩圏	5		123		41		14		4		12		194
北多摩西部圏	2	3	159		11		5		18		5	3	198
北多摩南部圏	3	8			2	1	9	2				11	11
北多摩北部圏	1		2	1	4							1	6

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2017年1月~12月

	設置 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	85.00	4.00	13.00	1.50	30.00	2.00	46.00				174.00	7.50
中央区	3	28.00	4.33	13.67	2.00	4.00	1.00	9.00			1.00	54.67	8.33
みなと	2	57.00	17.00	203.00	24.00	39.00	4.50	26.00	0.50			325.00	46.00
新宿区	7	37.64	14.02	20.95	10.62	59.17	28.64	28.64	7.40		0.57	146.40	61.26
文京	1	39.00		19.00		8.00		15.00				81.00	
台東	2	4.00	56.50	0.50	5.50	1.50	12.50	8.50	79.00	0.50	18.50	15.00	172.00
墨田区	2	16.50	7.50	6.50	1.00	4.50	3.00	12.50	1.00		3.50	40.00	16.00
江東区	2	60.00	5.00	28.00	0.50	14.50		37.50	1.50		1.00	140.00	8.00
品川区	1	56.00	5.00	41.00	3.00	6.00		24.00	2.00			127.00	10.00
大田区	2	14.50	34.00				1.00	6.00	0.50		0.50	20.50	36.00
渋谷区	5	14.00	18.60	21.20	14.60	5.40	4.20	15.40	1.60		0.60	56.00	39.60
中野区	2	5.00	0.50			1.00		5.50	0.50		2.00	11.50	3.00
杉並	2	35.00	8.00	2.50	3.50	2.50	0.50	15.50	1.00			55.50	13.00
池袋	3	49.00	27.33	15.00	15.67	8.67	4.67	36.33	4.00	0.33	3.67	109.33	55.33
北区	1	9.00	1.00			5.00		5.00				19.00	1.00
荒川区	1		12.00		10.00		2.00		1.00		1.00		26.00
板橋区	2	14.50	20.00	1.50	9.50	2.50	1.50	13.50	2.00		1.50	32.00	34.50
足立	2	3.00	19.00		1.50		3.50	2.50	1.50		1.00	5.50	26.50
江戸川	2	17.50	32.50	2.00	2.00	2.50	2.50	11.00	6.50		6.50	33.00	50.00
八王子市	4		21.00		3.50		1.75		1.00		3.00		30.25
町田市	1		39.00		27.00		7.00						73.00
多摩立川	2	1.50	79.50		5.50		2.50		9.00		2.50	1.50	99.00
多摩府中	3	2.67			0.67	0.33	3.00	0.67				3.67	3.67
多摩小平	1		2.00	1.00	4.00							1.00	6.00
合 計	55	1,300	994	911	368	692	329	825	284	2	108	3,730	2,083
定点当たり報告数		23.67	18.10	16.59	6.70	12.59	5.99	15.02	5.17	0.04	1.97	67.92	37.93

区中央部圏	10	41.50	16.80	49.30	6.80	16.10	4.10	20.30	15.90	0.10	4.00	127.30	47.60
区南部圏	3	28.33	24.33	13.67	1.00	2.00	0.67	12.00	1.00		0.33	56.00	27.33
区西南部圏	5	14.00	18.60	21.20	14.60	5.40	4.20	15.40	1.60		0.60	56.00	39.60
区西部圏	11	31.14	10.40	13.69	7.35	38.19	18.26	21.94	4.95		0.73	104.18	41.36
区西北部圏	6	30.83	20.50	8.00	11.00	6.00	2.83	23.50	2.67	0.17	2.33	68.50	39.33
区東北部圏	3	2.00	16.67		4.33		3.00	1.67	1.33		1.00	3.67	26.33
区東部圏	6	31.33	15.00	12.17	1.17	7.17	1.83	20.33	3.00		3.67	71.00	24.67
南多摩圏	5		24.60		8.20		2.80		0.80		2.40		38.80
北多摩西部圏	2	1.50	79.50		5.50		2.50		9.00		2.50	1.50	99.00
北多摩南部圏	3	2.67			0.67	0.33	3.00	0.67				3.67	3.67
北多摩北部	1		2.00	1.00	4.00							1.00	6.00

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2017年1月~12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳												
1~4歳												
5~9歳												
10~14歳		5						1				6
15~19歳	11	57	4	17	3	16	16	14		5	34	109
20~24歳	176	310	29	57	46	104	132	66	1	19	384	556
25~29歳	279	251	93	54	122	73	152	63		17	646	458
30~34歳	211	155	88	61	129	61	134	31	1	14	563	322
35~39歳	201	107	128	48	107	26	140	38		10	576	229
40~44歳	153	54	137	46	84	25	98	22		15	472	162
45~49歳	115	35	134	20	72	11	67	34		16	388	116
50~54歳	80	12	111	20	71	8	42	10		6	304	56
55~59歳	34	5	73	15	30	2	26	4		3	163	29
60~64歳	16	2	52	10	17	1	10			2	95	15
65~69歳	19	1	20	9	6	1	5	1			50	12
70歳以上	5		42	11	5	1	3			1	55	13
合 計	1,300	994	911	368	692	329	825	284	2	108	3,730	2,083

表10 検査結果別報告数(基幹) 2017年1月~12月

病原体	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	合計
<i>staphylococcus epidermidis</i>	5					5
<i>streptococcus other groups</i>	5					5
<i>streptococcus agalactiae</i>	4					4
other bacteria	2	1				3
<i>other diarrheagenic e. coli</i>	1					1
<i>s. dys. subsp. equisimilis</i>	1					1
<i>staphylococcus aureus</i>	1					1
<i>streptococcus group g</i>	1					1
negative		6				6
enterovirus nt		3				3
mumps virus		1				1
varicella-zoster virus		1				1
<i>mycoplasma pneumoniae</i>			204			204
<i>chlamydia pneumoniae</i>				37		37
<i>chlamydia species unknown</i>				7		7
<i>chlamydia trachomatis</i>				2		2
rotavirus group unknown					200	200
記載無し	21	27	33		35	116
合 計	41	39	237	46	235	598

表11 疑似症サーベイランス報告数 2017年第1週～第52週

週	期 間	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
1	1. 2～ 1. 8	443	1	
2	1. 9～ 1.15	443	2	
3	1.16～ 1.22	443	1	
4	1.23～ 1.29	443		
5	1.30～ 2. 5	443		
6	2. 6～ 2.12	443	3	
7	2.13～ 2.19	443		
8	2.20～ 2.26	443		
9	2.27～ 3. 5	443		
10	3. 6～ 3.12	443		
11	3.13～ 3.19	443		
12	3.20～ 3.26	443		
13	3.27～ 4. 2	443		
14	4. 3～ 4. 9	443		
15	4.10～ 4.16	443	1	
16	4.17～ 4.23	443	1	
17	4.24～ 4.30	443	1	
18	5. 1～ 5. 7	443		
19	5. 8～ 5.14	443		
20	5.15～ 5.21	443	1	
21	5.22～ 5.28	443		
22	5.29～ 6. 4	443		
23	6. 5～ 6.11	443	1	
24	6.12～ 6.18	443		
25	6.19～ 6.25	443		
26	6.26～ 7. 2	443	1	
27	7. 3～ 7. 9	443		
28	7.10～ 7.16	443		
29	7.17～ 7.23	443	1	
30	7.24～ 7.30	443	1	
31	7.31～ 8. 6	443	2	
32	8. 7～ 8.13	443	1	
33	8.14～ 8.20	443		
34	8.21～ 8.27	443	2	
35	8.28～ 9. 3	443		
36	9. 4～ 9.10	443	2	
37	9.11～ 9.17	443		1
38	9.18～ 9.24	443		
39	9.25～10. 1	443		
40	10. 2～10. 8	443		
41	10. 9～10.15	443	3	
42	10.16～10.22	443	1	
43	10.23～10.29	443		
44	10.30～11. 5	443		
45	11. 6～11.12	443		1
46	11.13～11.19	443		
47	11.20～11.26	443		
48	11.27～12. 3	443		
49	12. 4～12.10	443		1
50	12.11～12.17	443		
51	12.18～12.24	443		
52	12.25～12.31	443		
合 計			26	3

保健所	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
千代田	4		
中央区	5		
みなの	9		
新宿区	13		
文京	8	3	
台東	7		
墨田区	9		
江東区	14		
品川区	13		
目黒区	8		
大田区	22		
世田谷	28		
渋谷区	9	22	1
中野区	11		
杉並	16		
池袋	9		
北区	11		
荒川区	7		
板橋区	18		
練馬区	21	1	
足立	21		
葛飾区	13		
江戸川	19		
八王子市	19		
町田市	13		
西多摩	15		
南多摩	15		
多摩立川	23		
多摩府中	36		
多摩小平	24		2
島しょ	3		
合 計	443	26	3

年齢階級	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
0歳	7	
1歳	6	
2歳	1	
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		1
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳	1	1
15～19歳		
20～29歳	1	
30～39歳		
40～49歳	1	1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳	6	
80歳以上	3	
合 計	26	3

